



デジタルマトリックススイッチャ
MRX-804HD

取扱説明書 Ver.2.0.1

- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

IDK Corporation

商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。
- Microsoft, Windows および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、®マークや™マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図、メニュー操作および通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.idk.co.jp/>

同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- | | |
|----------------|-----|
| ・ MRX-804HD 本体 | 1 台 |
| ・ 電源コード(1.8 m) | 1 本 |
| ・ ラック取付金具 | 1 組 |
| ・ 取扱説明書(本書) | 1 冊 |

安全上のご注意

本製品をご使用前に必ずお読みください。

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表示	表示の意味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。	 感電注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。	 プラグを抜く



警告

 <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に置かない 水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。</p>
	<p>振動のある場所に置かない 振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。</p>
	<p>異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>電源コード・電源プラグは <ul style="list-style-type: none"> ・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。 </p>
 <p>分解禁止</p>	<p>修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整および修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>据付工事について 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。</p>
	<p>電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>電源プラグの埃などは定期的にとる 電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。</p>
 <p>プラグを抜く</p>	<p>煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
	<p>落としたり、キャビネットが破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
	<p>内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>

機器の接続について

 <p>指示</p>	<p>本体と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



注意

 禁止	温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。
	湿気・油煙・埃の多い場所に置かない 加湿器のそばや埃の多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。
	通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。
	機器の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
	本体付属の AC アダプタまたは電源コード以外のものは使用しない 不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは電源コードは 100 V 系国内専用です。海外など 200 V 系でご使用になる場合は、弊社営業部までお問い合わせください。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 指示	温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。
	他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る 火災や感電の原因になります。
 プラグを抜く	長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。
	お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因になります。

設置についてのごお願い

● ラックマウント製品の場合

 指示	EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

● ゴム足つきの製品の場合

 指示	ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とネジ以外は使用しないでください。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

● 海拔について

 指示	海拔 2,000 m 以上の場所に設置しないでください。 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。
--------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

目次

1	製品概要	11
2	各部名称と働き	12
2.1	フロントパネル	12
2.2	リアパネル	13
3	基本操作	14
3.1	入出力チャンネルの設定	14
3.2	スイッチングモードの設定	14
3.3	キーロック設定/解除の選択操作	15
3.4	メニュー操作	15
3.5	工場出荷時の設定に戻す	16
4	各種設定	17
4.1	メニュー一覧	17
4.2	入力設定	21
4.2.1	入力イコライザ	21
4.2.2	デジタル信号の無入力監視	22
4.2.3	HDCP 入力の許可/禁止	23
4.3	出力設定	25
4.3.1	出力イコライザ	25
4.3.2	出力モード	26
4.3.3	強制 HDMI モード出力設定	27
4.3.4	ホットプラグ オフ マスク設定	28
4.3.5	Deep Color 出力	29
4.4	音声設定	30
4.4.1	音声出力ミュート	30
4.4.2	デジタル音声出力	31
4.4.3	音声入力選択	32
4.4.4	アナログ音声入力レベル	33
4.4.5	アナログ音声出力レベル	34
4.4.6	デジタル音声入力レベル	36
4.4.7	リップシンク設定	37
4.5	EDID 設定	38
4.5.1	EDID データ	39
4.5.2	EDID データのコピー	41
4.5.3	EDID 読み取りチャンネル	42
4.5.4	Deep Color 設定	43
4.5.5	Audio チャンネル数設定	44
4.5.6	PCM Audio 設定	45
4.5.7	AC-3/Dolby Digital Audio 設定	46
4.5.8	AAC Audio 設定	47
4.5.9	Dolby Digital + Audio 設定	48
4.5.10	DTS Audio 設定	49
4.5.11	DTS-HD Audio 設定	50
4.5.12	Dolby TrueHD Audio 設定	51
4.5.13	WXGA(1366/1360)設定	52
4.6	シリアル端子設定	53

4.7 LAN	55
4.7.1 IP アドレス	55
4.7.2 サブネットマスク	56
4.7.3 TCP ポート番号	57
4.7.4 MAC アドレス表示	58
4.8 プリセットメモリ	59
4.8.1 プリセットメモリの読み出し（入出力チャンネル設定読み出し）	59
4.8.2 プリセットメモリの保存（入出力チャンネル設定保存）	60
4.8.3 プリセットメモリの編集	61
4.8.4 電源投入時の入出力チャンネル設定	62
4.9 その他設定	64
4.9.1 入力信号状態表示	64
4.9.2 表示機器状態表示	65
4.9.3 トップ画面表示	66
4.9.4 キーロック設定	67
4.9.5 ブザー音設定	68
4.9.6 パワーセーブ設定	69
4.9.7 通信コマンド設定	70
4.9.8 WEB ブラウザ自動更新時間設定	71
4.9.9 WEB ブラウザパスワードロック機能設定	72
4.9.10 バージョン情報表示	74
5 通信コマンド制御	75
5.1 シリアル通信仕様	75
5.2 LAN 通信仕様	76
5.2.1 TCP-IP コネクション数の制限と解決策	77
5.3 ASCII コード表	81
5.4 コマンド概要	83
5.5 コマンド一覧	84
5.6 コマンド詳細	87
5.6.1 @ERR(エラーステータス)	87
5.6.2 @IOS(映像・音声チャンネル同時切換)	87
5.6.3 @GVA(入出力チャンネル取得)	88
5.6.4 @IOV(映像チャンネル切換)	88
5.6.5 @GCP(映像チャンネル取得)	89
5.6.6 @IOA(音声チャンネル切換)	89
5.6.7 @GCA(音声チャンネル取得)	90
5.6.8 @SAO(全チャンネル出力設定)	90
5.6.9 @SSC(映像・音声チャンネル ストレート設定)	90
5.6.10 @SSV(映像チャンネル ストレート設定)	91
5.6.11 @SSA(音声チャンネル ストレート設定)	91
5.6.12 @SED(EDID データ設定)	92
5.6.13 @GED(EDID データ取得)	92
5.6.14 @SEC(EDID 読み取りチャンネル設定)	93
5.6.15 @GEC(EDID 読み取りチャンネル取得)	93
5.6.16 @RME(EDID データのコピー)	93
5.6.17 @SDT(映像信号の無入力監視時間設定)	94
5.6.18 @GDT(映像信号の無入力監視時間取得)	94
5.6.19 @SHE(HDCP 入力の許可/禁止設定)	94

5. 6. 20 @GHE(HDCP 入力の許可/禁止設定取得)	95
5. 6. 21 @SEQ(出力イコライザ設定)	95
5. 6. 22 @GEQ(出力イコライザ取得)	95
5. 6. 23 @SIQ(入力イコライザ設定)	96
5. 6. 24 @GIQ(入力イコライザ取得)	96
5. 6. 25 @SDM(出力モード設定)	96
5. 6. 26 @GDM(出力モード取得)	97
5. 6. 27 @SHM(強制 HDMI モード設定)	97
5. 6. 28 @GHM(強制 HDMI モード取得)	97
5. 6. 29 @SMK(ホットプラグ オフ マスク時間設定)	98
5. 6. 30 @GMK(ホットプラグ オフ マスク時間取得)	98
5. 6. 31 @SDC(Deep Color 出力設定)	98
5. 6. 32 @GDC(Deep Color 出力取得)	99
5. 6. 33 @SDI(Deep Color 入力設定)	99
5. 6. 34 @GDI(Deep Color 入力取得)	99
5. 6. 35 @SSO(アナログ音声入力レベル設定)	100
5. 6. 36 @GSO(アナログ音声入力レベル取得)	100
5. 6. 37 @SSD(デジタル音声入力レベル設定)	100
5. 6. 38 @GSD(デジタル音声入力レベル取得)	101
5. 6. 39 @SSL(アナログ音声出力レベル設定)	101
5. 6. 40 @GSL(アナログ音声出力レベル取得)	101
5. 6. 41 @SLY(リップシンク設定)	102
5. 6. 42 @GLY(リップシンク取得)	102
5. 6. 43 @SAM(音声出力ミュート設定)	102
5. 6. 44 @GAM(音声出力ミュート取得)	103
5. 6. 45 @SDO(デジタル音声出力設定)	103
5. 6. 46 @GDO(デジタル音声出力取得)	103
5. 6. 47 @SAS(音声入力選択設定)	104
5. 6. 48 @GAS(音声入力選択取得)	104
5. 6. 49 @SSP(Audio チャンネル数設定)	105
5. 6. 50 @GSP(Audio チャンネル数取得)	106
5. 6. 51 @SAF(音声フォーマット設定)	107
5. 6. 52 @GAF(音声フォーマット取得)	108
5. 6. 53 @SIP(IP アドレス設定)	109
5. 6. 54 @GIP(IP アドレス取得)	109
5. 6. 55 @SSB(サブネットマスク設定)	109
5. 6. 56 @GSB(サブネットマスク取得)	110
5. 6. 57 @SLP(TCP ポート番号設定)	110
5. 6. 58 @GLP(TCP ポート番号取得)	111
5. 6. 59 @GMC(MAC アドレス取得)	111
5. 6. 60 @SCT(シリアル端子 通信速度設定)	111
5. 6. 61 @GCT(シリアル端子 通信速度設定 取得)	112
5. 6. 62 @RPM(プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し))	112
5. 6. 63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))	113
5. 6. 64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))	113
5. 6. 65 @ECM(プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集))	114
5. 6. 66 @GCM(プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得))	114
5. 6. 67 @SMU(電源投入時の状態設定)	115

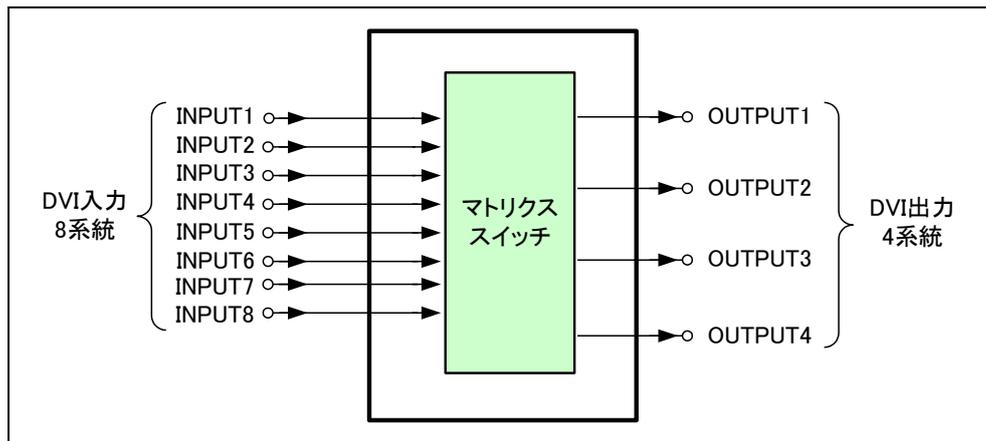
5. 6. 68 @GMU(電源投入時の状態取得)	115
5. 6. 69 @SLM(キーロックモードの設定)	115
5. 6. 70 @GLM(キーロックモードの取得)	116
5. 6. 71 @SBZ(ブザー音設定)	116
5. 6. 72 @GBZ(ブザー音設定取得)	116
5. 6. 73 @SBR(Web ブラウザ自動更新時間設定)	117
5. 6. 74 @GBR(Web ブラウザ自動更新時間取得)	117
5. 6. 75 @SBP(WEB ブラウザパスワードロック機能設定)	118
5. 6. 76 @GBP(WEB ブラウザパスワードロック機能取得)	118
5. 6. 77 @GIS(入力ステータス取得)	119
5. 6. 78 @GOS(出力ステータス取得)	120
5. 6. 79 @GIV(バージョン情報取得)	121
5. 7 互換モード通信コマンド概要	122
5. 7. 1 コマンドの例	122
5. 8 互換モード通信コマンド コマンド一覧	123
5. 9 互換モード通信コマンド コマンド詳細	123
5. 9. 1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)	123
5. 9. 2 V(映像チャンネルモード)	124
5. 9. 3 A(音声チャンネルモード)	124
5. 9. 4 mode(切換モード取得)	125
5. 9. 5 なし(クロスポイント設定(チャンネル切換))	125
5. 9. 6 z(指定した出力のクロスポイント取得)	126
5. 9. 7 wva(映像&音声クロスポイント取得)	126
5. 9. 8 w(映像クロスポイント取得)	127
5. 9. 9 wa(音声クロスポイント取得)	127
5. 9. 10 s(クロスポイントの保存)	127
5. 9. 11 t(クロスポイントの呼出)	128
5. 9. 12 y(プリセットメモリのクロスポイント取得)	128
5. 9. 13 kl(フロントパネル キーロック)	128
5. 9. 14 ku(フロントパネル キーロック解除)	128
5. 9. 15 ky(フロントパネル キーロック状態取得)	129
5. 9. 16 mem(現在のクロスポイント状態と同一内容のプリセットメモリ番号取得)	129
6 WEB ブラウザでの制御	130
7 製品仕様	136
8 正常に動作しないときは	138
9 ヒューズについて	139

1 製品概要

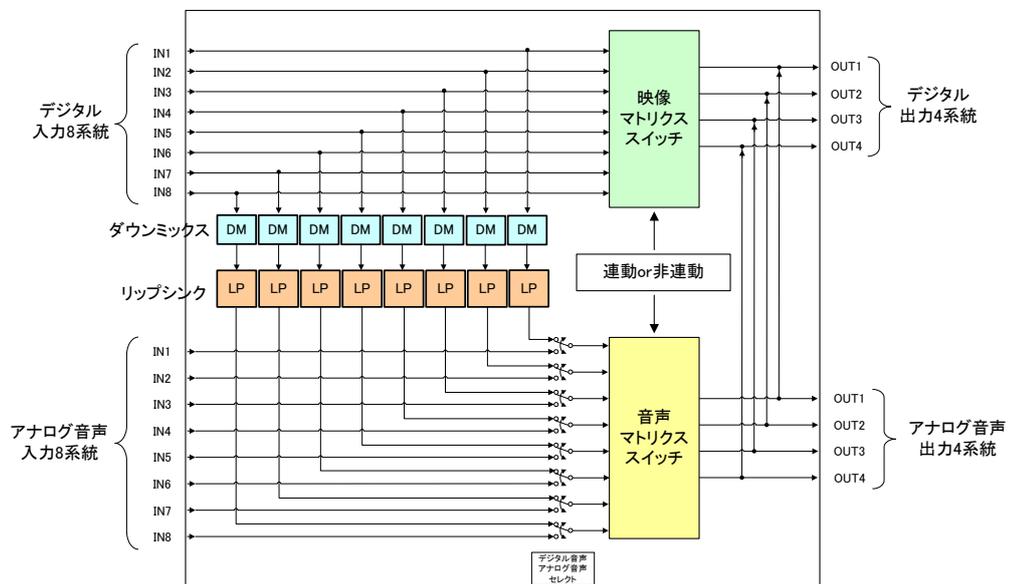
MRX-804HD は、デジタル RGB 信号(DVI1.0規格準拠)対応 DVI-I コネクタ搭載したマトリクススイッチです。

HDCP に対応しているため HDCP 付ソースの入力が可能です。また変換ケーブルを使用する事により HDMI の入力も可能です。

外部制御用通信ポートとして RS-232C・LAN を装備しており、各種設定を遠隔操作が可能です。



[図 1.1] 映像信号の入出力構成

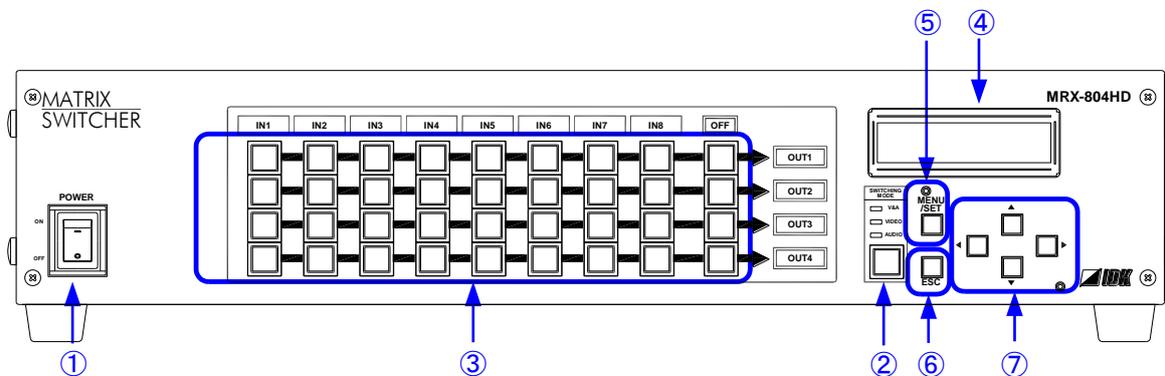


※ ダウンミックス/リップシンクはアナログ音声出力に適應されます

[図 1.2] 音声信号の入出力構成

2 各部名称と働き

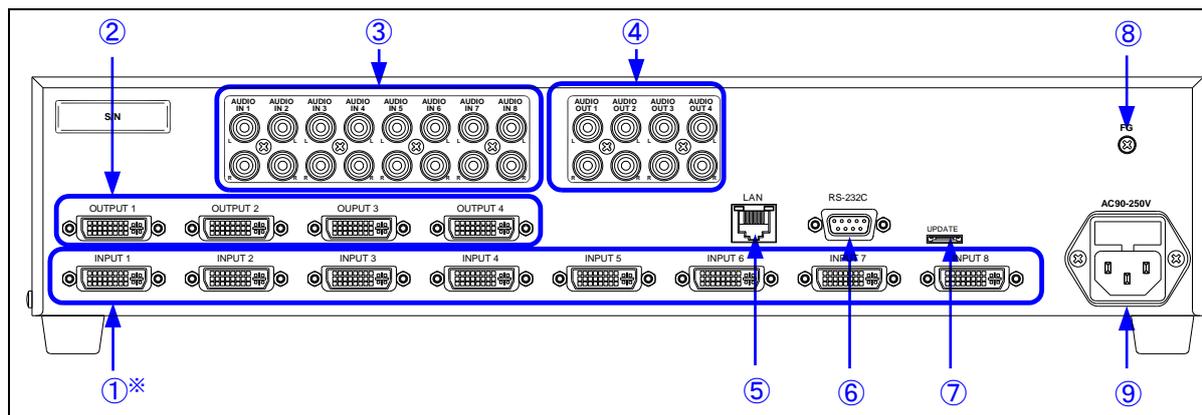
2.1 フロントパネル



[図 2.1] フロントパネル

- ① 主電源スイッチ（POWER）
本機の電源を ON/OFF します。
- ② スwitchingモード選択キー（V&A, VIDEO, AUDIO）
入出力チャンネルの設定時に、チャンネル切替モード（映像 & 音声同時 / 映像のみ / 音声のみ）を選択します。
- ③ チャンネル切替えキー（OUT1～OUT4）
映像出力と音声出力を選択します。
- ④ ディスプレイ
メニューおよび設定を表示します。
- ⑤ メニュー表示/決定キー（MENU/SET）
メニューをディスプレイに表示します。また、設定の決定を行います。
- ⑥ エスケープキー（ESC）
メニュー設定を終了します。
- ⑦ 十字キー（◀, ▶, ▲, ▼）
メニューの切替、カーソルの移動、設定値の変更を行います。

2.2 リアパネル



【図 2.2】リアパネル

- ① 映像入力コネクタ（INPUT1～INPUT8）※
DVI-I ケーブルまたは DVI-D ケーブルを接続することができますが、入力できる信号はデジタル信号のみです。HDMI-DVI 変換ケーブルを使用すれば、HDMI 信号の入力が可能です。
- ② 映像出力コネクタ（OUTPUT1～OUTPUT4）※
DVI-I ケーブルまたは DVI-D ケーブルを接続することができますが、出力される信号はデジタル信号のみです。HDMI-DVI 変換ケーブルを使用すれば、HDMI 信号の出力が可能です。
- ③ 音声入力コネクタ（IN1～IN8）
ステレオ音声信号の入力コネクタです。
- ④ 音声出力コネクタ（OUT1～OUT4）
ステレオ音声信号の出力コネクタです。
- ⑤ LAN コネクタ（LAN）
通信コマンドまたは WEB ブラウザによる外部制御を行う際に使用します。
- ⑥ RS-232C コネクタ（RS-232C）
通信コマンドによる本機の制御に使用します。
- ⑦ 保守用コネクタ（UPDATE）
未使用。このコネクタには何も接続しないでください。
- ⑧ フレームグラウンド（FG）
屋内のアース端子と接続します。
- ⑨ 電源コネクタ（AC90-250V）
付属の電源コードを接続します。

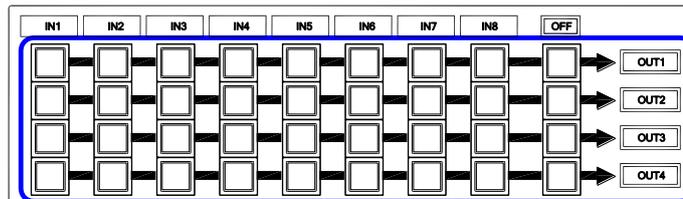
※ 本機のDVI入出力コネクタは、HDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)と呼ばれる著作権保護システムに対応しています。HDCPはデータの暗号化と接続機器との認証からなるコピープロテクション技術です。著作権保護されたDVDなどを再生する場合は、入力コネクタに接続するDVDプレーヤーなどの再生機器と、出力コネクタに接続する表示機器の両方がHDCPに対応している必要があります。

3 基本操作

3.1 入出力チャンネルの設定

出力チャンネルにどの入力チャンネルを選択するか設定します。

OUTPUT1～OUTPUT4 選択キーを押すとキーLED が点灯し、スイッチングモードで選択された映像および音声出力が選択されます。



【図 3.1】 入出力チャンネル

※ コマンド制御 : 5.6.2.@IOS(映像・音声チャンネル同時切換) (P. 87)

5.6.3.@GVA(入出力チャンネル取得) (P. 88)

5.6.4.@IOV(映像チャンネル切換) (P. 88)

5.6.5.@GCP(映像チャンネル取得) (P. 89)

5.6.6.@IOA(音声チャンネル切換) (P. 89)

5.6.7.@GCA(音声チャンネル取得) (P. 90)

3.2 スイッチングモードの設定

フロントパネルによるチャンネル切換には、「V&A(映像&音声連動)」「VIDEO(映像のみ)」「AUDIO(音声のみ)」の3種類のモードがあります。

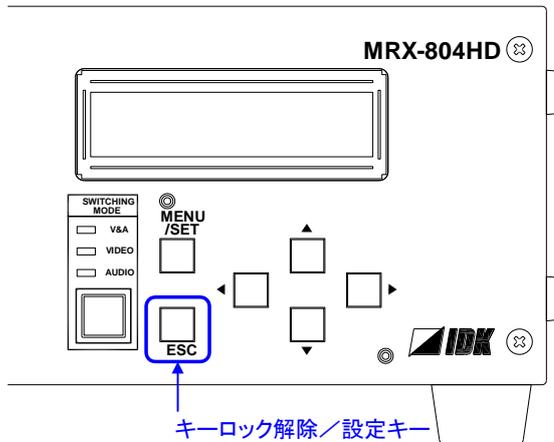
スイッチングモード選択キーを押す毎に、「V&A」→「VIDEO」→「AUDIO」と変更出来ます。

現在の切換モードに対応したキーLED が点灯します。この時、チャンネル切換キーの表示は、「V&A」および「VIDEO」モードでは映像チャンネルを、「AUDIO」モードでは音声チャンネルの選択内容を示します。



【図 3.2】 スイッチングモードの選択

3.3 キーロック設定/解除の選択操作

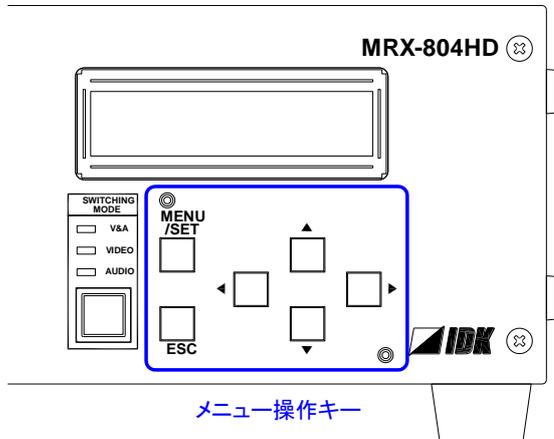


【図 3.3】 キーロック設定/解除操作

約 5 秒間押し続けることにより、キー操作ロック設定/ロック解除を設定できます。
 ※ 設定により、ロックするキーを選択できます。 → 4.9.4 キーロック設定 (P.67)

3.4 メニュー操作

各種メニューの操作を行います。

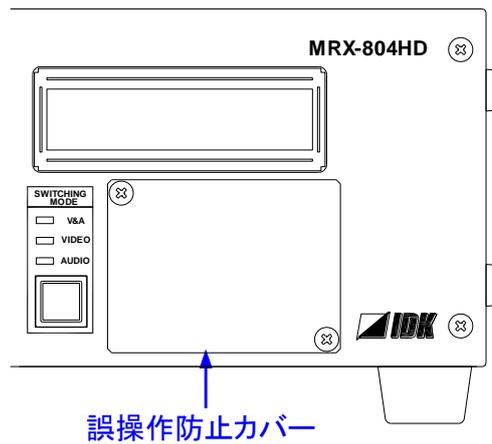


【図 3.4】 メニュー操作キー

- MENU/SET** キー：メニュー表示、設定値の決定を行います。
- ESC** キー：メニューから抜けます。
- ▲ ▼** キー：メニューの切換、設定値の変更を行います。
- ◀ ▶** キー：カーソルを移動します。

※ 関連項目：4.1.メニュー一覧(P.17)

オプションで、メニュー操作キーの誤操作防止カバーを用意しておりますので、必要な場合は弊社までお問い合わせください。(お問い合わせ先は 138 ページをご覧ください)



[図 3.5] 誤操作防止カバー

3.5 工場出荷時の設定に戻す

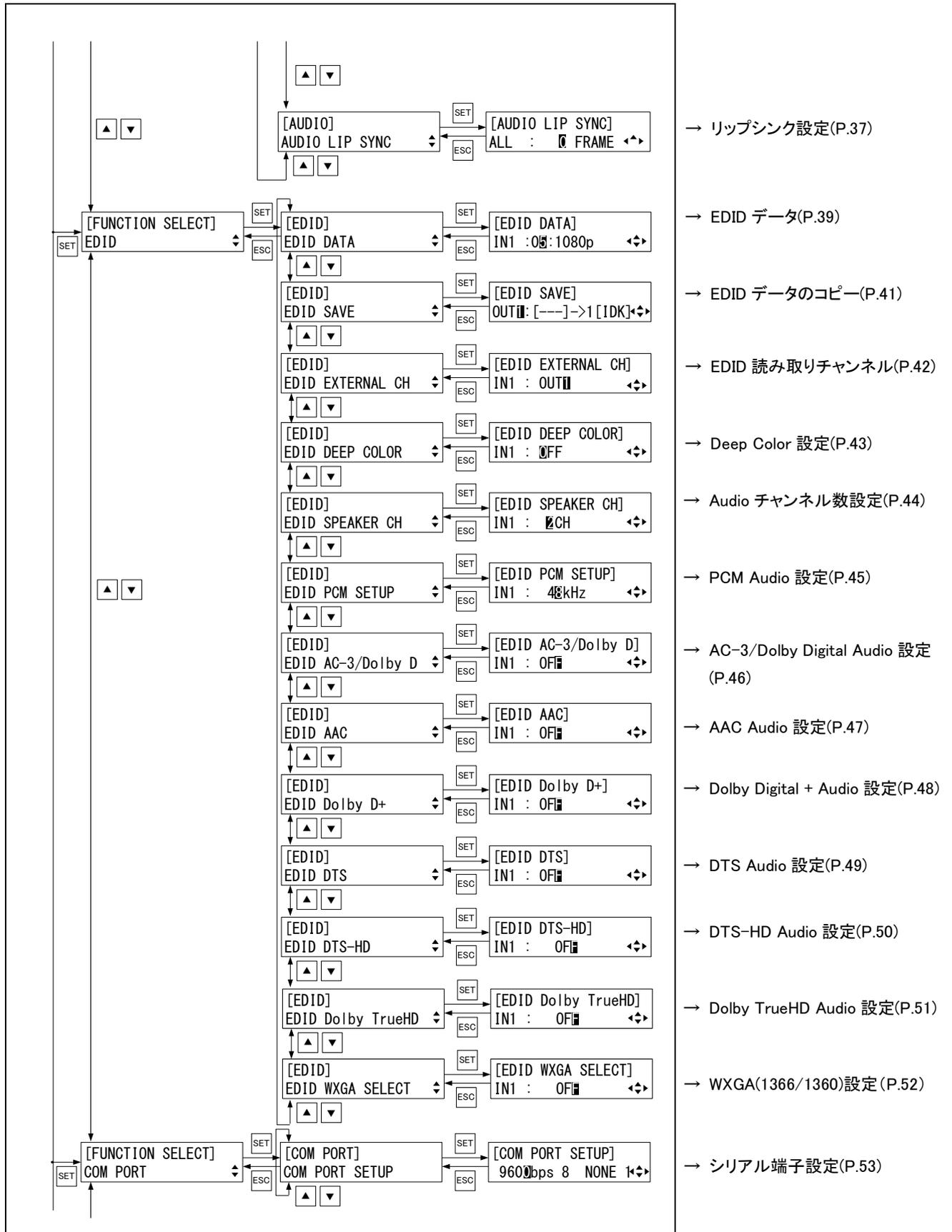
ESC キーを押しながら電源を投入すると、入出力チャンネルの設定（入出力チャンネルの設定は 14 ページをご覧ください。工場初期値は OFF です）および各種設定（各種設定の詳細、および工場初期値は 38 ページ以降をご覧ください）の状態を工場初期値に戻すことができます。ESC キーはブザーがピッピッピッと鳴るまで押し続けてください。ブザーが鳴ると初期化が終了し、通常の動作を開始します。

4 各種設定

4.1 メニュー一覧



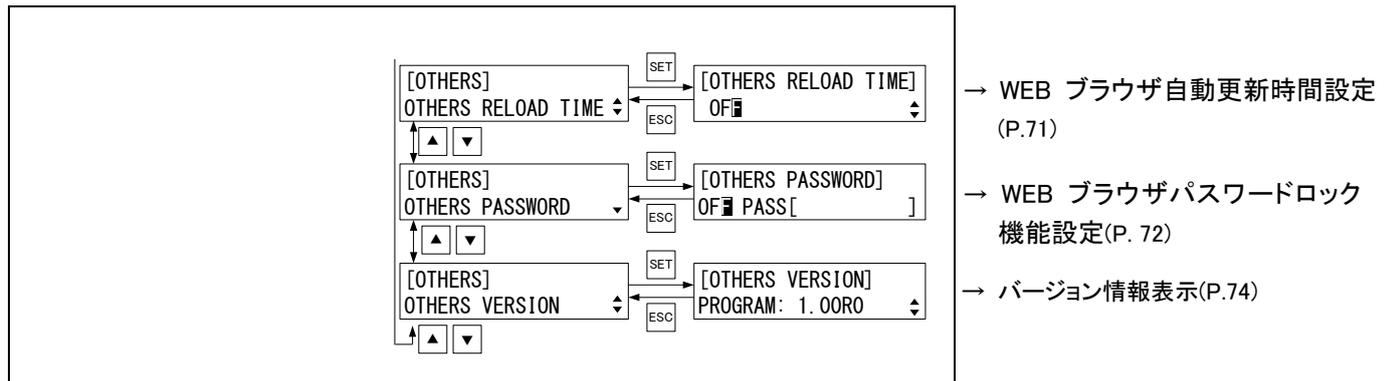
[図 4.1] メニュー表



【図 4.2】メニュー表



[図 4.3] メニュー表



[図 4.4] メニュー表

操作メニューは設定項目毎の階層メニューになっており、[図 4.1] メニュー表～[図 4.4] メニュー表の左からメインメニュー、サブメニュー、設定画面になります。メインメニューおよびサブメニューは▲ ▼キーで選択することが可能です。メインメニュー→サブメニュー→設定画面はSETキーで移行し、設定画面→サブメニュー→メインメニューはESCキーで戻ることが可能です。設定画面では▲ ▼ ◀ ▶キーでカーソルの移動や設定を行なうことができ、設定した値は操作後に自動的に記憶されます。なお入力可能な▲ ▼ ◀ ▶キーはディスプレイの右側に表示され、入力可能なメニュー操作キーはキーLEDが点灯します。

4.2 入力設定

4.2.1 入力コライザ

入力コライザの設定を行います。

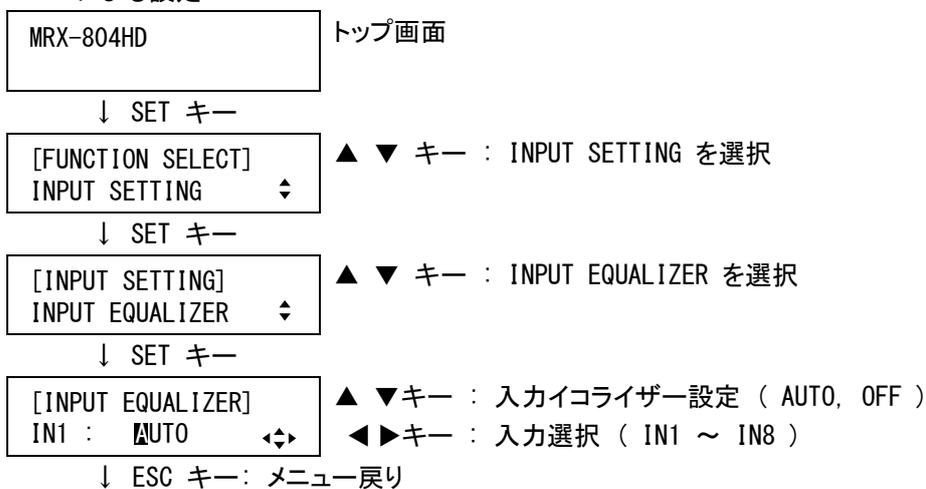
・入力コライザー設定（AUTO = 自動補正 ～ OFF = 補正無し）※ 初期値 AUTO

入力には、長いケーブルを接続した場合に減衰してしまう信号を補正するケーブルコライザー回路が搭載されています。通常は「AUTO」に設定すれば、入力された信号の減衰量に応じて自動で補正を行います。

入力コライザーは入力端子毎に設定することができます。

接続には当社推奨ケーブルを使用してください。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

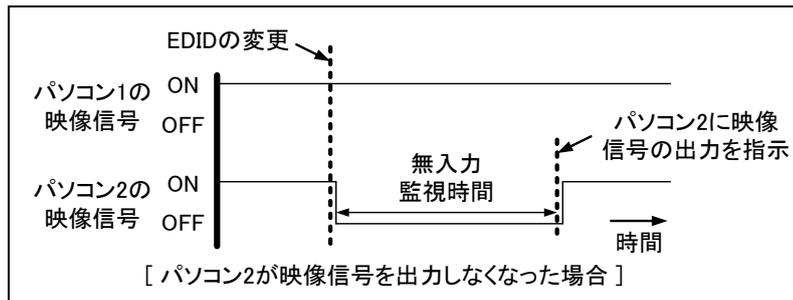
5.6.23 @SIQ(入力コライザ設定)(P.96)

5.6.24 @GIQ(入力コライザ取得)(P.96)

4.2.2 デジタル信号の無入力監視

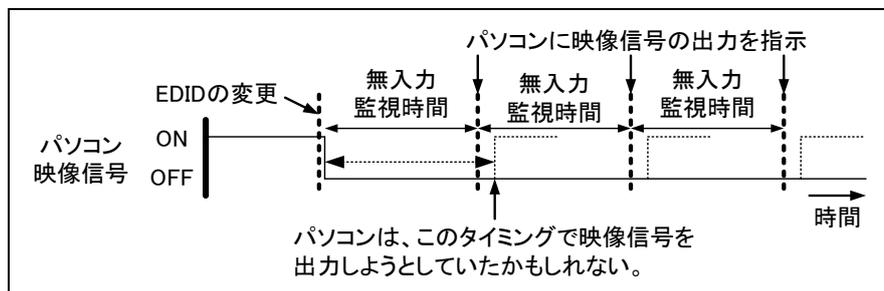
本機に接続されたHDMI機器またはDVI機器（以降はソース機器と表現します）の電源が入っているときに、EDIDの設定を変更したり本機の電源をOFF/ONすると、ごく一部のソース機器は信号を出力しなくなる場合があります。この場合、本機はソース機器に対して信号を出力するように指示を出すことができ、本メニューではソース機器が信号を出力しなくなってから本機が信号を出力するように指示を出すまでの時間を設定します。無入力の監視時間は入力端子毎に設定することが可能です。

- ・無入力監視時間設定（OFF, 3秒～15秒, 1秒/ステップ） ※初期値 10秒



[図 4.5] 無入力の監視

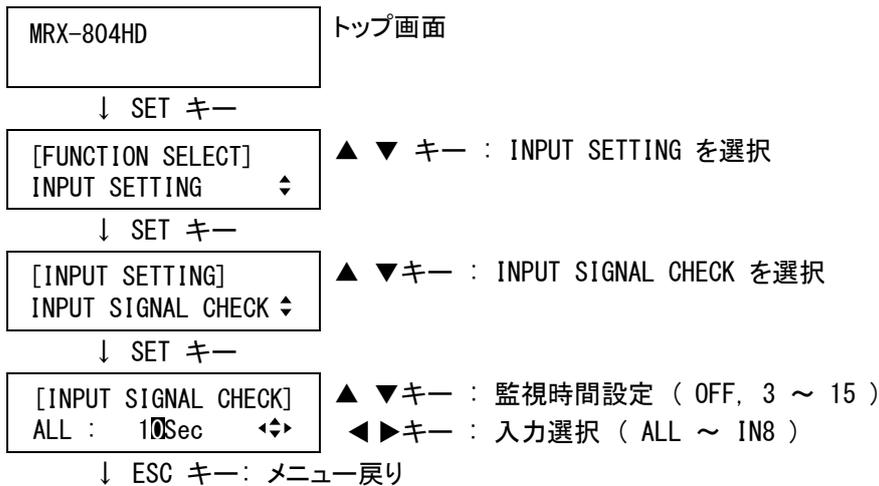
- (注 1) 本機がパソコンに対して映像信号を出力するように指示を出すと、パソコンは映像信号の出力をリセットします。設定時間が短いと、パソコンが映像信号の出力をリセットする動作を繰り返してしまい、映像が出力されなくなる場合があります。



[図 4.6] リセットの繰り返し

- (注 2) パソコンの「モニタの省電力機能」と無入力の監視機能を同時に使用すると、モニタの省電力機能が働いた後、本メニューで設定した時間を経過すると、再度パソコンが映像を出力する場合があります。パソコンの「モニタの省電力機能」を使用する場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。
- (注 3) パソコンを「デュアルモニタ」で使用しているときに本機能が働くと、パソコンはモニタが接続されていないと判断して、自動的に「デュアルモニタ」を解除する場合があります。この場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 17 @SDT(映像信号の無入力監視時間設定) (P. 94)

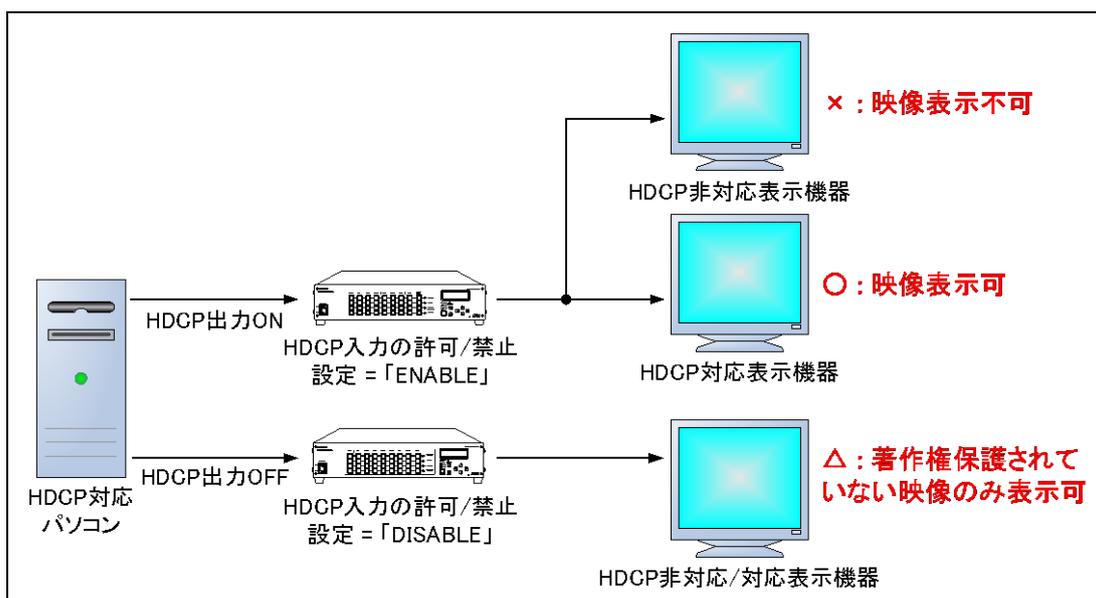
5. 6. 18 @GDT(映像信号の無入力監視時間取得) (P. 94)

4. 2. 3 HDCP 入力の許可/禁止

一部のHDMI機器またはDVI機器(以降はソース機器と表現します)は、接続される機器がHDCPに対応しているかどうかを判断してHDCP出力のON/OFFを決定するものがありますが、本機はHDCPに対応しているため、HDCPに対応していない表示機器と組み合わせた場合、表示機器に映像を表示できない場合があります。

本メニューではソース機器に対してHDCP出力を許可するかどうかを設定します。通常は「ENABLE」に設定しますが、HDCPに対応していない表示機器を接続する場合は「DISABLE」に設定すれば、ソース機器からのHDCP出力を禁止することができます。

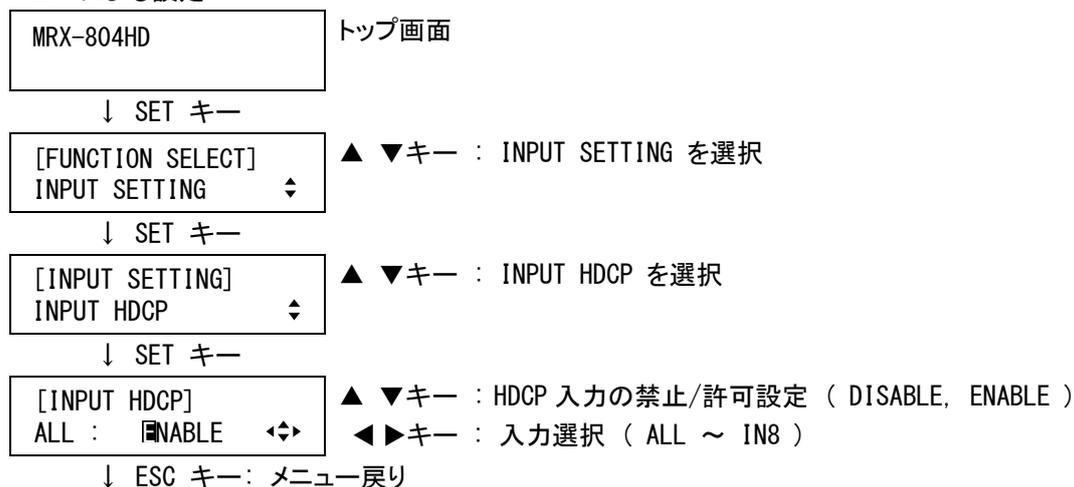
・HDCP 入力の許可設定 (ENABLE = 許可, DISABLE = 禁止) ※初期値 ENABLE = 許可



[図 4.7] HDCP 入力の許可/禁止

(注 1) ブルーレイディスクプレーヤーなどを接続しているときに「DISABLE」に設定すると全く映像を出力しなくなる場合があります。これはブルーレイディスクプレーヤーが HDCP に対応していない機器との接続を許可していないため、この場合は「ENABLE」に設定し HDCP に対応した表示機器を接続してください。また「DISABLE」に設定し映像を出力できる場合でも、著作権保護されたコンテンツ（映画や音楽ビデオなど）を再生することはできません。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

- 5. 6. 19 @SHE (HDCP 入力の許可/禁止設定) (P. 94)
- 5. 6. 20 @GHE (HDCP 入力の許可/禁止設定取得) (P. 95)

4.3 出力設定

4.3.1 出カイコライザ

出力には、長いケーブルを接続した場合に減衰してしまう信号を補正するケーブルイコライザ回路が搭載されており、接続するケーブルの長さに応じて補正量を設定します。出カイコライザは出力端子毎の設定が可能です。

・出カイコライザ設定（OFF = 補正なし、LOW=最小 ~ HIGH=最大） ※初期値 OFF = 補正なし

STP AWG24

ケーブル長	～10m	10m～
イコライザ設定	OFF～MIDDLE	LOW～HIGH

[表 4.8] 出カイコライザ対応表

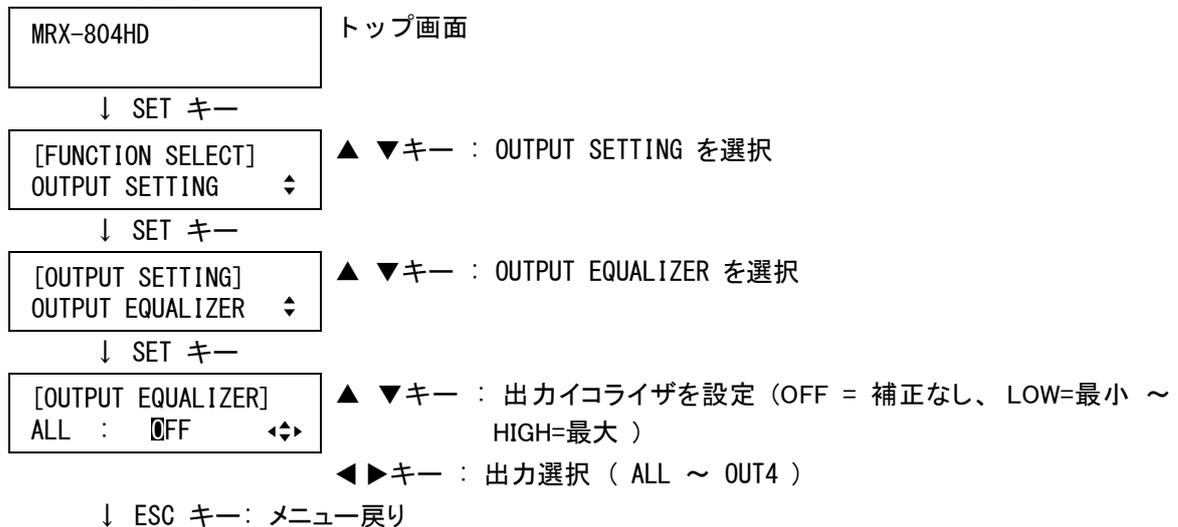
STP : Shielded Twist Pair cable

(注) 上記対応表は IDK 製ケーブルでの距離になりますので他社製品をご使用の際は目安とお考えください。
また著しく状態の悪い機器に接続しますと映像が乱れることがあります。

出カイコライザ設定	補正量
OFF	0.0dB
LOW	1.5dB
MIDDLE	3.5dB
HIGH	6.0dB

[表 4.9] 補正量

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.21 @SEQ(出カイコライザ設定) (P.95)

5.6.22 @GEQ(出カイコライザ取得) (P.95)

4.3.2 出力モード

HDMI出力端子およびDVI出力端子の出力モードを選択します。

- ・出力モード設定（AUTO = 自動、HDMI 4:4:4 ~ DVI） ※初期値 AUTO = 自動

設定値は、「HDMI 4:4:4」>「HDMI 4:2:2」>「HDMI RGB」>「DVI」の関係にあり、通常は「HDMI 4:4:4 MODE」に設定しておけば、「HDMIの色差信号」や「DVI信号」に対応していない表示機器が接続された場合でも、自動的に最適なモードで出力します。強制的に「HDMIのRGB信号」や「DVI信号」で出力する場合などは、メニューより設定します。出力モードは出力端子毎の設定が可能です。

(注)「DVI」に設定した場合、デジタル音声は出力されません。

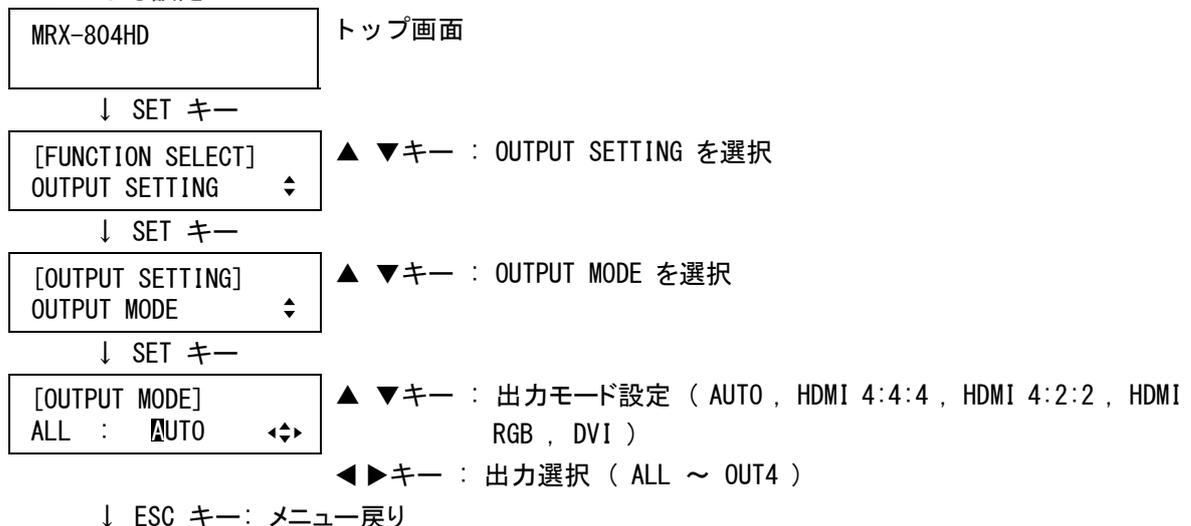
例えば、出力モードを「HDMI 4:2:2」に設定した場合は、接続されている表示機器が対応している信号を、「HDMI 4:2:2」→「HDMI RGB」→「DVI」の順でチェックし、最初に一致したモードで出力します。

表示機器が対応する信号 出力モード	DVI	HDMI RGB	HDMI YCbCr4:2:2	HDMI YCbCr4:4:4
DVI MODE	1	—	—	—
HDMI RGB MODE	2	1	—	—
HDMI YCbCr4:2:2 MODE	3	2	1	—
HDMI YCbCr4:4:4 MODE	4	3	2	1

— : チェックしない

[表 4.10] 出力モードを決定する優先順位

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

- 5. 6. 25. @SDM(出力モード設定) (P. 96)
- 5. 6. 26. @GDM(出力モード取得) (P. 97)

4.3.3 強制 HDMI モード出力設定

強制 HDMI モードを設定します。

・強制 HDMI モード設定（OFF = 通常、ERROR = リードエラー時、ALWAYS = 常時）

※初期値 OFF = 通常

本機の送信部（OUTPUT1～4 コネクタ側）は、接続されているモニタなどシンク機器の入力することのできる信号周波数の範囲などの情報を取得するためにシンク機器の EDID データを取得します。

取得した内容に従って送信部は、接続されているシンク機器が HDMI モニタであるか、DVI モニタであるかを判断致します。

EDID が取得できない状態（例として 5m 以上の長いケーブルで接続されている状態や、ケーブルの品質が悪い、ケーブルに不具合がある、接続されているシンク機器に何らかの問題があり本機が正常に EDID を取得できないなど）の場合は、本機は接続機器の判定ができません。

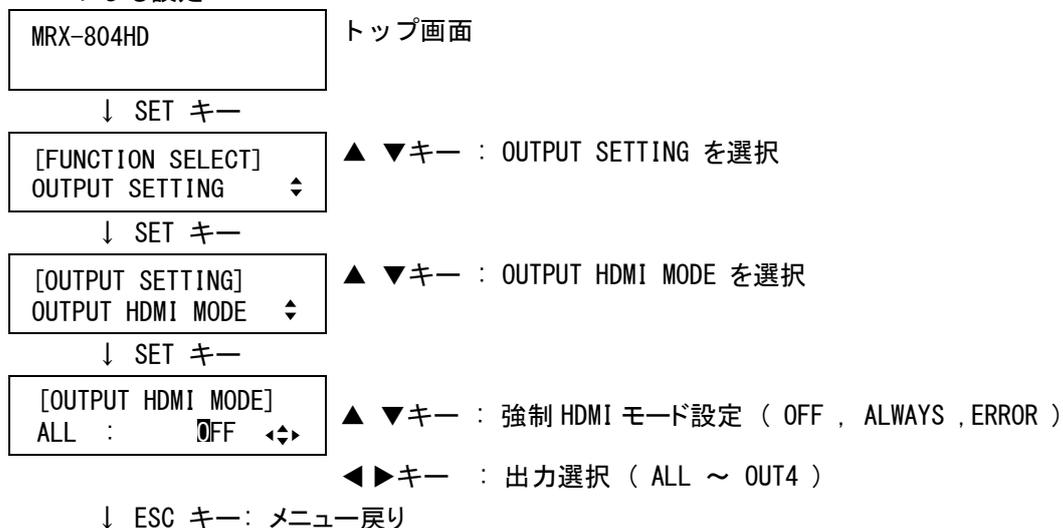
この場合、もし接続機器が HDMI モニタである場合、音声が出ないなどの問題が発生する可能性があります。

本メニューにて、強制 HDMI モードを ON に設定すると、本機が EDID を取得できない状態に陥ってしまった場合、接続先を HDMI として本機送信部が動作致します。

ただし、本メニューは EDID が取得できない異常時に用いる機能ですので、通常は設定の必要はありません。

本設定を強制 HDMI モードで使用する場合には 4.5.1 EDID データ（P.39）の設定を「外部 EDID」設定で使わずに接続するモニタの解像度に対応した EDID を設定してください。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.27 @SHM(強制 HDMI モード設定)(P.97)

5.6.28 @GHM(強制 HDMI モード取得)(P.97)

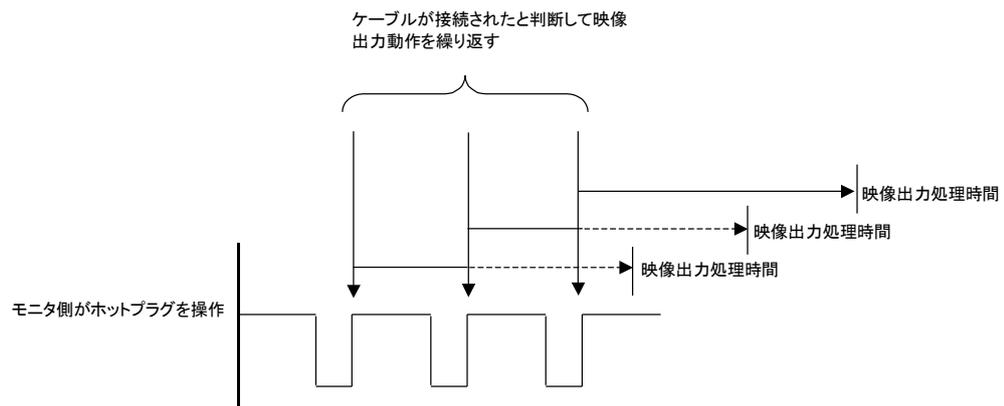
4.3.4 ホットプラグ オフ マスク設定

ホットプラグ監視のマスク時間を設定します。

- ・ホットプラグ オフ マスク設定(OFF, 2 秒 ~ 15 秒 , 1 秒/ステップ) ※初期値 OFF

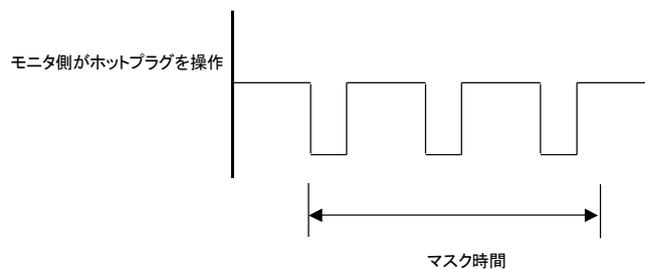
HDMI 機器は接続の検知にホットプラグ信号を検知して接続先の変更を認識しています。

映像信号の無入力監視機能(本機の 4.2.2 デジタル信号の無入力監視 (P.22)と同様の機能)を有するモニターと接続時にモニター側が映像信号の出力指示(ホットプラグの ON/OFF)を短い周期で繰り返された場合に分配器側で接続動作を繰り返すことになり映像出力までに時間がかかることがあります。



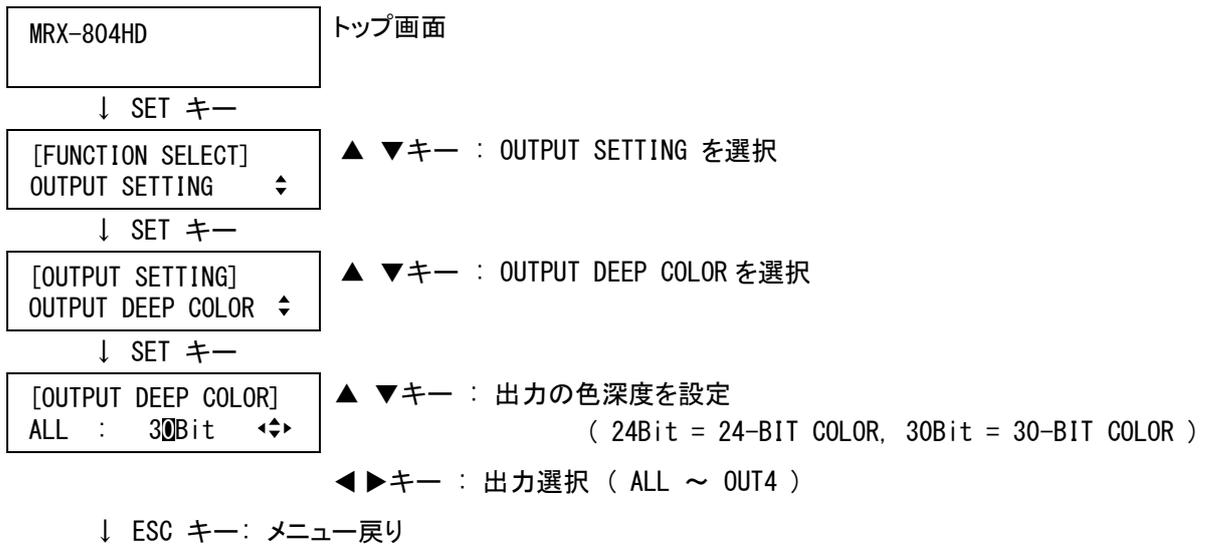
【図 4.11】ホットプラグ検出動作

本メニューにて、ホットプラグオフのマスク時間を設定することにより、ホットプラグオフ(HDMI ケーブルが抜かれた状態)の処理を遅らせて映像を出力し続けることでモニターとの接続をスムーズに行うことができます。



【図 4.12】ホットプラグ検出マスク

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

- 5. 6. 31 @SDC(Deep Color 出力設定) (P. 98)
- 5. 6. 32 @GDC(Deep Color 出力取得) (P. 99)

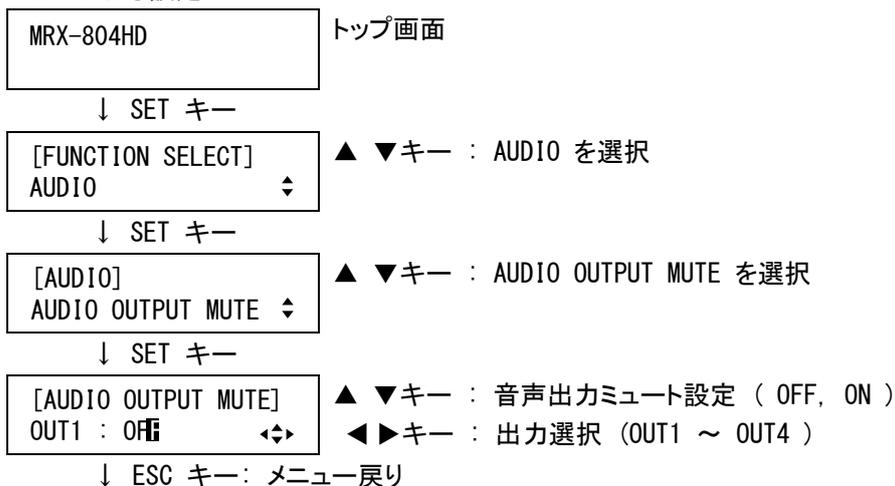
4.4 音声設定

4.4.1 音声出力ミュート

音声出力のミュートを設定します。

・音声出力ミュート設定(OFF = ミュート OFF, ON = ミュート ON(MUTE)) ※初期値 OFF

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

- 5.6.43 @SAM(音声出力ミュート設定)(P.102)
- 5.6.44 @GAM(音声出力ミュート取得)(P.103)

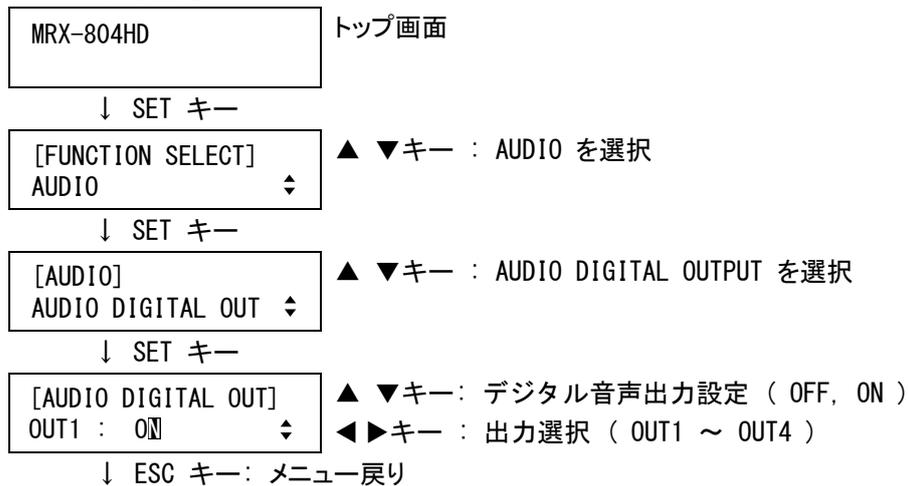
4.4.2 デジタル音声出力

デジタル音声出力のON/OFFを設定します。

・デジタル音声出力設定(OFF = 停止, ON = 出力) ※初期値 ON

デジタル音声出力のON/OFFは出力端子毎の設定が可能です。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

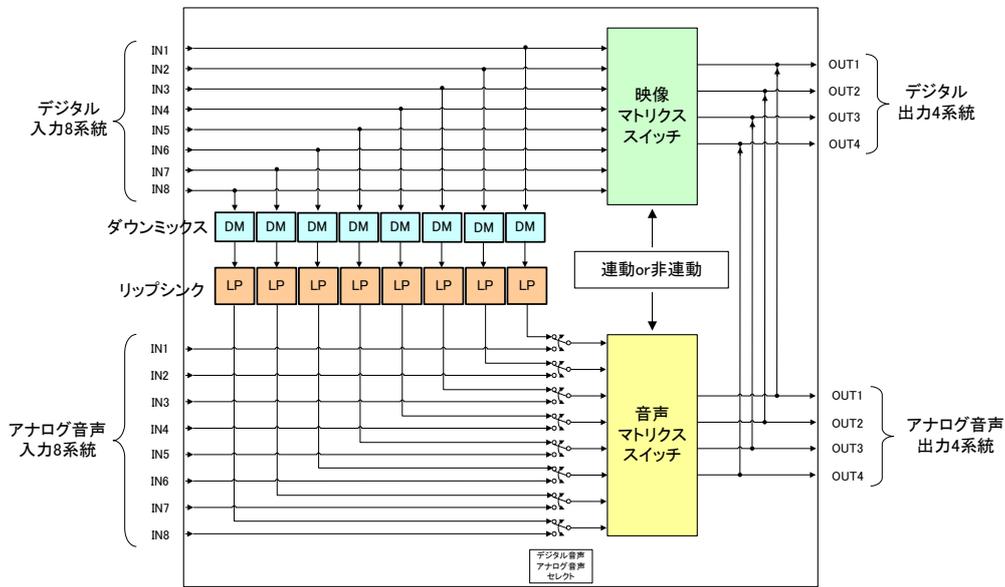
5. 6. 45 @SDO(デジタル音声出力設定) (P. 103)

5. 6. 46 @GDO(デジタル音声出力取得) (P. 103)

4.4.3 音声入力選択

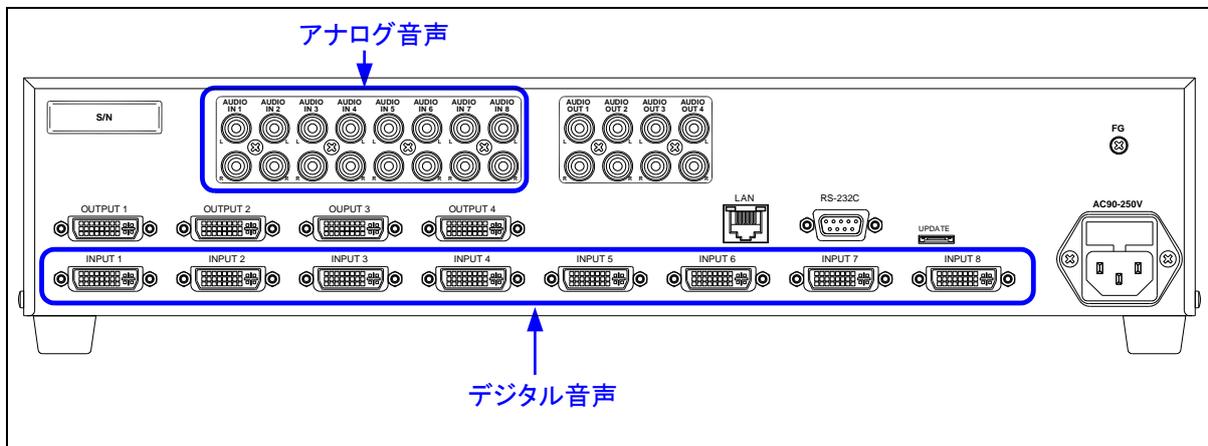
入力チャンネル 1 (IN1) ~ 8 (IN8) の音声入力を選択します。

・音声入力設定 (DIGITAL, ANALOG) ※初期値 DIGITAL



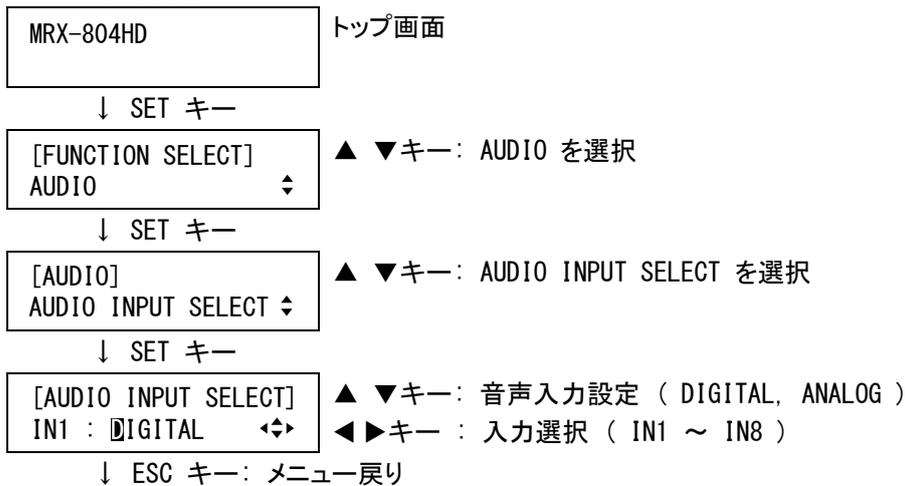
※ ダウンミックス/リップシンクはアナログ音声出力に適応されます

[図 4.13] 音声入力構成



[図 4.14] 音声入力端子

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 47 @SAS(音声入力選択設定) (P. 104)

5. 6. 48 @GAS(音声入力選択取得) (P. 104)

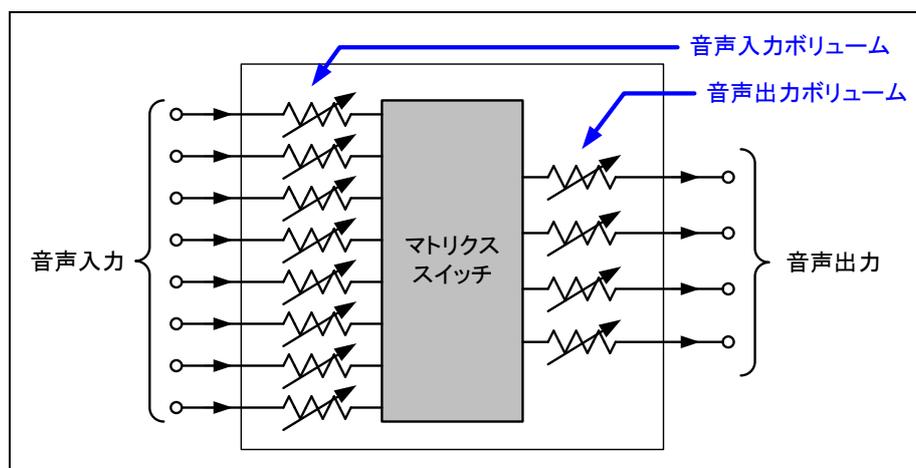
4. 4. 4 アナログ音声入力レベル

アナログ音声入力ボリュームによりアナログ音声入力レベルを設定します。

・アナログ音声入力ボリューム設定(-28[dB] ~ ±0[dB]) ※初期値 0[dB]

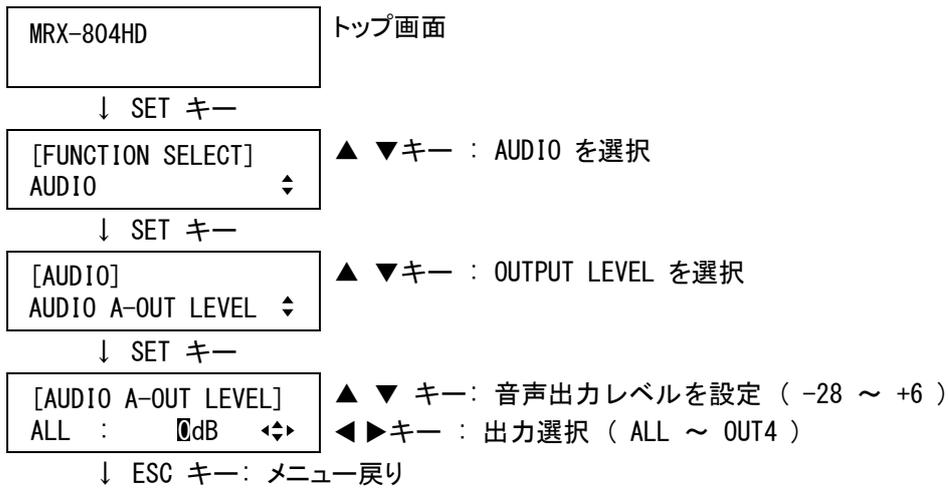
アナログ音声入力レベルは入力端子毎に設定することができるので、入力信号毎の音声入力レベルの差を修正することが可能です。

※アナログ音声入力レベルはアナログ音声出力に適応されます。



[図 4.15] 音声入出力ボリューム

①メニューによる設定



※ 「ALL CH」を選択しているときに各出力チャンネルの設定が異なる場合は、出力チャンネル 1 の音声出力レベルを表示し、左側に「*」を表示します。このときに「ALL CH」を選択しただけでは全出力チャンネルの音声出力レベルは同じ設定になりません。全出力チャンネルの音声出力レベルを同じ設定にする場合は、◀ ▶キーで「ALL CH」を選択し、音声出力レベルを変更してください。

[AUDIO A-OUT LEVEL]
ALL : * 0dB ◀▶

②コマンドによる設定

5. 6. 39 @SSL(アナログ音声出力レベル設定) (P. 101)

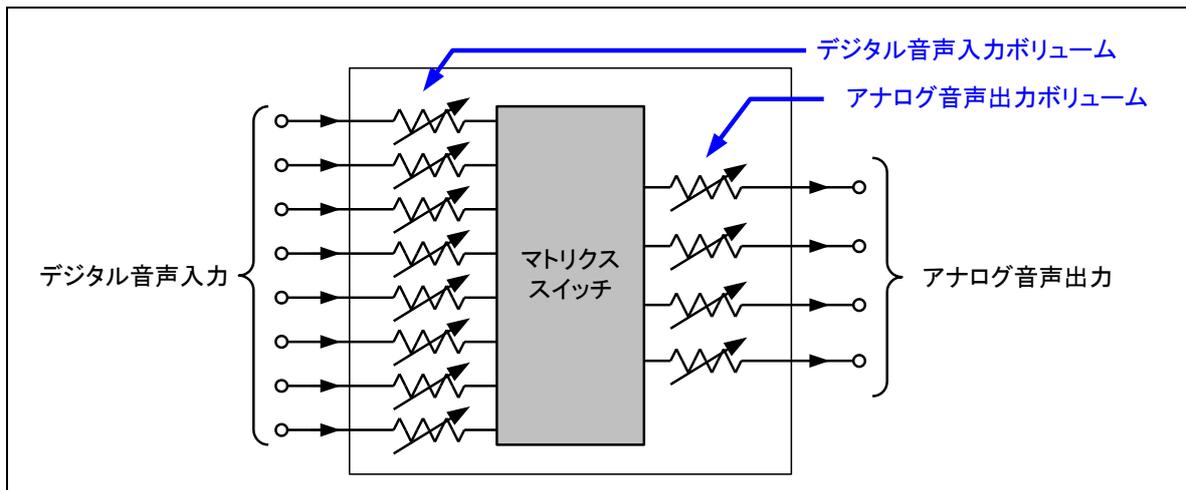
5. 6. 40 @GSL(アナログ音声出力レベル取得) (P. 101)

4.4.6 デジタル音声入力レベル

デジタル音声入力ボリュームにより音声入力レベルを設定します。

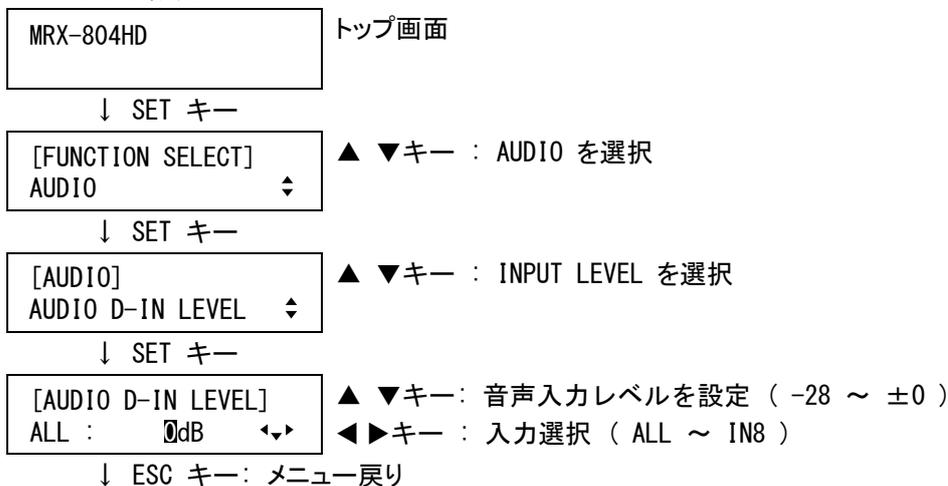
・デジタル音声入力ボリューム設定(-28[dB] ~ ±0[dB]) ※初期値 0[dB]

デジタル音声入力レベルは入力端子毎に設定することができるので、入力信号毎の音声入力レベルの差を修正することが可能です。



【図 4.17】 音声入出力ボリューム

①メニューによる設定



※「ALL CH」を選択しているときに各入力チャンネルの設定が異なる場合は、入力チャンネル1の音声入力レベルを表示し、左側に「*」を表示します。このときに「ALL CH」を選択しただけでは全入力チャンネルの音声入力レベルは同じ設定になりません。全入力チャンネルの音声入力レベルを同じ設定にする場合は、◀ ▶キーで「ALL CH」を選択し、音声入力レベルを変更してください。

[AUDIO D-IN LEVEL]
 ALL : * 0dB

②コマンドによる設定

5.6.37 @SSD(デジタル音声入力レベル設定)(P.100)

5.6.38 @GSD(デジタル音声入力レベル取得)(P.101)

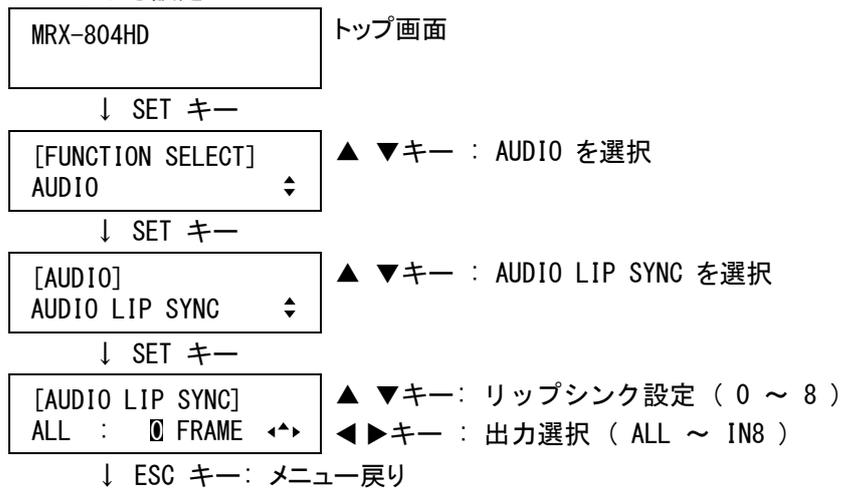
4.4.7 リップシンク設定

デジタル音声入力された音声をアナログ音声出力する際の映像と音声のズレの補正値を設定します。

・リップシンク設定(0Frame ~ 8Frame) ※初期値 0Frame

映像信号と音声信号のズレを補正することをリップシンクといい、本機は映像信号に対して音声信号を 1 フレーム単位で遅らせることが可能です。入力端子毎の設定が可能です。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.41 @SLY(リップシンク設定) (P.102)

5.6.42 @GLY(リップシンク取得) (P.102)

4.5 EDID 設定

通常、パソコンとモニタを直接接続して電源を入れると、パソコンはモニタが入力することのできる信号周波数の範囲などの情報を問い合わせ、そのデータ(EDID)を取得します。(この一連の動きをプラグアンドプレイといいます) EDID設定メニューでは、パソコンからの問い合わせに対して本機が返信するデータを設定します。設定するデータは、本機のOUTPUT端子に接続されたモニタから読み取ったデータ※、または本機にあらかじめ登録された10種類の内蔵データの中から選択することができます。4.5.1 EDIDデータ(P.39)の設定をご覧ください) またモニタから読み取る場合は、読み取るOUTPUT端子を選択することができます。4.5.3 EDID読み取りチャンネル(P.42)の設定をご覧ください)

EDIDデータの取得は、通常パソコンの電源起動時に行われるので、本機およびモニタの電源が入っている状態でパソコンの電源を入れてください。またシステムの電源を切る場合は、パソコンの電源を切ってから本機およびモニタの電源を切ってください。

EDIDデータの設定を変更する場合は、一旦パソコンの電源を切ってから設定を変更するか、または設定を変更した後でパソコンのプラグアンドプレイモニタの検出手動で行ってください。(プラグアンドプレイモニタの手動検出は、お使いのパソコンおよびオペレーティングシステムのマニュアルをご覧ください)

※ 本機が読み取ることのできる EDID データは、VESA DDC2B/EDID 規格のバージョン 1.0～1.3 です。

4.5.1 EDID データ(P.39)メニューで「EXTERNAL」を選択した場合は、電源を投入したとき、EDID の設定を変更したとき、およびモニタの接続状態が変わったときに、自動的にモニタの EDID データを取得します。

注意 1)

[4.5.6 PCM Audio 設定(P.45)] ～[4.5.12 Dolby TrueHD Audio 設定(P.51)]の音声フォーマットの設定は、シンク機器によっては、対応できない音声フォーマットがあります。お使いのシンク機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

注意 2)

[4.5.4 Deep Color設定(P.43)] ～[4.5.5 Audioチャンネル数設定(P.44)]の設定は、対応するソース機器、シンク機器を接続し、4.5.1 EDIDデータ(P.39)にて、「EDID設定番号 5～24 (TVなど、HDMI機器用内蔵EDID)」を選択された場合に有効になります。

4.5.1 EDID データ

接続されたソース機器に対して本機が返信するEDIDデータを設定します。

[表 4.18] EDID 設定値

設定番号	設定値(解像度)	画素数	規格	備考
0	外部 EDID	-	-	取得データが無い場合初期値 5 を設定
1	SAVE EDID (注 1)	-	-	取得データが無い場合初期値 5 を設定
2	SAVE EDID (注 1)	-	-	取得データが無い場合初期値 5 を設定
3	SAVE EDID (注 1)	-	-	取得データが無い場合初期値 5 を設定
4	SAVE EDID (注 1)	-	-	取得データが無い場合初期値 5 を設定
5	1080p(59.94p、60p)	(1920×1080)	HDTV	* 初期値
6	720p	(1280×720)	HDTV	
7	1080i	(1920×1080)	HDTV	
8	1080p(24p、25p、30p、50p)	(1920×1080)	HDTV	
9	SVGA	(800×600)	VESA	
10	XGA	(1024×768)	VESA	
11	VESA720	(1280×720)	CVT	DVI 入力用
12	WXGA	(1280×768)	VESA	
13	WXGA	(1280×800)	VESA	MAC 対応
14	Quad-VGA	(1280×960)	VESA	
15	SXGA	(1280×1024)	VESA	
16	WXGA	(1366×768)	VESA	4.5.13 WXGA(1366/1360)設定(P.52) メニューにて切換え。
16	WXGA	(1366×768)	VESA	
17	SXGA+	(1400×1050)	VESA	
18	WXGA+	(1440×900)	VESA	
19	WXGA++	(1600×900)	VESA	Reduced Blanking
20	UXGA	(1600×1200)	VESA	
21	WSXGA+	(1680×1050)	VESA	
22	VESA1080	(1920×1080)	CVT	DVI 入力用 (Reduced Blanking)
23	WUXGA	(1920×1200)	VESA	Reduced Blanking
24	QWXGA	(2048×1152)	VESA	Reduced Blanking

「EXTERNAL」に設定すると本機のOUTPUT端子に接続されたモニタから読み取ったデータを返信し、それ以外に設定すると本機にあらかじめ登録された内蔵データを返信します。

EDIDデータは入力端子毎に設定することができます。

(注 1) 4.5.2 EDID データのコピー(P.41)メニューで、あらかじめモニタから EDID データを読み取っておく必要があります。

②コマンドによる設定

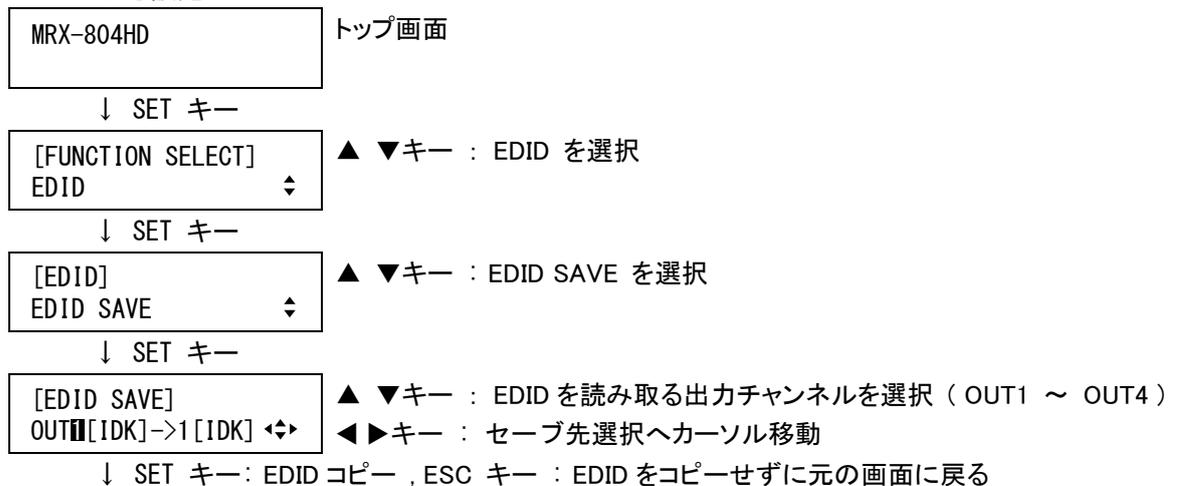
@SED EDID データ設定(P.92)

@GED EDID データ取得(P.92)

4.5.2 EDID データのコピー

モニタのEDIDデータを読み取り本機に記憶します。本機の出力にケーブル補償器などを接続したことにより本機とモニタとの距離が長くなり、モニタのEDIDを読み取れない場合のときに、一旦本機とモニタを短いケーブルで接続し、モニタのEDIDデータをコピーする場合などに使用してください。コピーしたEDIDデータを使用する場合は、4.5.1 EDIDデータ(P.39)で「SAVE DATA」を選択し、以降は内蔵データと同じように扱うことができます。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

@RME EDID データのコピー(P.93)

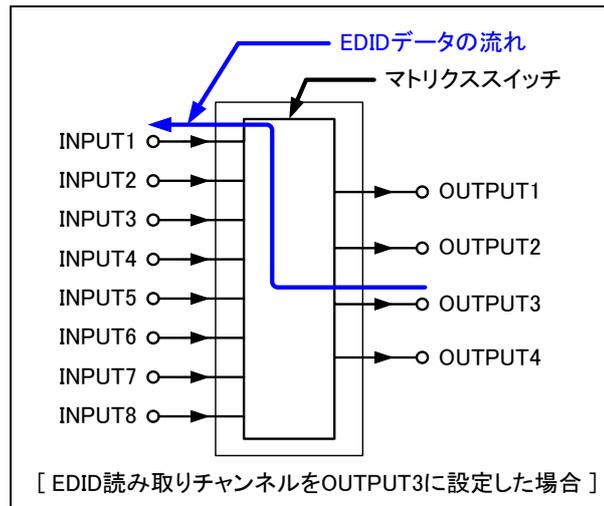
4.5.3 EDID 読み取りチャンネル

本機のOUTPUT端子に接続されたモニターから読み取ったEDIDデータを使用する場合に、EDIDデータを読み取るOUTPUT端子を設定します。

・EDID 読み取りチャンネル設定(OUT1 ~ OUT4) ※初期値 OUT1

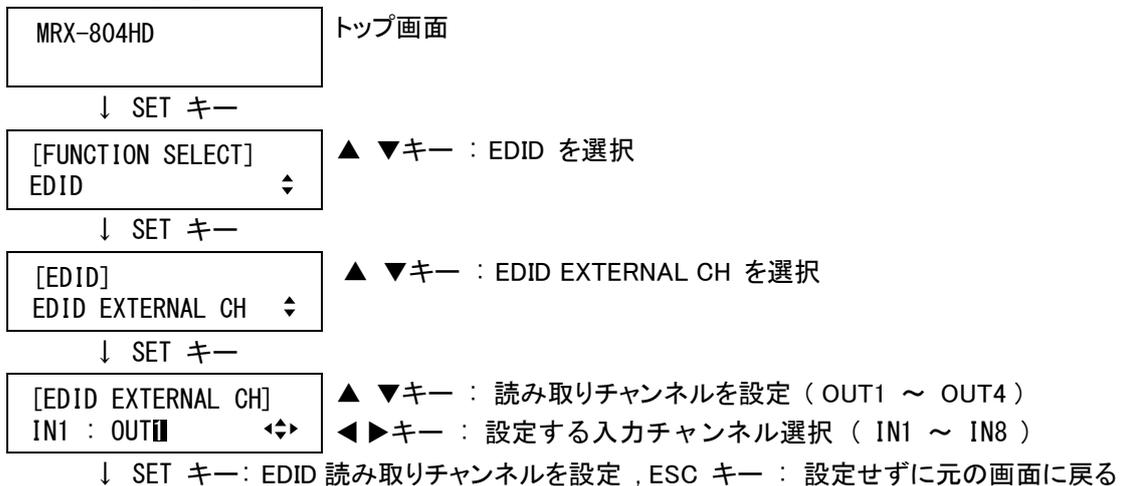
本メニューの設定は、4.5.1 EDIDデータ(P.39)の設定で「EXTERNAL」を選択した場合のみ有効に機能します。

EDIDの読み取りチャンネルは入力端子毎に設定することができます。



[図 4.20] EDID 読み取りチャンネル

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

@SEC EDID 読み取りチャンネル設定(P.93)

@GEC EDID 読み取りチャンネル取得(P.93)

4.5.4 Deep Color 設定

ソース機器から出力する Deep Color (色深度)を設定します。

・Deep Color 設定(24Bit = 24-BIT COLOR , 30Bit = 30-BIT COLOR) ※初期値 24Bit

本機の INPUTコネクタに接続されたブルーレイプレーヤーなどのソース機器および OUTPUTコネクタに接続されたモニタなどシンク機器が Deep Color に対応している場合、本メニューの設定によりソース機器の Deep Color 出力が可能になります。

本メニューの設定は、4.5.1 EDID データ(P.39)にて、「EDID 設定番号 5～24 (TV など、HDMI 機器用内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

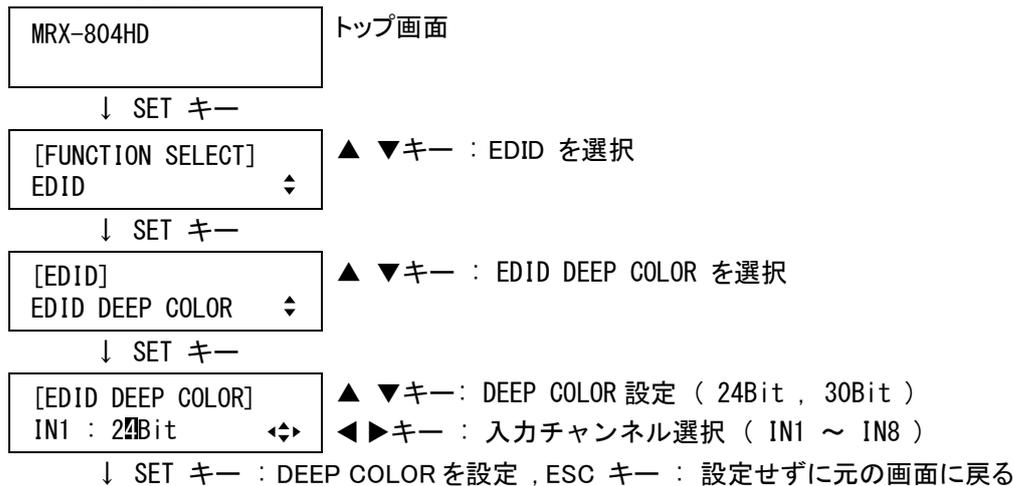
本機は 30-BIT Deep Color に対応しております。工場出荷時設定は「24-BIT COLOR」になっております。入力端子毎に設定することができます。

注意 1)

設定を「30-BIT COLOR」にした場合、伝送クロックが高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続した場合に、映像にノイズが入ることがあります。

この場合は、「24-BIT COLOR」に設定することにより症状が改善される場合があります。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 33 @SDI(Deep Color 入力設定) (P. 99)

5. 6. 34 @GDI(Deep Color 入力取得) (P. 99)

4.5.5 Audio チャンネル数設定

ソース機器からマルチチャンネルの音声を出力する場合のチャンネル数の設定をします。

・Audio チャンネル数設定(2CH , 2.1CH , 5.1CH , 7.1CH) ※初期値 2CH

本メニューは、対応するソース機器、シンク機器を接続し、4.5.1 EDID データ(P.39)にて、「EDID 設定番号 5～24 (内蔵 EDID)」を選択された場合に有効になります。

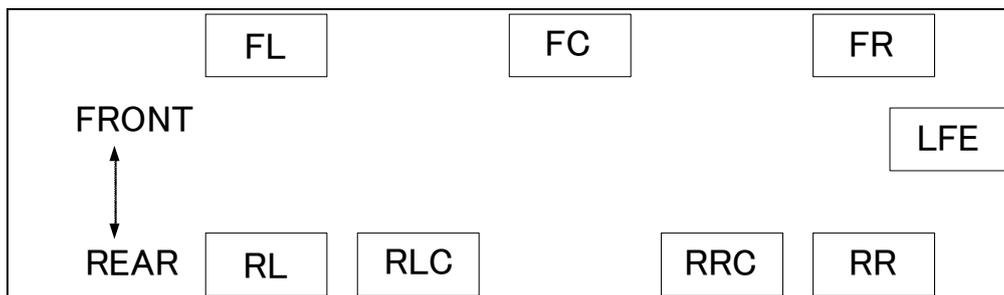
入力端子毎に設定することができます。

注意 1)

Audio チャンネル数を設定すると、[表 4.21] チャンネル数とスピーカー構成 (P.44) のスピーカー構成で音声が出力されます。

[表 4.21] チャンネル数とスピーカー構成

スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC
2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF
6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF
8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON



[図 4.22] チャンネル数とスピーカー構成

[表 4.23] スピーカー配置

名称	位置
FL	Front Left
FC	Front Center
FR	Front Right
RL	Rear Left
RR	Rear Right
RLC	Rear Left Center
RRC	Rear Right Center
LFE	Low Frequency Effect

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 49 @SSP (Audio チャンネル数設定) (P. 105)

5. 6. 50 @GSP (Audio チャンネル数取得) (P. 106)

4. 5. 6 PCM Audio 設定

ソース機器から出力する PCM Audio の設定をします。

・PCM Audio 設定(32kHz , 44.1kHz , 48kHz , 88.2kHz , 96kHz , 192kHz) ※初期値 48kHz

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 51 @SAF (音声フォーマット設定) (P. 107)

5. 6. 52 @GAF (音声フォーマット取得) (P. 108)

4.5.7 AC-3/Dolby Digital Audio 設定

ソース機器から出力する AC-3/Dolby Digital Audio の設定をします。

・AC-3/Dolby Digital Audio 設定(OFF , 32 kHz , 44.1 kHz , 48 kHz) ※初期値 OFF

入力端子毎に設定することができます。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.51 @SAF(音声フォーマット設定)(P.107)

5.6.52 @GAF(音声フォーマット取得)(P.108)

4.5.10 DTS Audio 設定

ソース機器から出力する DTS Audio の設定をします。

・DTS Audio 設定(OFF , 32 kHz , 44.1 kHz , 48 kHz , 96kHz) ※初期値 OFF

入力端子毎に設定することができます。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.51 @SAF(音声フォーマット設定) (P.107)

5.6.52 @GAF(音声フォーマット取得) (P.108)

4.5.11 DTS-HD Audio 設定

ソース機器から出力する DTS-HD Audio の設定をします。

・DTS-HD Audio 設定(OFF , 44.1kHz , 48kHz , 88.2kHz , 96kHz , 176.4kHz , 192 kHz) ※初期値 OFF

入力端子毎に設定することができます。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.51 @SAF(音声フォーマット設定)(P.107)

5.6.52 @GAF(音声フォーマット取得)(P.108)

4. 5. 12 Dolby TrueHD Audio 設定

ソース機器から出力する Dolby TrueHD Audio の設定をします。

・Dolby TrueHD Audio 設定(OFF , 44.1kHz , 48kHz , 88.2kHz , 96kHz , 176.4kHz , 192 kHz)

※初期値 OFF

入力端子毎に設定することができます。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5. 6. 51 @SAF(音声フォーマット設定) (P. 107)

5. 6. 52 @GAF(音声フォーマット取得) (P. 108)

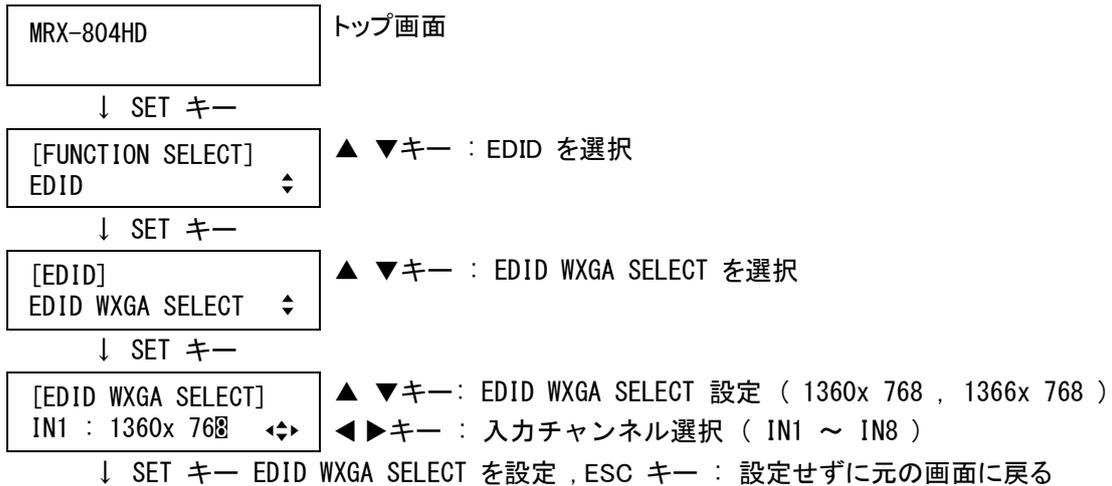
4.5.13 WXGA(1366/1360)設定

WGXA の EDID データを 1360x768 で使用するか、1366x768 で使用するか設定します。

・WXGA (1360/1366) 設定(1360×768 , 1366×768) ※初期値 1360×768

入力端子毎に設定することができます。

①メニューによる設定



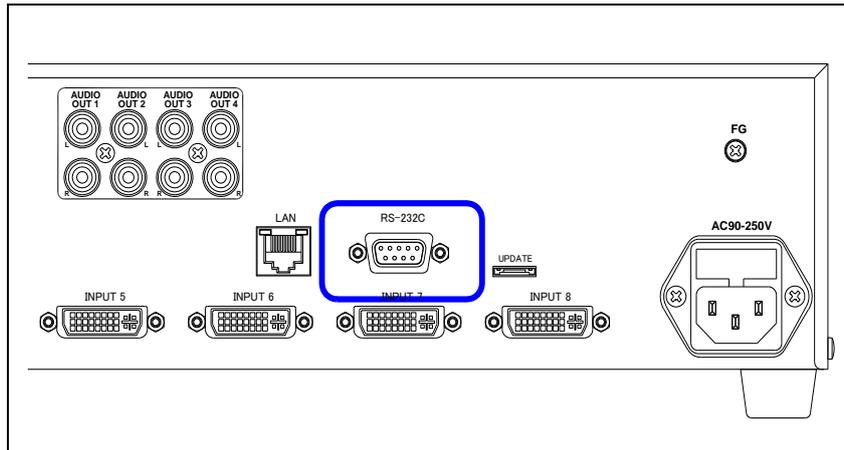
②コマンドによる設定

なし

4.6 シリアル端子設定

シリアル端子の通信設定を行います。

- ・通信速度設定(4800 [bps] , 9600[bps] , 14400[bps] , 19200[bps] , 38400[bps]) ※初期値 9600[bps]
- ・データ長設定(7[Bit] , 8[Bit]) ※初期値 8[Bit]
- ・パリティビット設定(NONE[なし] , ODD[奇数] , EVEN[偶数]) ※初期値 NONE[なし]
- ・ストップビット設定(1[Bit] , 2[Bit]) ※初期値 1[Bit]



[図 4.24] シリアル端子

①メニューによる設定

MRX-804HD	トップ画面
↓ SET キー	
[FUNCTION SELECT] COM PORT	▲ ▼キー : COM PORT を選択
↓ SET キー	
[COM PORT] COM PORT SETUP	SET キー : COM PORT SETUP を選択
↓ SET キー	
[COM PORT SETUP] 9600bps 8 NONE 1	▲ ▼キー : 通信速度を設定 (4800 , 9600 , 14400 , 19200 , 38400) SET キー : 通信設定の変更
↓ ◀▶キー	
[COM PORT SETUP] 9600bps 8 NONE 1	▲ ▼キー : データ長を設定 (7 , 8) SET キー : 通信設定の変更
↓ ◀▶キー	
[COM PORT SETUP] 9600bps 8 NONE 1	▲ ▼キー : パリティビットを設定 (NONE , ODD , EVEN) SET キー : 通信設定の変更
↓ ◀▶キー	
[COM PORT SETUP] 9600bps 8 NONE 1	▲ ▼キー : ストップビットを設定 (1 , 2) SET キー : 通信設定の変更
↓ ESC キー	ESC キー : 設定せずに元の画面に戻る

(注意)SET キーを押さないと通信速度は変更されませんので必ず SET キーを押してください。

②コマンドによる設定

5.6.60 @SCT(シリアル端子 通信速度設定)(P.111)

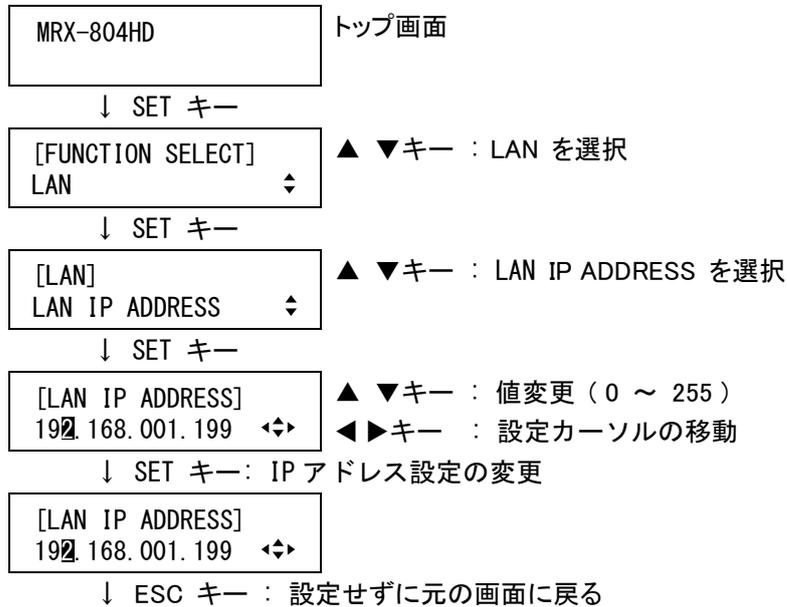
5.6.61 @GCT(シリアル端子 通信速度設定 取得)(P.112)

4.7 LAN

4.7.1 IP アドレス

本機の IP アドレスを設定します。(※初期値 192.168.001.199)

①メニューによる設定



(注意)SET キーを押さないと IP アドレスは変更されませんので必ず SET キーを押してください。

②コマンドによる設定

5.6.53 @SIP(IP アドレス設定)(P.109)

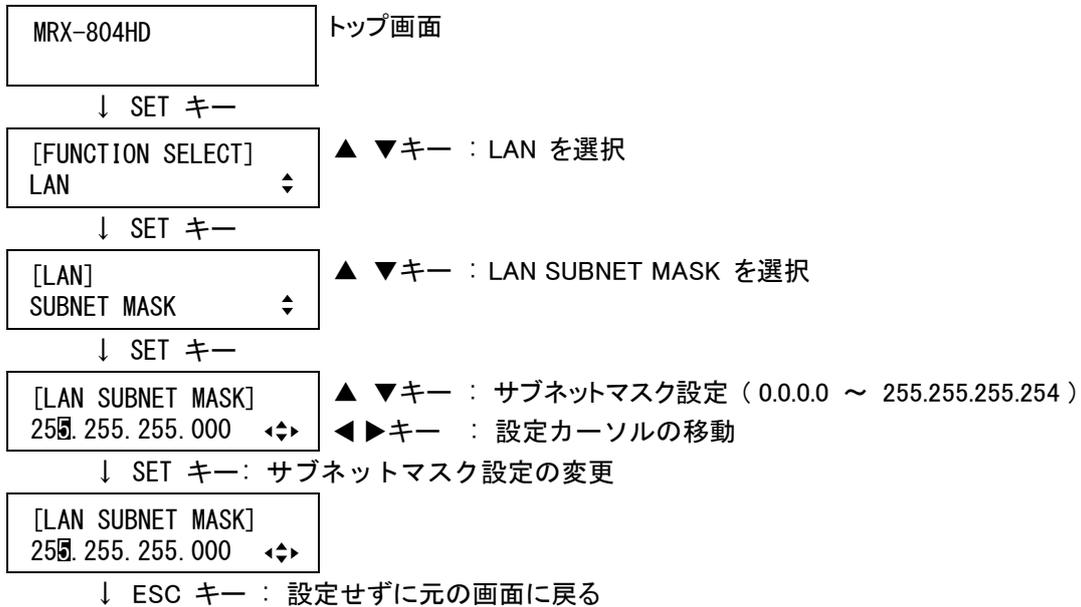
5.6.54 @GIP(IP アドレス取得)(P.109)

4.7.2 サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

・サブネットマスク設定(0.0.0.0 ~ 255.255.255.254) (※初期値 255.255.255.000)

①メニューによる設定



(注意)SET キーを押さないとサブネットマスクは変更されませんので必ず SET キーを押してください。

②コマンドによる設定

5.6.55 @SSB(サブネットマスク設定)(P.109)

5.6.56 @GSB(サブネットマスク取得)(P.110)

4.7.3 TCP ポート番号

TCP のポート番号を設定します。

- ・ポート番号設定(1100, 6000 ~ 6999) (※初期値 1100)
- ・8 コネクション設定(ON , OFF) (※初期値 OFF = 4 コネクション)

各コネクションは、通信コマンド制御とブラウザ制御に分けられ、工場出荷時は各 4 コネクションずつ割り当てられています。

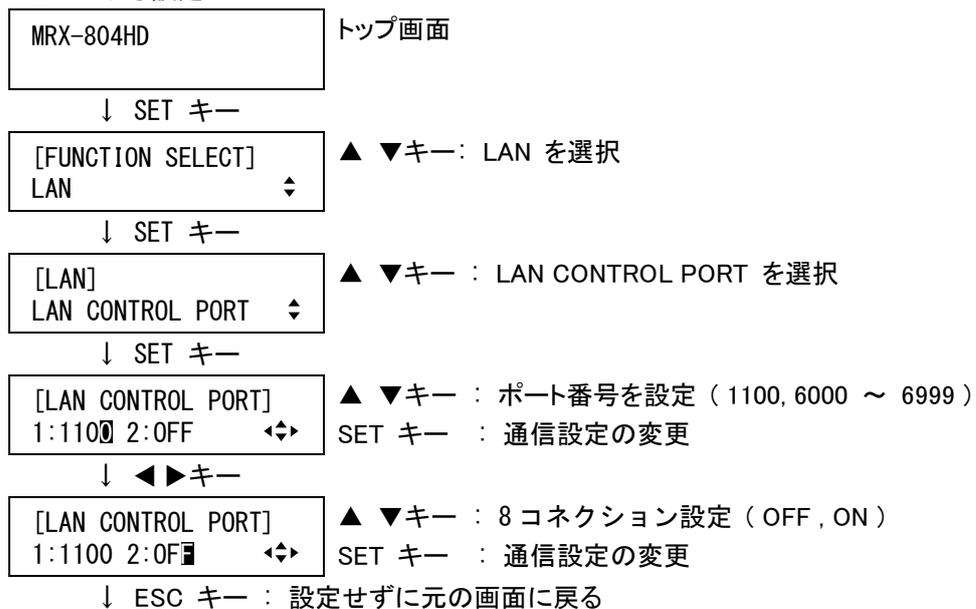
ブラウザ制御の 4 コネクションを通信コマンド制御に割り当てて通信コマンド制御を 8 コネクションまで同時に接続することができます。

通信コマンド制御に使用するコネクションは 1100, 6000 ~ 6999 のいずれかに設定します。

※ 8 コネクション設定を OFF にすると、最大 4 個のコネクション数を使用できます。この時の、WEB ブラウザ HTTP ポート番号は 80 固定です。

なお、ON にすると、最大 8 個までコネクション数を使用できますが、WEB ブラウザは使用できません。
(「5.2.1 TCP-IP コネクション数の制限と解決策(P. 77)」をご覧ください。)

①メニューによる設定



(注意)SET キーを押さないとサブネットマスクは変更されませんので必ず SET キーを押してください。

②コマンドによる設定

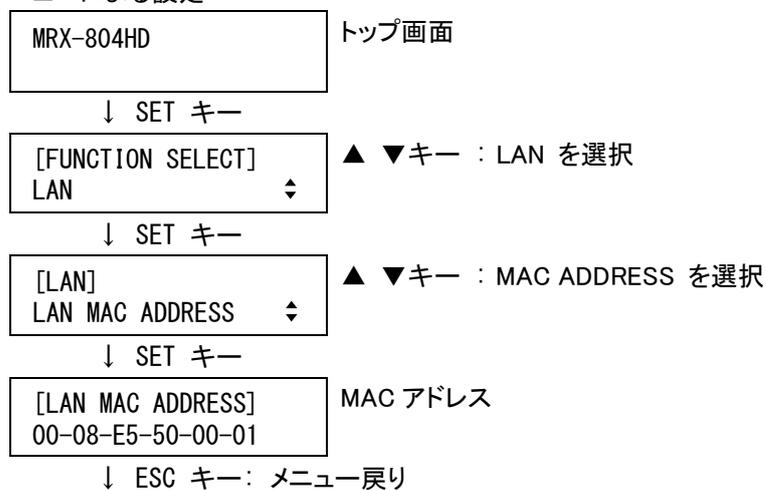
5.6.57 @SLP(TCP ポート番号設定)(P.110)

5.6.58 @GLP(TCP ポート番号取得)(P.111)

4.7.4 MAC アドレス表示

本機の MAC アドレスを表示します。

①メニューによる設定



②コマンドによる確認

5.6.59 @GMC (MAC アドレス取得)(P.111)

4.8 プリセットメモリ

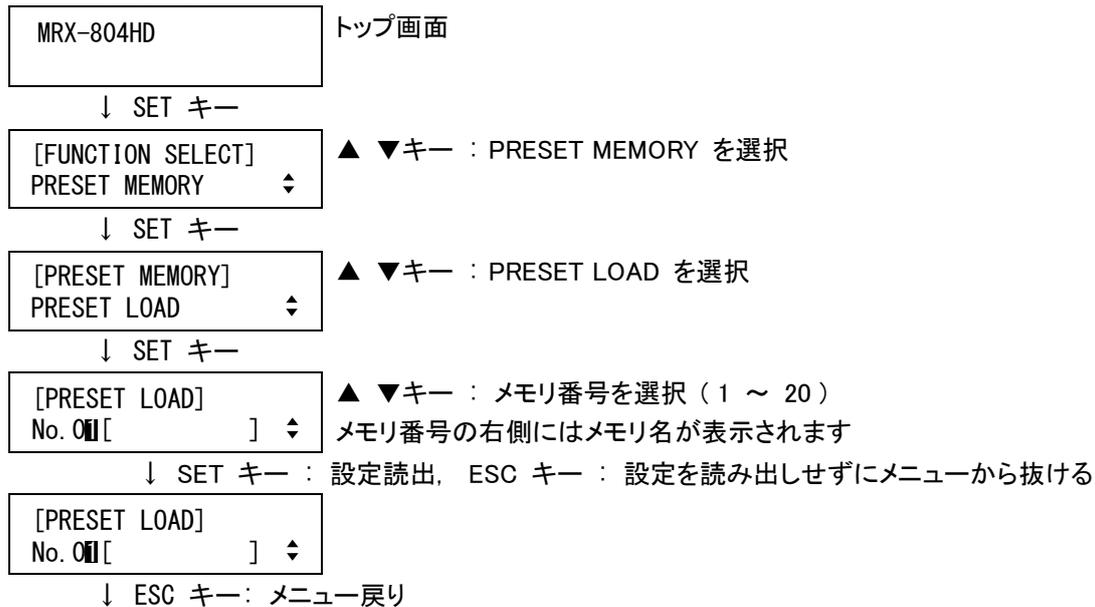
プリセットメモリには入出力チャンネルの設定を最大 20 個まで保存することができます。(入出力チャンネルの設定は 14 ページをご覧ください)

入出力チャンネル以外の設定は、メニュー操作または通信コマンドからの設定変更時に自動的に記憶され、次回電源投入時は前回の設定で起動します。

4.8.1 プリセットメモリの読み出し（入出力チャンネル設定読み出し）

プリセットメモリに保存されている入出力チャンネルの設定を読み出します。

①メニューによる設定



②コマンドによる確認

5.6.62 @RPM(プリセットメモリの読み出し（入出力チャンネル設定読み出し))(P.112)

4.8.2 プリセットメモリの保存（入出力チャンネル設定保存）

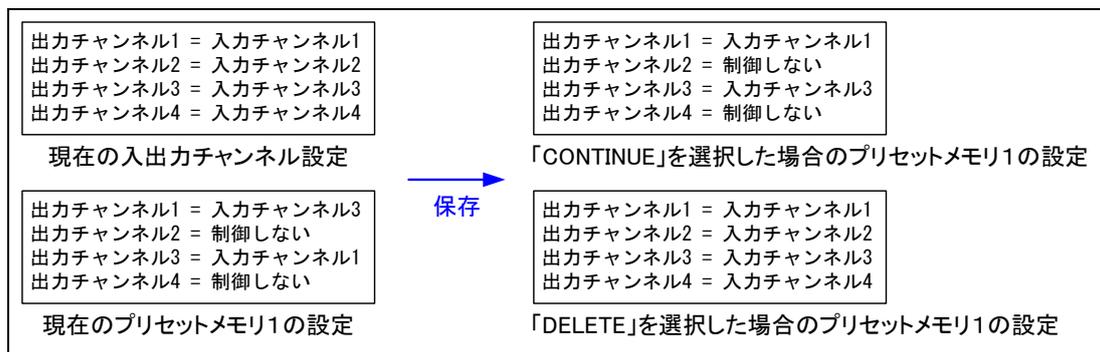
現在の入出力チャンネルの設定をプリセットメモリに保存します。

※ 注意 ディスプレイに「 Saving. 」と表示されている間は本機の電源を切らないでください。
設定情報を失う可能性があります。

①メニューによる設定



※ チャンネル制御を行わない設定が保存されているメモリ番号を選択した場合は、書き込み方法を選択することができます。チャンネル制御を行わない設定になっている出力チャンネルの設定は、「C = CONTINUE」を選択した場合はそのまま引き継がれ、「D = DELETE」を選択した場合は上書きされます。（チャンネル制御を行わない設定については、4.8.3 プリセットメモリの編集(P.61)をご覧ください）



[図 4.25] プリセットメモリの保存

②コマンドによる設定

5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存（入出力チャンネル設定保存))(P.113)

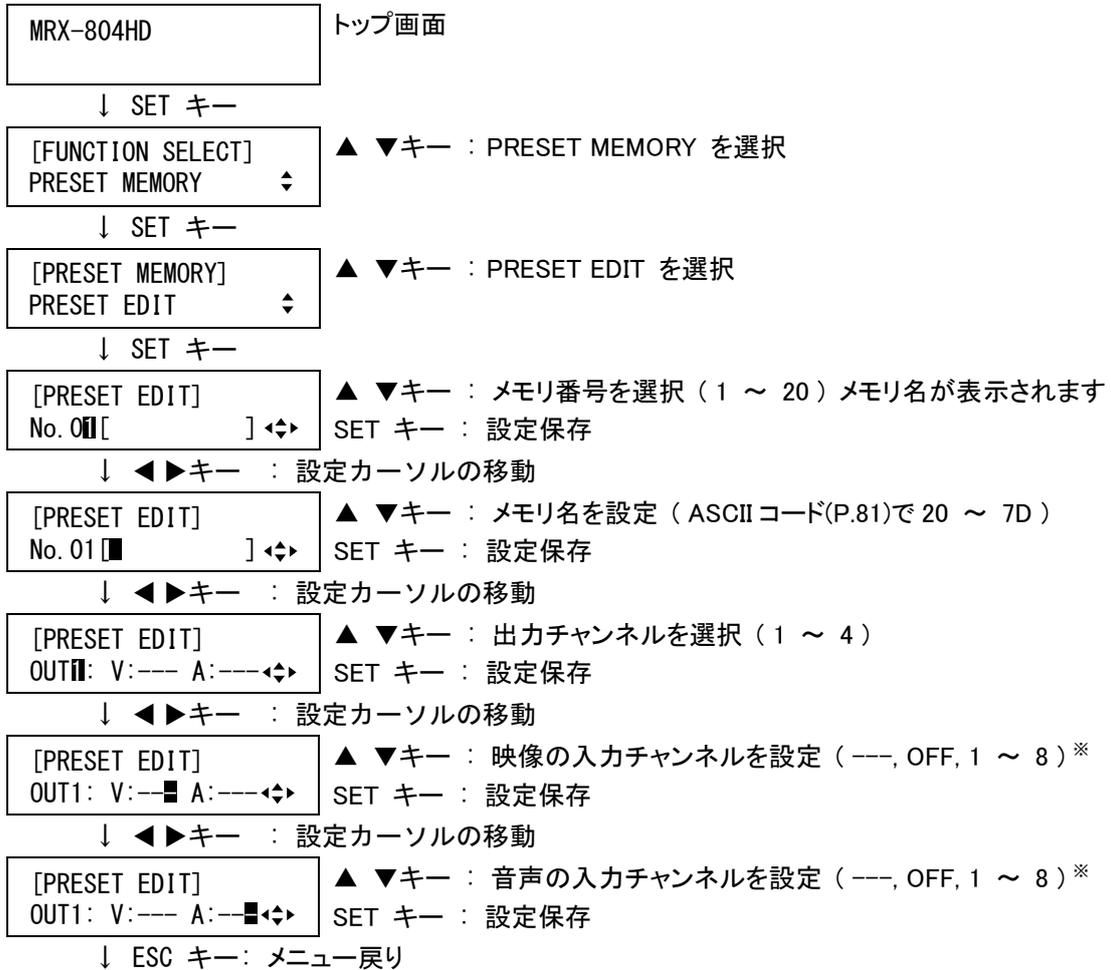
5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存（入出力チャンネル設定保存))(P.113)

4.8.3 プリセットメモリの編集

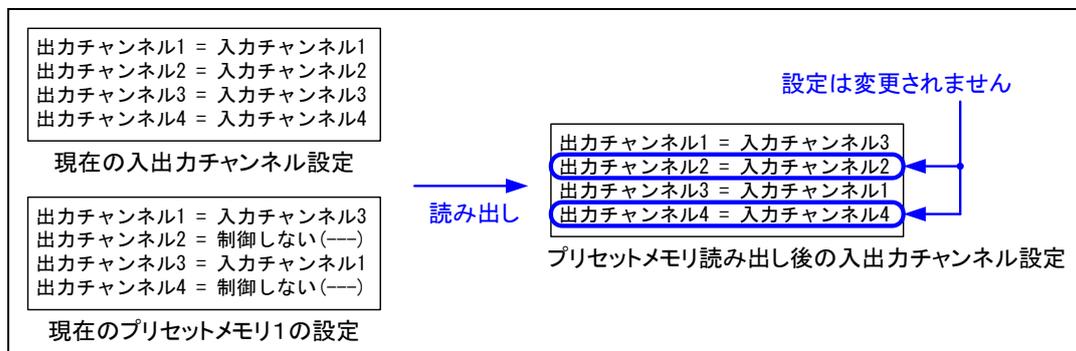
プリセットメモリの設定を編集することができます。

※ 注意 ディスプレイに「 Saving. 」と表示されている間は本機の電源を切らないでください。
設定情報を失う可能性があります。

①メニューによる設定



- ※ チャンネル制御を行わない設定の場合は、「---」と表示します。プリセットメモリを読み出したときに、チャンネル制御を行わない出力チャンネルは、チャンネルの切り換えを行いません。
全てのプリセットメモリは工場出荷時にチャンネル制御を行わない設定が保存されています。



【図 4.26】 編集されたプリセットメモリの読み出し

②コマンドによる設定

- 5.6.65 @ECM(プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集))(P.114)
- 5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113)
- 5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113)
- 5.6.66 @GCM(プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得))(P.114)

4.8.4 電源投入時の入出力チャンネル設定

電源投入時の入出力チャンネルの設定をプリセットメモリ、ラストメモリから選択できます。

- ・電源投入時の入出力チャンネル 設定(PRESET 1 ~ PRESET 20 , DEFAULT MEMORY , LAST MEMORY) ※初期値 LAST MEMORY
- ・プリセットメモリ (PRESET 1 ~ PRESET 20)
プリセットメモリに登録された入出力チャンネル状態で起動します。
チャンネル制御を行わない出力チャンネルは OFF に設定されます。(チャンネル制御を行わない設定については、4.8.3 プリセットメモリの編集(61 ページ)をご覧ください)
- ・デフォルトチャンネル (DEFAULT MEMORY)
入出力チャンネルが全出力 OFF 状態で起動します。
- ・ラストメモリ (LAST MEMORY ※初期値)
最後に電源を切った際の入出力チャンネル状態で起動します。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.67 @SMU(電源投入時の状態設定)(P.115)

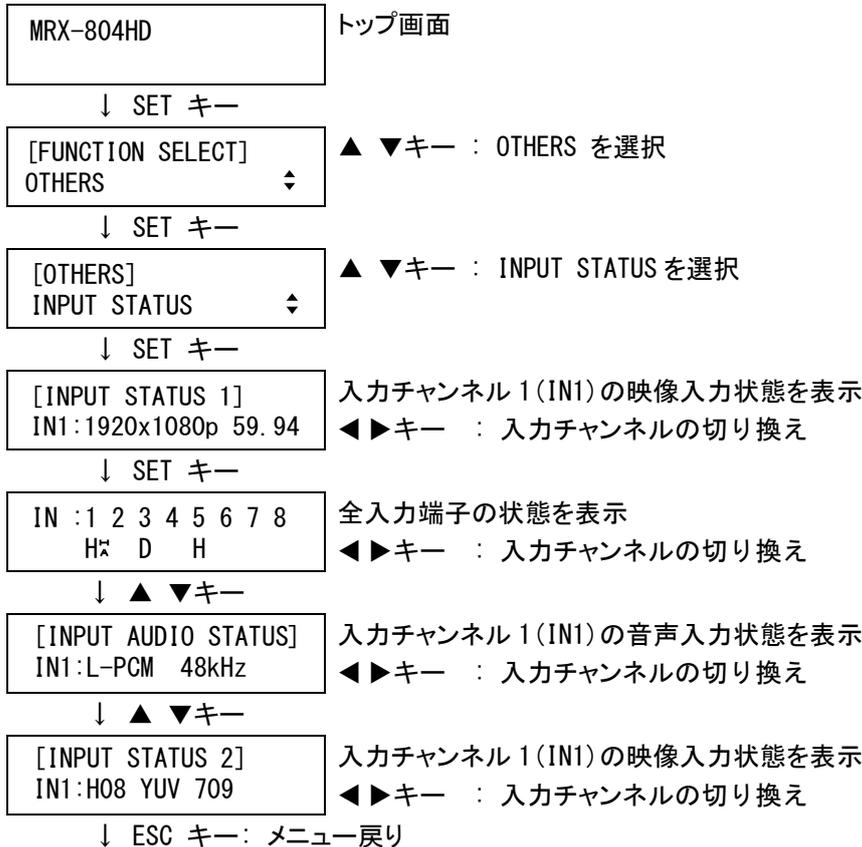
5.6.68 @GMU(電源投入時の状態取得)(P.115)

4.9 その他設定

4.9.1 入力信号状態表示

映像入力端子からの入力信号の状態を表示します。

①メニューによる設定



全入力端子の状態は、ディスプレイの上段にチャンネル番号、下段に入力信号の状態を表示します。

入力信号の意味は以下のとおりです。

[入力信号の種類]

数字の下のアルファベットは、入力信号の種類で以下のいずれかになります。

H : HDMI 信号が入力されています。

D : DVI 信号が入力されています。

: 何も表示されない場合は、信号が入力されていません。

[オプション情報]

HDCP が付加されている場合は上側に「H」を表示し、デジタルオーディオがエンベデットされている場合は下側に「A」を表示します。

各入力端子毎の映像入力状態の意味は以下のとおりです。

[映像入力信号のフォーマット]

800 x 600 60.00Hz : 信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を表示します。

No Signal : 映像信号が入力されていません。

各入力端子毎の音声入力状態の意味は以下のとおりです。

[音声入力信号の種別]

- L-PCM 48kHz : リニア PCM 信号が入力されており、右側にサンプリング周波数を表示します。
- COMPRESSED AUDIO : 圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています。本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります。
- No Signal : 音声信号が入力されていません。

[オプション情報]

マルチチャンネル音声信号が入力されている場合は、右に「M」と表示します。

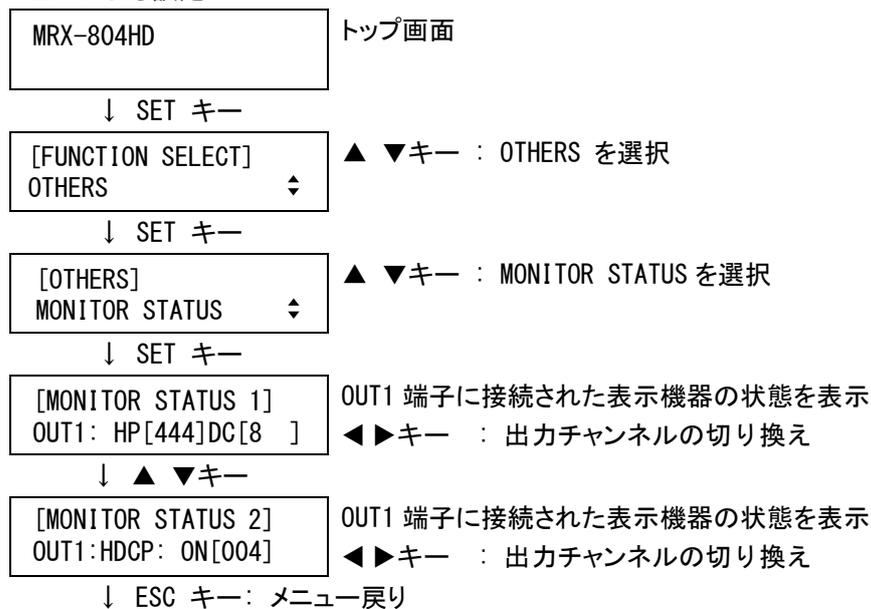
②コマンドによる表示

5. 6. 77 @GIS(入力ステータス取得) (P. 119)

4. 9. 2 表示機器状態表示

映像出力端子に接続されている表示機器の状態を表示します。

①メニューによる設定



②コマンドによる表示

5. 6. 78 @GOS(出力ステータス取得) (P. 120)

4.9.3 トップ画面表示

トップ画面の表示を選択します。

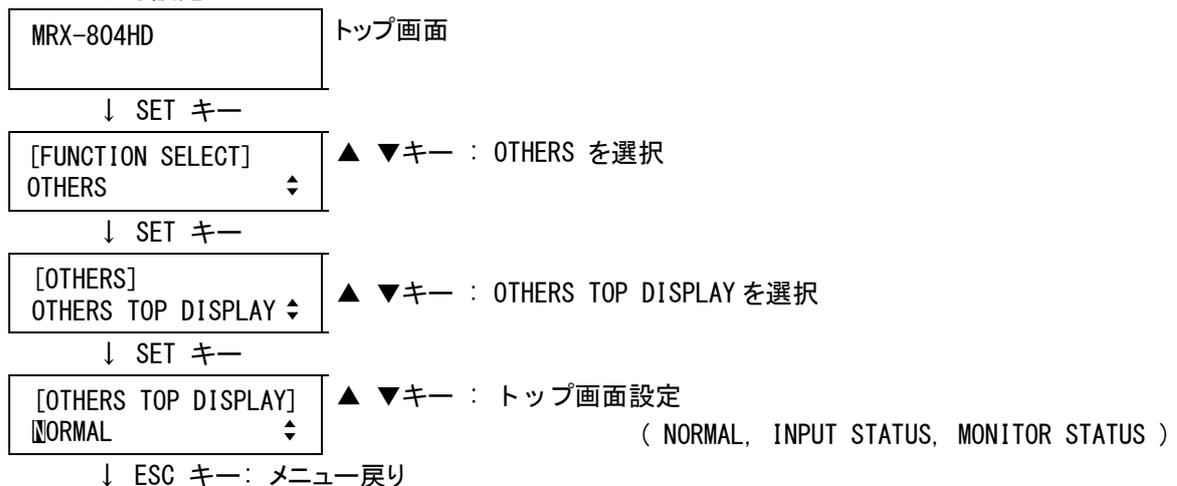
・トップ画面の表示設定（NORMAL = 通常画面，INPUT STATUS = 入力信号状態表示，MONITOR STATUS = 表示機器状態表示）※初期値 通常画面

通常画面	入力信号状態表示	表示機器状態表示
MRX-804HD	[INPUT STATUS 1] IN1:1920x1080p 59.94	[MONITOR STATUS 1] OUT1: HP[444]DC[8]

4.9.1 入力信号状態表示(P.64)で、映像入力端子からの入力信号の状態の確認が可能です。本メニューより「入力信号状態表示」を選択すれば、トップ画面として常時「入力信号状態表示」を表示します。「入力信号状態表示」については、4.9.1 入力信号状態表示(P.64)をご覧ください。

4.9.2 表示機器状態表示(P.65)で、映像出力端子に接続された表示機器の状態の確認が可能です。本メニューより「表示機器状態表示」を選択すれば、トップ画面として常時「表示機器状態表示」を表示します。「表示機器状態表示」については、4.9.2 表示機器状態表示(P.65)をご覧ください。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

なし

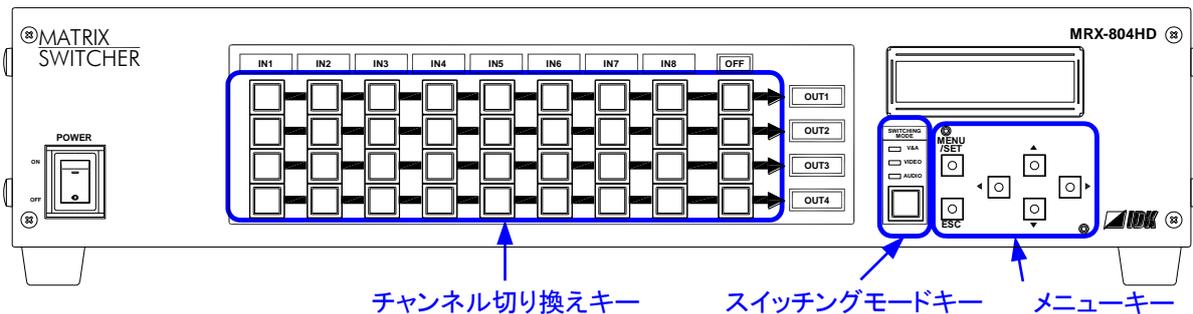
4.9.4 キーロック設定

キーロック時の適応範囲を設定します。

- ・キーロックなし（UNLOCK）
- ・キーロックあり（LOCK）※ 初期値

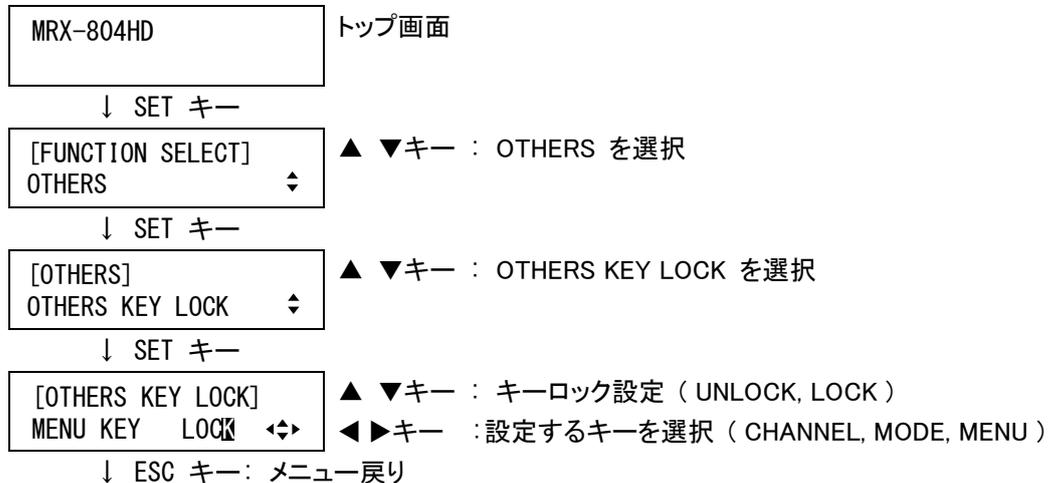
フロントキーは「チャンネル切り換えキー」「スイッチングモードキー」「メニューキー」の3種類からなり、それぞれのキーロックのON/OFFを設定します。

キーロックの設定／解除については3.3 キーロック設定／解除の選択操作（P.15）をご覧ください。



【図 4.27】フロントキーの種類

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

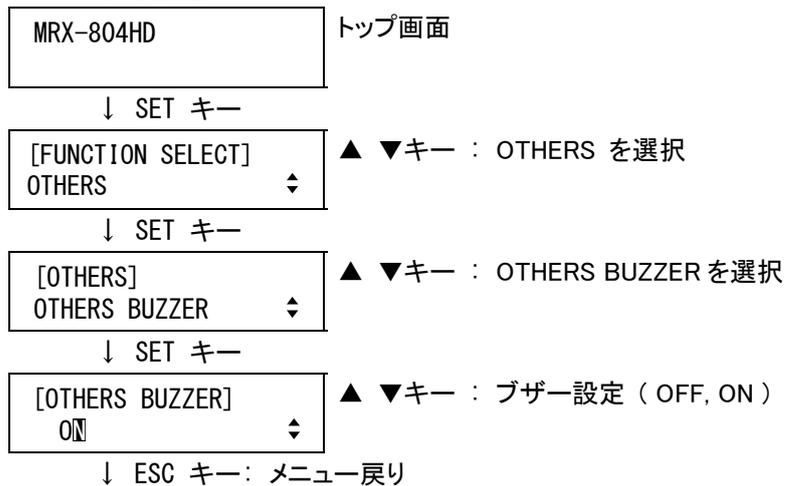
- 5.6.69 @SLM(キーロックモードの設定)(P.115)
- 5.6.70 @GLM(キーロックモードの取得)(P.116)

4.9.5 ブザー音設定

ブザー音(キー確認音)の ON/OFF を行います。

- ・ブザー音なし(OFF)
- ・ブザー音あり(ON) ※ 初期値

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

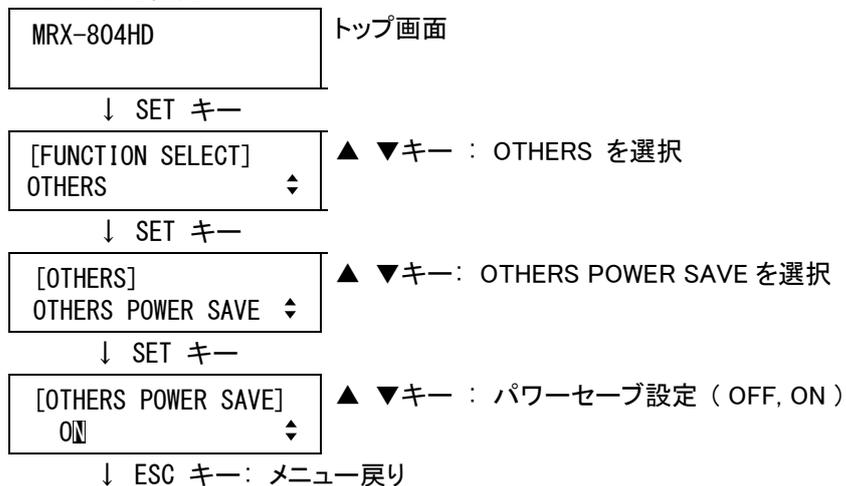
- 5.6.71 @SBZ(ブザー音設定)(P.116)
- 5.6.72 @GBZ(ブザー音設定取得)(P.116)

4.9.6 パワーセーブ設定

入力チャンネル設定キーおよびメニューの操作が 10 秒間なかったときに、自動的にディスプレイのバックライトを OFF にすることができます。

・パワーセーブ設定 (ON, OFF) ※ 初期値 ON

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

なし

4.9.7 通信コマンド設定

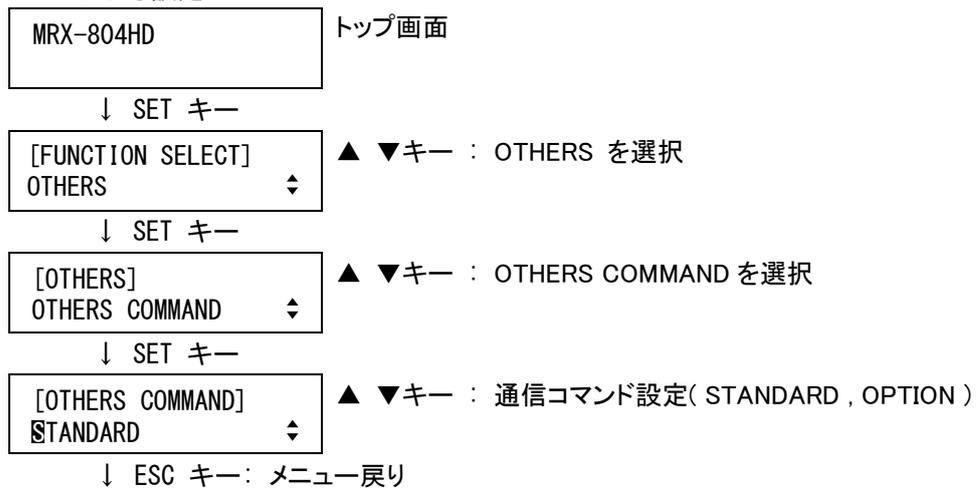
RS-232C,LAN での通信コマンドの形式を設定します。

・通信コマンド設定 (STANDARD , OPTION) ※ 初期値 STANDARD

通常は、初期設定の STANDARD にしてください。

STANDARD は本機標準の通信コマンド形式で本機を制御します。OPTION は互換モード通信コマンド形式で本機を制御します。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

なし

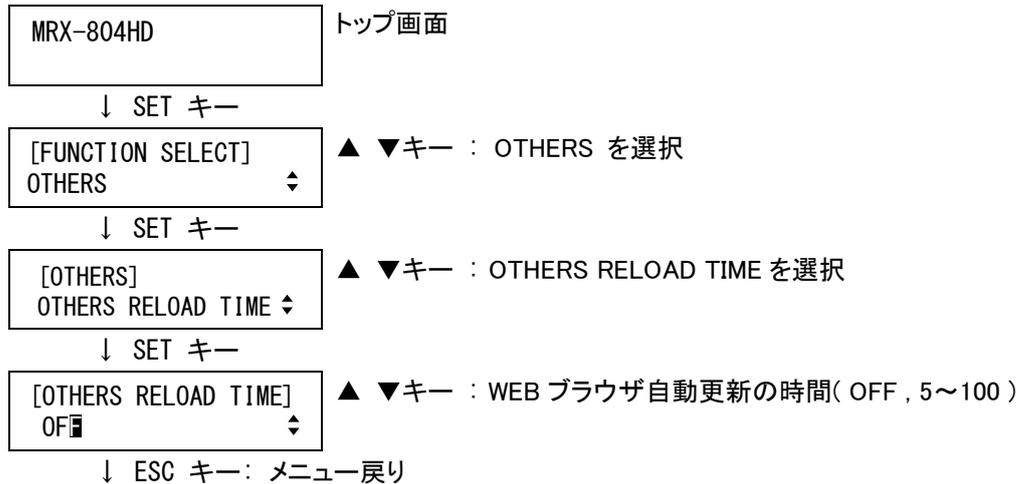
4.9.8 WEB ブラウザ自動更新時間設定

WEB ブラウザの自動更新の時間を設定します。

・WEB ブラウザの自動更新時間設定 (OFF, 5 秒 ~ 100 秒, 5 秒/ステップ) ※初期値 OFF

※設定を OFF から変更した場合、一度 WEB ブラウザを更新してください。

①メニューによる設定



②コマンドによる設定

5.6.73 @SBR(Web ブラウザ自動更新時間設定)(P.117)

5.6.74 @GBR(Web ブラウザ自動更新時間取得)(P.117)

4.9.9 WEB ブラウザパスワードロック機能設定

Web ブラウザを開いたときに、パスワード認証画面を表示させる設定を行ないます。

・パスワードロック機能設定 (OFF, ON) ※初期値 OFF

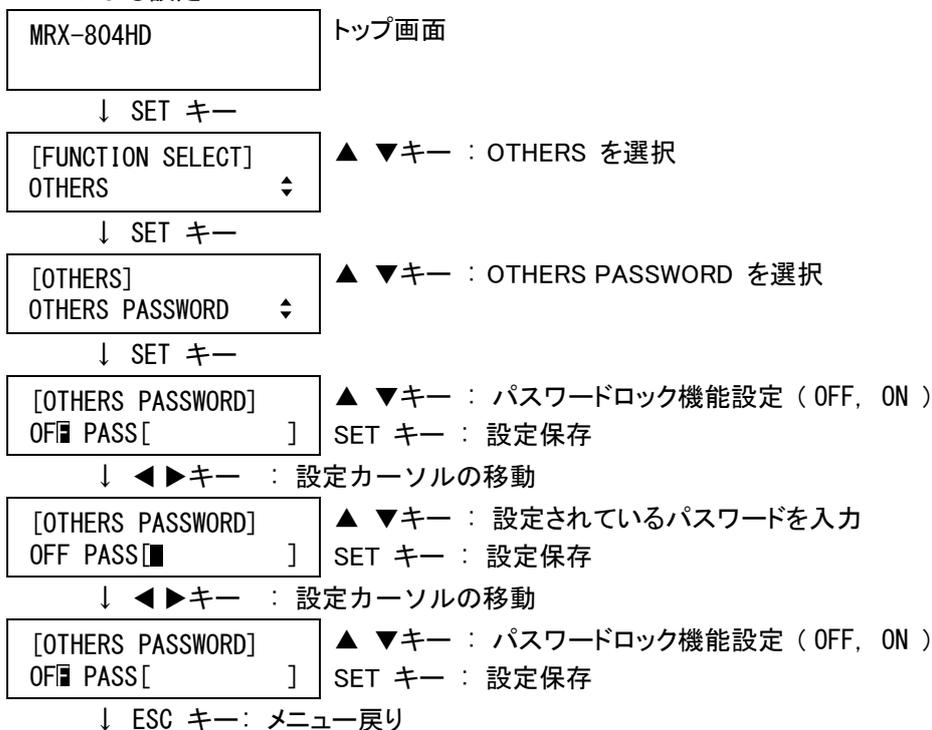
・パスワード初期値設定 (ASCII コード (P. 81) で 20、30~39、41~5A、61~7A に該当する文字)

※初期値 IDK

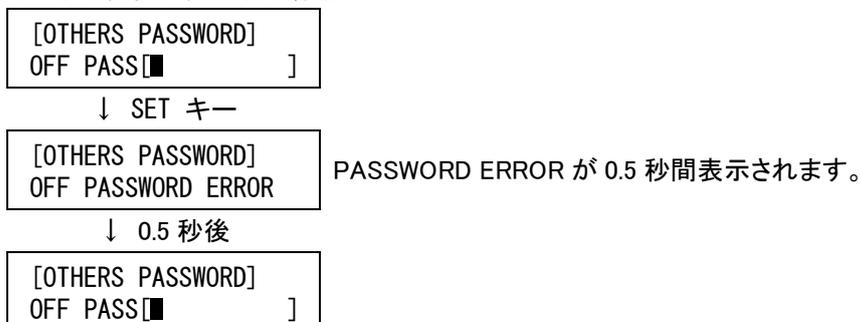
工場出荷時設定 (P. 16) にした場合、パスワードの設定も初期化されます。

※設定を OFF から変更した場合、一度 WEB ブラウザを再起動してください。

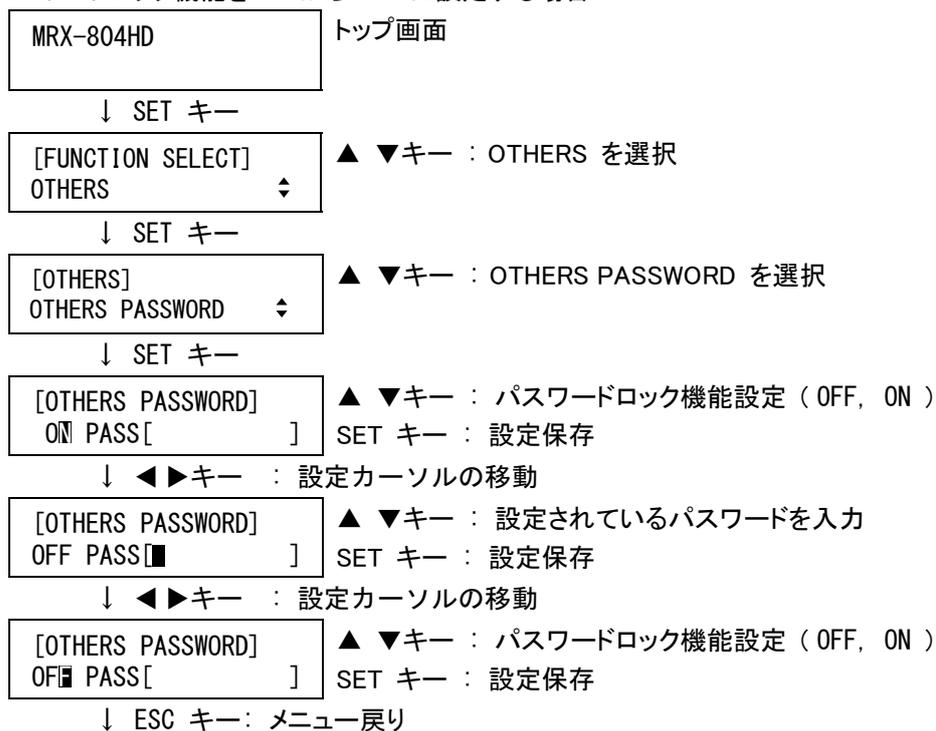
①メニューによる設定



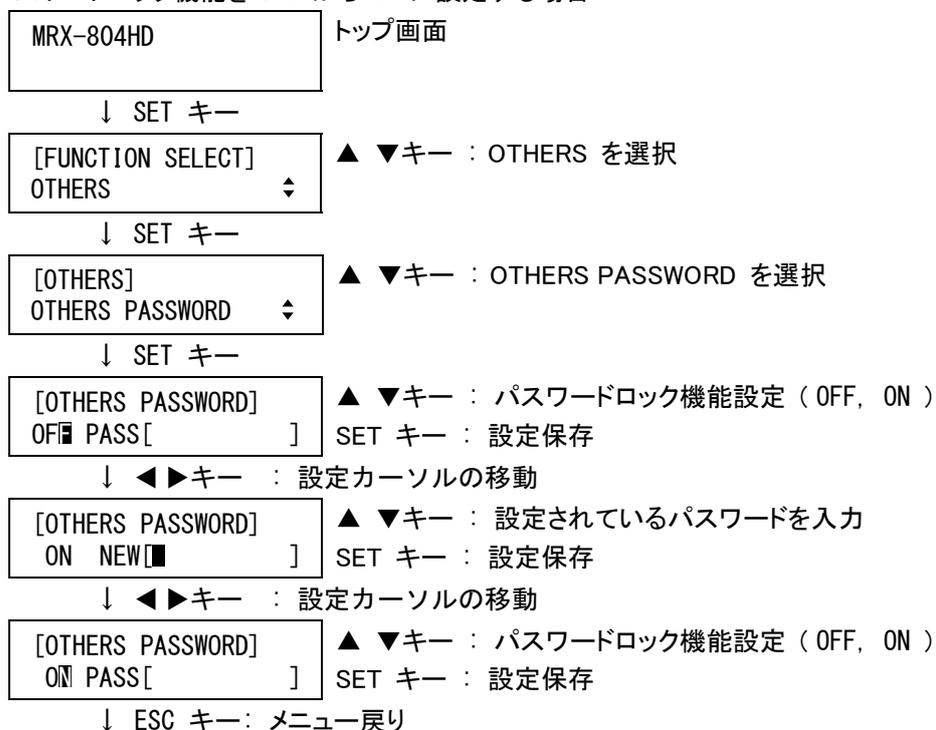
パスワードの認証に失敗した場合



②パスワードロック機能を ON から OFF に設定する場合



③パスワードロック機能を OFF から ON に設定する場合



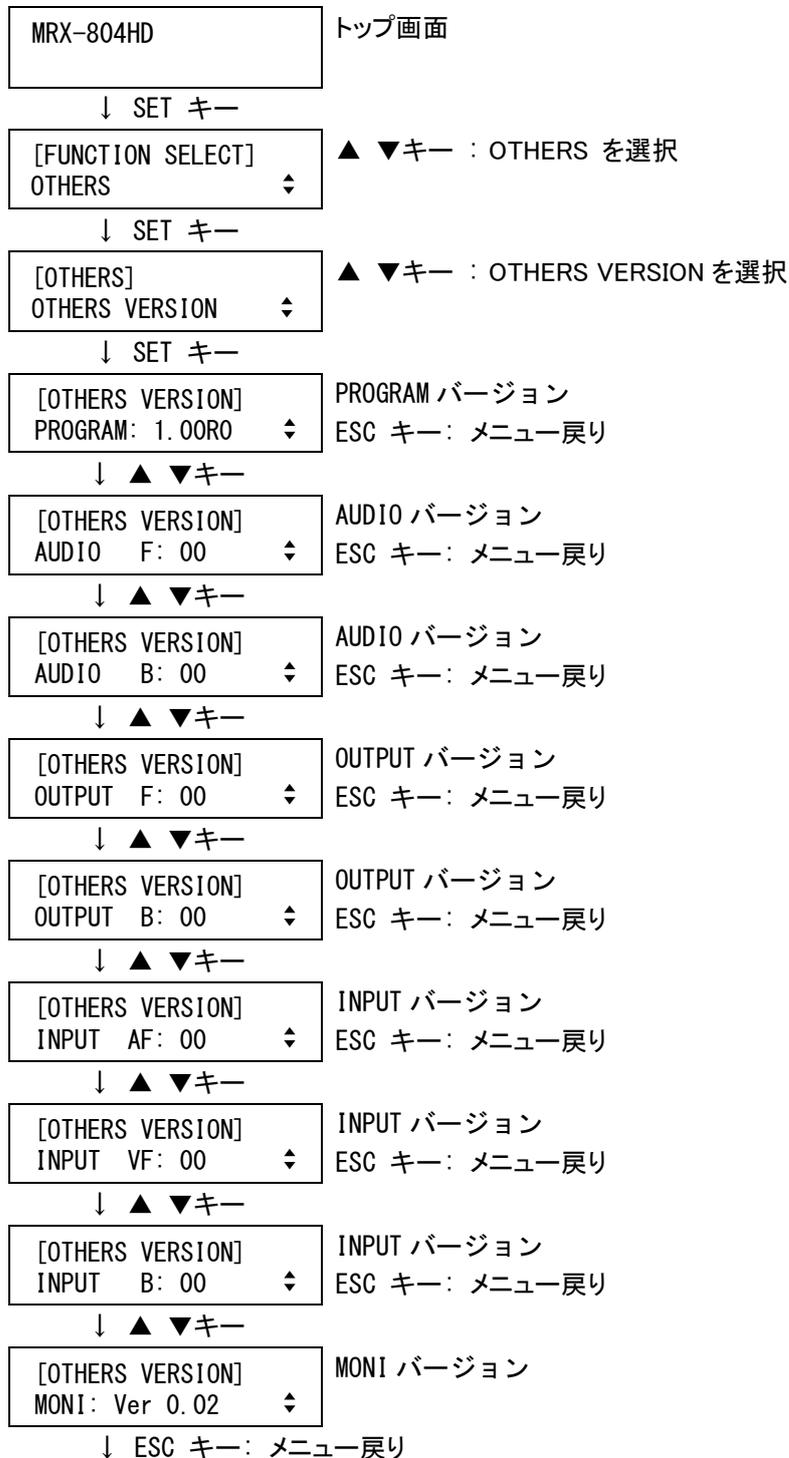
④コマンドによる設定

- 5. 6. 75 @SBP(WEB ブラウザパスワードロック機能設定) (P. 118)
- 5. 6. 76 @GBP(WEB ブラウザパスワードロック機能取得) (P. 118)

4.9.10 バージョン情報表示

本機のファームウェアのバージョンを表示します。

①メニューによる設定

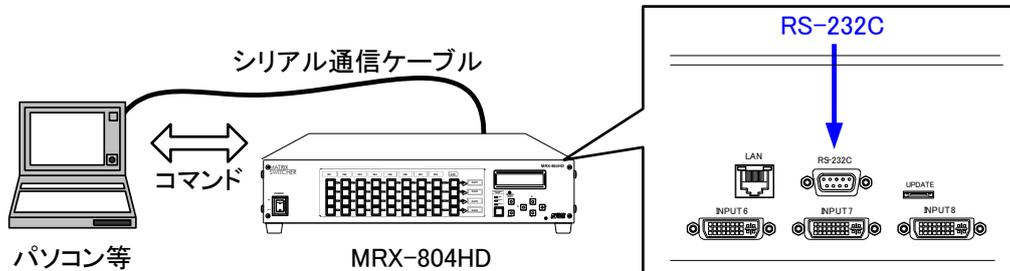


②コマンドによる設定

5.6.79 @GIV(バージョン情報取得)(P.121)

5 通信コマンド制御

5.1 シリアル通信仕様



[図 5.1] 制御機器との接続

本機はシリアル通信による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機をシリアル通信ケーブルで接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記は「5.3 ASCII コード表 (P.81)」に従います。シリアル端子の通信ボーレート設定は「4.6 シリアル端子設定(P.53)」をご覧ください。

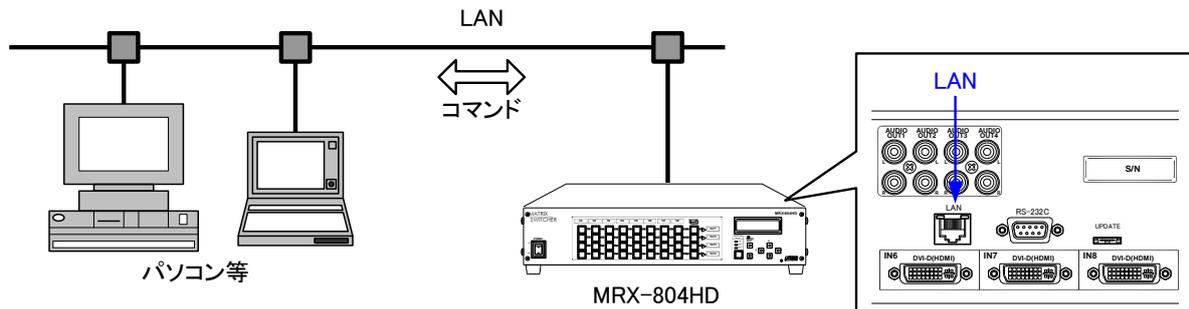
[表 5.2] シリアル通信仕様

準拠規格	RS-232C
通信速度	4800, 9600, 14400, 19200, 38400[bps]
データビット長	8, 7[bit]
パリティチェック	なし, ODD, EVEN
ストップビット	1, 2[bit]
X パラメーター	無効
フロー制御	なし
デリミタ	CRLF (復帰+改行, 16進表記の 0D と 0A)
通信方式	全二重



[図 5.3] RS-232C コネクタ・ケーブル仕様

5.2 LAN 通信仕様



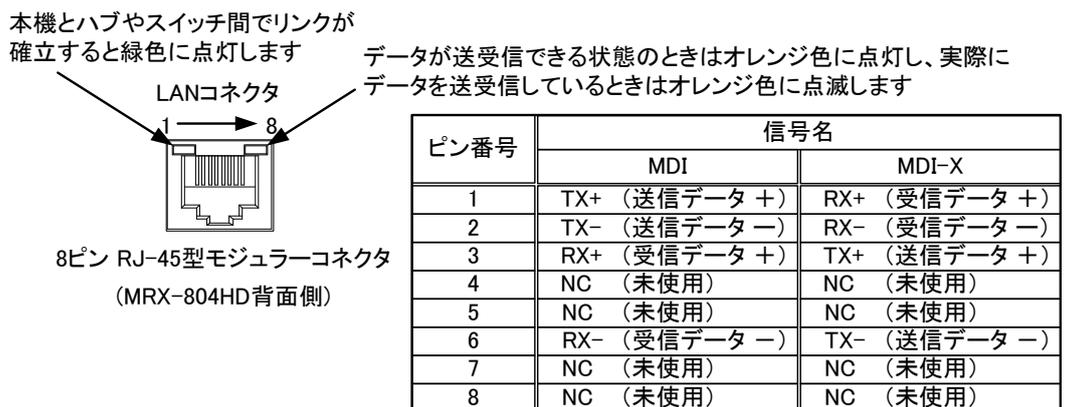
[図 5.4] 制御機器との LAN 接続

本機は LAN による外部制御が可能です。パソコン等の制御装置と本機を LAN で接続し、コマンドにより本機の制御や状態の取得を行ってください。コマンドの文字表記は「5.3 ASCII コード表(P.81)」に従います。コマンドによる制御を行う場合はポート 6000～6999 番、1100 番を使用してください。コネクション接続後、30 秒以上通信がない場合、コネクションは切断されます。LAN の設定は「4.7 LAN(P.55)」をご覧ください。

[表 5.5] LAN 通信仕様

物理層	10BASE-T (IEEE802. 3i) /100Base-TX (IEEE802. 3u)
ネットワーク層	ARP, IP, ICMP
トランスポート層	TCP コマンド制御使用ポート : 1100, 6000～6999 WEB ブラウザ制御 (HTTP) 使用ポート : 80
アプリケーション層	HTTP, TELNET

※ 同時に使用することができるコネクション数は最大 8 個です。
(「5.2.1 TCP-IP コネクション数の制限と解決策(P. 77)」をご覧ください。)



ストレートケーブル/クロスケーブルの判別・切り換えを自動的にこなすAuto MDI/MDI-Xに対応していますので、本機とパソコンまたはハブ等との接続の際、意識せずに接続することが可能です。

[図 5.6] LAN コネクタ仕様

5.2.1 TCP-IP コネクション数の制限と解決策

本機は最大 8 コネクション(8 ポート)まで同時に接続することができます。但し同時に使用することができるコネクション数が限られているため、9 台以上のパソコンから制御を行う場合に、マトリクススイッチャとのコネクションが出来なくなることがあります。

8 コネクションより多くのパソコンからコマンド制御を行う場合は、[表 5.7]に示す方法にてユーザ側ソフトで TCP-IP のコネクションと TCP-IP のクローズを通信コマンド送受信毎に行うことにて、本機側でポートの占有と解放が行われ常時ポートを占有されなくなり、論理的に 4 ポート以上の接続を行うことができます。

[表 5.7] 接続数を増やす手法

ユーザ側 PC ソフト		マトリクススイッチャ
TCP-IP コネクション	→	(1 ポート占有)
コマンド送信 (@xxx)	→	
	←	コマンド返信 (@xxx)
TCP-IP クローズ	→	(1 ポート開放)

以下に、Microsoft Visual Studio VB.NET 2008 でのプログラミング例を示します。

105 行目の Button1_Click にて TextBox1 に送信する通信コマンド、TextBox2 に通信先ホスト、TextBox3 にポート番号を取得してマトリクススイッチャからの通信コマンド応答を取得します。

本例では、コネクションとクローズを繰り返した場合にデータ送受信の遅延が問題になった場合の為に以下のプログラミングを行っています。プログラミング例の 4, 5, 14, 15, 16 行目に相当します。

注意!

PC 側からマトリクススイッチャへ 30 秒間コマンドの送信が行われなかった場合、マトリクススイッチャは、コネクション数制限の問題を回避するため、コネクションの切断処理を行います。そのため PC 側からは再度コネクションを確立しないと通信が出来なくなります。再度コネクションを確立するためには、今まで繋いでいた PC 側のコネクションを切断処理をした後に再度コネクションの確立処理を行ってください。

※ マトリクススイッチャ側のポート数は 8 ポートのため、コネクションが繋がったまま PC 側の電源などが落とされた場合、永久にポートが占有されてしまうため、PC 側から通信コマンドが来ない場合、コネクションの切断処理を行っています。

※ TcpClient.NoDelay

送信バッファまたは受信バッファが設定されているサイズを超えていない場合に遅延を無効にします。既定値は False です。

NoDelay プロパティの変更により、送受信による遅延時間を軽減することができます。

```
'クライアントをオープンします。
Private stClient As TcpClient          'クライアントクラス
Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream 'ストリームクラス
Private portNum As Integer 'ポート番号
Private hostName As String 'ホスト名

stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(hostName, portNum)
stClient.NoDelay = True '遅延を無効にします
stns = stClient.GetStream() 'ストリーム オープン
```

Microsoft Visual Studio VB.NET 2008 でのプログラミング例

```
1: Imports System
2: Imports System.Net.Sockets
3: Public Class Form1
4: Private stClient As TcpClient          'クライアント
5: Private stns As System.Net.Sockets.NetworkStream 'ストリーム

6: Public Function mOpen(ByVal pHostName As String, ByVal pPortNum As Integer) As Boolean
7:     '*****
8:     '* オープン
9:     ' 戻り値 成功:True 失敗:False
10:    '*****
11:    mOpen = False          '初期値
12:    Try
13:        'クライアントをオープンします。
14:        stClient = New System.Net.Sockets.TcpClient(pHostName, pPortNum)
15:        stClient.NoDelay = True '送信/受信遅延を無効にします。
16:        stns = stClient.GetStream() 'ストリーム オープン
17:        If stns.CanTimeout Then
18:            stns.ReadTimeout = 1000 'タイムアウト時間(1000ms)
19:        End If
20:        mOpen = True          '成功
21:    Catch ex As Exception
22:        Console.WriteLine(ex.Message) '例外処理の表示
23:    End Try
24:
25: End Function
```

(次ページに続く)

```

26: Private Function mSendMessage(ByVal pMsg As String) As String
27:     '*****
28:     '*   メッセージ送信
29:     '   pMsg   送信メッセージ
30:     '   戻り値  返答文字列
31:     '*****
32:     Dim dtBirth As DateTime   'タイムアウト時間
33:     Dim wNow As DateTime     '現在時間
34:     Dim pRecvMsg As String   '返信メッセージ
35:     Dim bytes2(1024) As Byte  '返信メッセージ時格納エリア(Byte 型)
36:     Dim bytesRead2 As Integer '返信メッセージ時格納エリア(Integer 型)
37:     Dim word As Byte()      'システム出力時の書き出し一時データ格納エリア
38:
39:     mSendMessage = ""       '返信値 クリア
40:     pRecvMsg = ""          'ワークエリアクリア
41:
42:     Try
43:         '----送信チェック----
44:         If stns.CanWrite Then '書き込み可能?
45:             '文字エンコード
46:             word = System.Text.Encoding.Default.GetBytes(pMsg + vbCrLf)
47:             'ソケットに出力
48:             stns.Write(word, 0, word.Length)
49:         Else
50:             Exit Function
51:         End If
52:
53:         '----受信----
54:         dtBirth = DateTime.Now
55:         dtBirth = dtBirth.AddSeconds(3) '3秒でタイムアウト
56:         Do
57:             wNow = DateTime.Now         '現在時間と比較
58:             If (wNow > dtBirth) Then
59:                 Exit Do                 'オーバーした場合処理を中断
60:             End If
61:
62:             If stns.CanRead Then        '読み込み可能状態の場合
63:                 'データの読み込み
64:                 bytesRead2 = stns.Read(bytes2, 0, bytes2.Length)
65:                 'エンコード
66:                 pRecvMsg = pRecvMsg & _
67:                 System.Text.Encoding.Default.GetString(bytes2, 0, bytesRead2)
68:                 If pRecvMsg <> "" Then
69:                     '@から CRLF までを抽出
70:                     If ((InStr(pRecvMsg, vbCrLf) <> 0) And (InStr(pRecvMsg, "@") <> 0)) Then
71:                         pRecvMsg = Mid(pRecvMsg, _
72:                             InStr(pRecvMsg, "@"), _
73:                             InStr(pRecvMsg, vbCrLf) _
74:                             - InStr(pRecvMsg, "@"))
75:                     End Do
76:                 End If
77:             End If
78:         End If
79:     Loop
80:     mSendMessage = pRecvMsg '受信データを返答
81:
82: Catch ex As Exception
83:     Console.WriteLine(ex.Message) '例外処理の表示
84: End Try
85:
86: End Function

```

(次ページに続く)

```
87: Public Sub mClose()
88:     *****
89:     *   クローズ
90:     *****
91:     Try
92:         If Not stns Is Nothing Then 'ストリームの存在有無
93:             stns.Close()           'ストリームクローズ
94:         End If
95:
96:         If Not stClient Is Nothing Then 'クライアントの存在有無
97:             stClient.Close()       'クライアントクローズ
98:         End If
99:
100:    Catch ex As Exception
101:        Console.WriteLine(ex.Message) '例外処理の表示
102:    End Try
103:
104: End Sub
105: Private Sub Button1_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles Button1.Click
106:     Dim wRecvMsg As String '受信文字列格納場所
107:     Dim i As Integer
108:     Dim wHostName As String
109:     Dim wPortNum As Integer
110:
111:     If (TextBox2.Text = "") Then 'ホスト名チェック
112:         MsgBox("ホスト名が設定されてません。")
113:         Exit Sub
114:     End If
115:
116:     wHostName = TextBox2.Text
117:
118:     If (TextBox3.Text = "") Then 'ポート番号チェック
119:         MsgBox("ポート番号が設定されてません。")
120:         Exit Sub
121:     End If
122:     wPortNum = Val(TextBox3.Text)
123:
124:     If TextBox1.Text = "" Then '送信文字列チェック
125:         MsgBox("送信文字が設定されてません。")
126:         Exit Sub
127:     End If
128:
129:     Label6.Text = ""
130:
131:     For i = 0 To 2 '3 回リトライを繰り返します (万が一、他のクライアントによりマトリクススイッチャ側のポートが全て使われた
        場合の処理)
132:         If Not mOpen(wHostName, wPortNum) Then
133:             MsgBox("通信オープンエラー")
134:             GoTo Exit_Step
135:         End If
136:
137:         'オープンします
138:         wRecvMsg = mSendMessage(TextBox1.Text) '送信します
139:         Console.WriteLine("wRecvMsg:" & wRecvMsg & Now)
140:         mClose() 'クローズします
141:
142:         If wRecvMsg <> "" Then
143:             Label6.Text = wRecvMsg
144:             GoTo Exit_Step
145:         End If
146:
147:     Next i
148:
149:     MsgBox("送信エラー")
150:
151: Exit_Step:
152:
153: End Sub
154: End Class
```

5.3 ASCII コード表

[表 5.8] ASCII コード表 1/2

文字	16進	文字	16進	文字	16進	文字	16進
NUL	00	SP	20	@	40	`	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	"	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(28	H	48	h	68
HT	09)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

[表 5.9] ASCII コード表 2/2

文字	16 進	コントロールコード詳細
<i>NUL</i>	00	NULI(ヌル)
<i>SOH</i>	01	Start Of Heading(ヘッダ開始)
<i>STX</i>	02	Start of TeXt(テキスト開始)
<i>ETX</i>	03	End of TeXt(テキスト終了)
<i>EOT</i>	04	End Of Transmission(転送終了)
<i>ENQ</i>	05	ENQuiry(問合せ)
<i>ACK</i>	06	ACkNnowledge(肯定応答)
<i>BEL</i>	07	BELI(ベル)
<i>BS</i>	08	Back Space(後退)
<i>HT</i>	09	Horizontal Tabulation(水平タブ)
<i>LF</i>	0A	Line Feed(改行)
<i>VT</i>	0B	Vertical Tabulation(垂直タブ)
<i>FF</i>	0C	Form Feed(改ページ)
<i>CR</i>	0D	Carriage Return(復帰)
<i>SO</i>	0E	Shift Out(シフトアウト)
<i>SI</i>	0F	Shift In(シフトイン)
<i>DLE</i>	10	Data Link Escape(伝送制御拡張)
<i>DC1</i>	11	Device Control 1(装置制御 1)
<i>DC2</i>	12	Device Control 2(装置制御 2)
<i>DC3</i>	13	Device Control 3(装置制御 3)
<i>DC4</i>	14	Device Control 4(装置制御 4)
<i>NAK</i>	15	Negative AcKnowledge(否定応答)
<i>SYN</i>	16	SYNchronous idle(同期信号)
<i>ETB</i>	17	End of Transmission Block(転送ブロック終了)
<i>CAN</i>	18	CANcel(取消)
<i>EM</i>	19	End of Medium(媒体終端)
<i>SUB</i>	1A	SUBstitute(置換)
<i>ESC</i>	1B	ESCape(拡張)
<i>FS</i>	1C	File Separator(ファイル分離)
<i>GS</i>	1D	Group Separator(グループ分離)
<i>RS</i>	1E	Record Separator(レコード分離)
<i>US</i>	1F	Unit Separator(ユニット分離)
<i>SP</i>	20	SPace(空白)
<i>DEL</i>	7F	DELete(削除)

5.4 コマンド概要

コマンドは各コマンドを識別する@(16進表記の40)+3文字の半角英字(大文字小文字)とそれに続くパラメータ(半角数字*)からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : @IOS, 1, 1

, は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字でカンマ(16進表記の2C)を表します。

は、デリミタ(CR+LFで16進表記の0D+0A)を表します。

※ プリセットメモリ保存コマンド「5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存)) (P.113)、5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))P.113」のメモリ名パラメータのみ、半角数字以外も指定可能です。

① 本機の設定を変更するコマンド

コマンドとパラメータをカンマで区切って送信します。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります)コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドをそのまま送り返します。

例 : @IOS, 1, 1 ←送信コマンド
@IOS, 1, 1 ←本機からのアンサー

② 本機の設定を受信するコマンド

コマンドを送信します。コマンドが正常に処理されると、受信したコマンドに続き現在の設定を送り返します。(コマンドによっては複数のパラメータを返すものがあります)

例 : @GVA ←送信コマンド
@GVA, 1, 1, 2, 2, 3, 3, 4, 4 ←本機からのアンサー

③ エラーコマンド

未定義のコマンドやパラメータに誤りがある場合などは、エラーコマンドとエラーの詳細(半角数字)を送り返します。

例 : @IOS, 9, 1 ←送信コマンド(この例ではパラメータに誤りがあります)
@ERR, 1 ←本機からのエラーコマンド

④ ヘルプ

コマンドを指定せずにデリミタのみを送信すると、コマンドの一覧を送り返します。(10分割で送り返しますので、全コマンドの一覧を受信したい場合はデリミタを10回送信してください)

例 : ←デリミタの送信
- HELP (1/10) - (CHANNEL SELECT Command)
@IOS : Input/Output Select
@GVA : Get Cross Point Video and Audio
@IOV : Input/Output Video Select
@GCP : Get Cross Point Video
@IOA : Input/Output Audio Select

5.5 コマンド一覧

エラーステータス

コマンド	機能	詳細ページ
@ERR	エラーステータス	87

基本操作

コマンド	機能	詳細ページ
@IOS	映像・音声チャンネル同時切換	87
@GVA	入出力チャンネル取得	88
@IOV	映像チャンネル切換	88
@GCP	映像チャンネル取得	89
@IOA	音声チャンネル切換	89
@GCA	音声チャンネル取得	90
@SAO	全チャンネル出力設定	90
@SSC	映像・音声チャンネル ストレート設定	90
@SSV	映像チャンネル ストレート設定	91
@SSA	音声チャンネル ストレート設定	91

映像設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SED	EDID データ設定	92
@GED	EDID データ取得	92
@SEC	EDID 読み取りチャンネル設定	93
@GEC	EDID 読み取りチャンネル取得	93
@RME	EDID データのコピー	93
@SDT	映像信号の無入力監視時間設定	94
@GDT	映像信号の無入力監視時間取得	94
@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	94
@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	95
@SEQ	出力イコライザ設定	95
@GEQ	出力イコライザ取得	95
@SIQ	入力イコライザ設定	95
@GIQ	入力イコライザ取得	95
@SDM	出力モード設定	96
@GDM	出力モード取得	97
@SHM	強制 HDMI モード設定	97
@GHM	強制 HDMI モード取得	97
@SMK	ホットプラグ オフ マスク時間	98
@GMK	ホットプラグ オフ マスク時間取得	98
@SDC	Deep Color 出力設定	98
@GDC	Deep Color 出力取得	99
@SDI	Deep Color 入力設定	99
@GDI	Deep Color 入力取得	99

音声設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SSL	アナログ音声出力レベル設定	101
@GSL	アナログ音声出力レベル取得	101
@SAM	音声出力ミュート設定	102
@GAM	音声出力ミュート取得	103
@SSO	アナログ音声入力レベル設定	100
@GSO	アナログ音声入力レベル取得	100
@SSD	デジタル音声入力レベル設定	100
@GSD	デジタル音声入力レベル取得	101
@SLY	リップシンク設定	102
@GLY	リップシンク取得	102
@SDO	デジタル音声出力設定	103
@GDO	デジタル音声出力取得	103
@SAS	音声入力選択設定	104
@GAS	音声入力選択取得	104
@SSP	Audio チャンネル数設定	105
@GSP	Audio チャンネル数取得	106
@SAF	音声フォーマット設定	107
@GAF	音声フォーマット取得	108

LAN 設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SIP	IP アドレス設定	109
@GIP	IP アドレス取得	109
@SSB	サブネットマスク設定	109
@GSB	サブネットマスク取得	110
@SLP	TCP ポート番号設定	110
@GLP	TCP ポート番号取得	111
@GMC	MAC アドレス取得	111

シリアル端子

コマンド	機能	詳細ページ
@SCT	シリアル端子 通信速度設定	111
@GCT	シリアル端子 通信速度設定 取得	112

プリセットメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@RPM	プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し)	112
@SPM	プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存)	113
@SEM	プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存)	113
@ECM	プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集)	114
@GCM	プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得)	114

プリセットメモリ

コマンド	機能	詳細ページ
@SMU	電源投入時の状態設定	115
@GMU	電源投入時の状態取得	115

その他設定

コマンド	機能	詳細ページ
@SLM	キーロックモードの設定	115
@GLM	キーロックモードの取得	116
@SBZ	ブザー音設定	116
@GBZ	ブザー音設定取得	116
@SBR	Web ブラウザ自動更新時間設定	117
@GBR	Web ブラウザ自動更新時間取得	117
@SBP	WEB ブラウザパスワードロック機能設定	118
@GBP	WEB ブラウザパスワードロック機能取得	118
@GIS	入カステータス取得	119
@GOS	出カステータス取得	120
@GIV	バージョン情報取得	121

5.6 コマンド詳細

5.6.1 @ERR(エラーステータス)

@ERR	エラーステータス		
コマンド書式	返り値のみ		
返り値書式	@ERR, error ↵		
パラメータ	<i>error</i> : エラーステータス 1 = パラメータの書式、値にエラーがあります。 2 = 未定義のコマンド／またはコマンドの書式に誤りがあります。 4 = モニタからの EDID のコピーに失敗しました。(モニタが接続されていない出力を選択した場合にも同様のエラーを返信します) 6 = パスワードの認証に失敗しました。		
実行例	送	@IOS,999,1 ↵	パラメータエラー。
	受	@ERR,1 ↵	
実行例	送	@XYZ ↵	未定義のコマンド。
	受	@ERR,2 ↵	

5.6.2 @IOS(映像・音声チャンネル同時切換)

@IOS	映像・音声チャンネル同時切換		
コマンド書式	@IOS, input_1, output_1 (, input_2, output_2 ...) ↵		
返り値書式	@IOS, input_1, output_1 (, input_2, output_2 ...) ↵		
パラメータ	<i>input_1-4</i> : 映像、音声入力端子 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8		
	<i>output_1-4</i> : 映像、音声出力端子 0 = 全出力, 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUTPUT4		
実行例	送	@IOS, 1, 3 ↵	出力 OUTPUT3 に入力 INPUT1 を選択する。 正常終了。
	受	@IOS, 1, 3 ↵	
	送	@IOS, 0, 3 ↵	出力 OUTPUT3 を OFF にする。 正常終了。
	受	@IOS, 0, 3 ↵	
送	@IOS, 5, 0 ↵	全出力に入力 INPUT5 を選択する。 正常終了。	
受	@IOS, 5, 0 ↵		
実行例	送	@IOS, 4, 1, 3, 2, 2, 3 ↵	出力 OUTPUT1 に入力 INPUT4, 出力 OUTPUT2 に入力 INPUT3, 出力 OUTPUT3 に入力 INPUT2 を選択する。 正常終了。
	受	@IOS, 4, 1, 3, 2, 2, 3 ↵	
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.3 @GVA(入出力チャンネル取得)(P.88)		

5.6.3 @GVA(入出力チャンネル取得)

@GVA	入出力チャンネル取得
コマンド書式	@GVA []
返り値書式	@GVA, v_1, a_1, v_2, a_2, v_3, a_3, v_4, a_4 []
パラメータ	v_1-4 : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) a_1-4 : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8
実行例	送 @GVA [] 受 @GVA, 1, 1, 2, 2, 3, 3, 4, 4 []
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.2 @IOS(映像・音声チャンネル同時切替)(P.87)

5.6.4 @IOV(映像チャンネル切替)

@IOV	映像チャンネル切替
コマンド書式	@IOV, input_1, output_1 (, input_2, output_2 ...) []
返り値書式	@IOV, input_1, output_1 (, input_2, output_2 ...) []
パラメータ	input_1-4 : 映像入力端子 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8 output_1-4 : 映像出力端子 0 = 全出力, 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUTPUT4
実行例	送 @IOV, 1, 3 [] 出力 OUTPUT3 に入力 INPUT1 を選択する。 受 @IOV, 1, 3 [] 正常終了。 送 @IOV, 0, 3 [] 出力 OUTPUT3 を OFF にする。 受 @IOV, 0, 3 [] 正常終了。 送 @IOV, 5, 0 [] 全出力に入力 INPUT5 を選択する。 受 @IOV, 5, 0 [] 正常終了。 送 @IOV, 4, 1, 3, 2, 2, 3 [] 出力 OUTPUT1 に入力 INPUT4, 出力 OUTPUT2 に入力 INPUT3, 出力 OUTPUT3 に入力 INPUT2 を選択する。 受 @IOV, 4, 1, 3, 2, 2, 3 [] 正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.5.@GCP(映像チャンネル取得)(P.89)

5.6.5 @GCP(映像チャンネル取得)

@GCP	映像チャンネル取得	
コマンド書式	@GCP []	
返り値書式	@GCP, output_1, output_2, output_3, output_4 []	
パラメータ	output_1-4 : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
実行例	送 : @GCP []	コマンド送信。
	受 : @GCP, 1, 2, 3, 4 []	状態取得。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.4 @IOV(映像チャンネル切換)(P.88)	

5.6.6 @IOA(音声チャンネル切換)

@IOA	音声チャンネル切換	
コマンド書式	@IOA, input_1, output_1 (, input_2, output_2 …) []	
返り値書式	@IOA, input_1, output_1 (, input_2, output_2 …) []	
パラメータ	input_1-4 : 音声入力端子 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
	output_1-4 : 音声出力端子 0 = 全出力, 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUTPUT4	
実行例	送 : @IOA, 1, 3 []	出力 OUTPUT3 に入力 INPUT1 を選択する。
	受 : @IOA, 1, 3 []	正常終了。
	送 : @IOA, 0, 3 []	出力 OUTPUT3 を OFF にする。
	受 : @IOA, 0, 3 []	正常終了。
	送 : @IOA, 5, 0 []	全出力に入力 INPUT5 を選択する。
	受 : @IOA, 5, 0 []	正常終了。
	送 : @IOA, 4, 1, 3, 2, 2, 3 []	出力 OUTPUT1 に入力 INPUT4, 出力 OUTPUT2 に入力 INPUT3, 出力 OUTPUT3 に入力 INPUT2 を選択する。
	受 : @IOA, 4, 1, 3, 2, 2, 3 []	正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.7 @GCA(音声チャンネル取得)(P.90)	

5.6.7 @GCA(音声チャンネル取得)

@GCA	音声チャンネル取得	
コマンド書式	@GCA [↵]	
返り値書式	@GCA, output_1, output_2, output_3, output_4 [↵]	
パラメータ	output_1-4 : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
実行例	送 @GCA [↵]	コマンド送信。
	受 @GCA, 1, 2, 3, 4 [↵]	状態取得。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.6 @IOA(音声チャンネル切換)(P.89)	

5.6.8 @SAO(全チャンネル出力設定)

@SAO	全チャンネル出力設定	
コマンド書式	@SAO, input_1 [↵]	
返り値書式	@SAO, input_1 [↵]	
パラメータ	input_1-8 : 映像、音声入力端子 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
実行例	送 @SAO, 3 [↵]	全出力に <input type="checkbox"/> 入力 INPUT3 を選択する。
	受 @SAO, 3 [↵]	正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14)	

5.6.9 @SSC(映像・音声チャンネル ストレート設定)

@SSC	映像・音声チャンネル ストレート設定	
コマンド書式	@SSC [↵]	
返り値書式	@SSC [↵]	
パラメータ	なし	
実行例	送 @SSC [↵]	入力チャンネルと出力チャンネルをストレート(1:1)に設定する。(出力 OUTPUT1に <input type="checkbox"/> 入力 INPUT1、出力 OUTPUT2に <input type="checkbox"/> 入力 INPUT2、出力 OUTPUT3 に <input type="checkbox"/> 入力 INPUT3、出力 OUTPUT4に <input type="checkbox"/> 入力 INPUT4 を選択する)
	受 @SSC [↵]	正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.3 @GVA(入出力チャンネル取得)(P.88)	

5.6.10 @SSV(映像チャンネル ストレート設定)

@SSV	映像チャンネル ストレート設定	
コマンド書式	@SSV []	
返り値書式	@SSV []	
パラメータ	なし	
実行例	送 @SSV [] 受 @SSV []	入力チャンネルと出力チャンネルをストレート(1:1)に設定する。(出力 OUTPUT1 に入力 INPUT1、出力 OUTPUT2 に入力 INPUT2、出力 OUTPUT3 に入力 INPUT3、出力 OUTPUT4 に入力 INPUT4 を選択する) 正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.5 @GCP(映像チャンネル取得)(P.89)	

5.6.11 @SSA(音声チャンネル ストレート設定)

@SSA	音声チャンネル ストレート設定	
コマンド書式	@SSA []	
返り値書式	@SSA []	
パラメータ	なし	
実行例	送 @SSA [] 受 @SSA []	入力チャンネルと出力チャンネルをストレート(1:1)に設定する。(出力 OUTPUT1 に入力 INPUT1、出力 OUTPUT2 に入力 INPUT2、出力 OUTPUT3 に入力 INPUT3、出力 OUTPUT4 に入力 INPUT4 を選択する) 正常終了。
関連項目	3.1 入出力チャンネルの設定(P.14) 5.6.7 @GCA(音声チャンネル取得)(P.90)	

5.6.12 @SED (EDID データ設定)

@SED	EDID データ設定	
コマンド書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (<i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...) 	
返り値書式	@SED, <i>ch_1</i> , <i>edid_1</i> (<i>ch_2</i> , <i>edid_2</i> ...) 	
パラメータ	<p><i>ch_1</i>-8 : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8)</p> <p><i>edid_1</i>-8 : EDID データ 0 = 外部 EDID , 1 ~ 4 = SAVE EDID(注) , 5 = 1080p(59.94p、60p)(1920 × 1080) , 6 = 720p(1280 × 720) , 7 = 1080i(1920 × 1080) , 8 = 1080p(24p、25p、30p、50p)(1920 × 1080) , 9 = SVGA(800 × 600) , 10 = XGA(1024 × 768) , 11 = VESA720(1280 × 720) , 12 = WXGA(1280 × 768) , 13 = WXGA(1280 × 800) , 14 = Quad-VGA(1280 × 960) , 15 = SXGA(1280 × 1024) , 16 = WXGA(1360/1366 × 768) , 17 = SXGA+(1400x1050) , 18 = WXGA+(1440x900) , 19 = WXGA++(1600x900) , 20 = UXGA+(1600 × 1200) , 21 = WSXGA+(1680 × 1050) , 22 = VESA1080(1920 × 1080) , 23 = WUXGA(1920x1200) , 24 = QWXGA(2048x1152) (注) 5.6.16 @RME (EDID データのコピー)(P.93)で、あらかじめモニタから EDID データを読み取っておく必要があります</p>	
実行例	送 @SED,0,20  受 @SED,0,20 	全入力チャンネルの EDID を 1600x1200(UXGA+)に設定する。 正常終了。
関連項目	4.5.1 EDID データ (P.39) 5.6.13 @GED (EDID データ取得)(P.92)	

5.6.13 @GED (EDID データ取得)

@GED	EDID データ取得	
コマンド書式	@GED 	
返り値書式	@GED, <i>input_1</i> , <i>input_2</i> , <i>input_3</i> , <i>input_4</i> , <i>input_5</i> , <i>input_6</i> , <i>input_7</i> , <i>input_8</i> 	
パラメータ	<p><i>edid_1</i>-8 : EDID データ 0 = 外部 EDID , 1 ~ 4 = SAVE EDID(注) , 5 = 1080p(59.94p、60p)(1920 × 1080) , 6 = 720p(1280 × 720) , 7 = 1080i(1920 × 1080) , 8 = 1080p(24p、25p、30p、50p)(1920 × 1080) , 9 = SVGA(800 × 600) , 10 = XGA(1024 × 768) , 11 = VESA720(1280 × 720) , 12 = WXGA(1280 × 768) , 13 = WXGA(1280 × 800) , 14 = Quad-VGA(1280 × 960) , 15 = SXGA(1280 × 1024) , 16 = WXGA(1360/1366 × 768) , 17 = SXGA+(1400x1050) , 18 = WXGA+(1440x900) , 19 = WXGA++(1600x900) , 20 = UXGA+(1600 × 1200) , 21 = WSXGA+(1680 × 1050) , 22 = VESA1080(1920 × 1080) , 23 = WUXGA(1920x1200) , 24 = QWXGA(2048x1152) (注) @RME EDID データのコピー(P.93)で、あらかじめモニタから EDID データを読み取っておく必要があります</p>	
実行例	送 @GED  受 @GED, 5, 5, 5, 5, 20, 20, 5, 5 	EDID データを取得。 INPUT5: 1600x1200, INPUT6:1600x1200, その他:1080p
関連項目	4.5.1 EDID データ (P.39) 5.6.12 @SED (EDID データ設定)(P.92)	

5. 6. 14 @SEC(EDID 読み取りチャンネル設定)

@SEC	EDID 読み取りチャンネル設定	
コマンド書式	@SEC, <i>ch_1, output_1</i> (, <i>ch_2, output_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SEC, <i>ch_1, output_1</i> (, <i>ch_2, output_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8) <i>output_1-8</i> : 読み取りチャンネル 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) (※初期値 1)	
実行例	送 @SEC, 0, 2 [↵] 受 @SEC, 0, 2 [↵]	全入力チャンネルの EDID 読み取りチャンネルを出力 OUTPUT2 に設定する。 正常終了。
関連項目	4.5.1 EDID データ (P.39) 5.6.15 @GEC(EDID 読み取りチャンネル取得)(P.93)	

5. 6. 15 @GEC(EDID 読み取りチャンネル取得)

@GEC	EDID 読み取りチャンネル取得	
コマンド書式	@GEC [↵]	
返り値書式	@GEC, <i>input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>input_1-8</i> : 各入力チャンネルの EDID 読み取りチャンネル 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) (※初期値 1)	
実行例	送 @GEC [↵] 受 @GEC, 1, 2, 1, 1, 1, 1, 1, 1 [↵]	EDID 読み取りチャンネルを取得。 INPUT2:OUTPUT2, その他:OUTPUT1,
関連項目	4.5.1 EDID データ (P.39) 5.6.14 @SEC(EDID 読み取りチャンネル設定)(P.93)	

5. 6. 16 @RME(EDID データのコピー)

@RME	EDID データのコピー	
コマンド書式	@RME, <i>output, number</i> [↵]	
返り値書式	@RME, <i>output, number</i> [↵]	
パラメータ	<i>output</i> : 読み取りチャンネル 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) <i>number</i> : 保存先の COPY DATA 番号 1~4 = COPY DATA 番号	
実行例	送 @RME, 1, 1 [↵] 受 @RME, 1, 1 [↵] 送 @RME, 1, 1 [↵] 受 @ERR, 4 [↵]	出力 OUTPUT1 に接続されているモニタの EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。 正常終了。 出力 OUTPUT1 に接続されているモニタの EDID データを読み取り、COPY DATA 1 に保存する。 EDID データの読み取りに失敗しました。
関連項目	4.5.2 EDID データのコピー(P.41)	

5. 6. 17 @SDT(映像信号の無入力監視時間設定)

@SDT	映像信号の無入力監視時間設定	
コマンド書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SDT, <i>ch_1</i> , <i>time_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>time_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8) <i>time_1-8</i> : 監視時間 0 = OFF, 3 = 3 秒 ~ 15 = 15 秒 (※初期値 10 = 10 秒)	
実行例	送 @SDT, 0, 40[↵] 受 @SDT, 0, 40[↵]	全入力チャンネルの監視時間を 4000[ms] (4 秒) に設定する。 正常終了。
関連項目	4.2.2 デジタル信号の無入力監視 (P. 22) 5. 6. 18 @GDT(映像信号の無入力監視時間取得) (P. 94)	

5. 6. 18 @GDT(映像信号の無入力監視時間取得)

@GDT	映像信号の無入力監視時間取得	
コマンド書式	@GDT [↵]	
返り値書式	@GDT, <i>input_1</i> , <i>input_2</i> , <i>input_3</i> , <i>input_4</i> , <i>input_5</i> , <i>input_6</i> , <i>input_7</i> , <i>input_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>input_1-8</i> : 監視時間 0 = OFF, 3 = 3 秒 ~ 15 = 15 秒 (※初期値 10 = 10 秒)	
実行例	送 @GDT[↵] 受 @GDT, 4, 4, 4, 4, 4, 4, 0, 4[↵]	入力映像信号の監視時間を取得する。 INPUT7:OFF, その他:4 秒
関連項目	4.2.2 デジタル信号の無入力監視 (P. 22) 5. 6. 17 @SDT(映像信号の無入力監視時間設定) (P. 94)	

5. 6. 19 @SHE(HDCP 入力の許可/禁止設定)

@SHE	HDCP 入力の許可/禁止設定	
コマンド書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SHE, <i>ch_1</i> , <i>hdcp_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>hdcp_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力端子 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8) <i>hdcp_1-8</i> : HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE (許可しない), 1 = ENABLE (許可する) ※初期値	
実行例	送 @SHE, 1, 0[↵] 受 @SHE, 1, 0[↵]	INPUT1 の HDCP 入力を許可しない。 正常終了。
関連項目	4. 2. 3 HDCP 入力の許可/禁止 (P. 23) 5.6.20 @GHE(HDCP 入力の許可/禁止設定取得)(P.95)	

5. 6. 20 @GHE(HDCP 入力の許可/禁止設定取得)

@GHE	HDCP 入力の許可/禁止設定取得	
コマンド書式	@GHE [↵]	
返り値書式	@GHE, <i>input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>input_1-4</i> : HDCP 入力の許可/禁止 0 = DISABLE (許可しない), 1 = ENABLE (許可する) ※初期値	
実行例	送 @GHE[↵] 受 @GHE, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1[↵]	HDCP 入力の許可/禁止設定を取得。 INPUT1 は HDCP 入力を許可しない、その他の入力は HDCP 入力を許可する
関連項目	4. 2. 3 HDCP 入力の許可/禁止 (P. 23) 5.6.19 @SHE (HDCP 入力の許可/禁止設定)(P.94)	

5. 6. 21 @SEQ(出カイコライザ設定)

@SEQ	出カイコライザ設定	
コマンド書式	@SEQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SEQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) <i>level_1-4</i> : 出カイコライザ 0 = OFF (※初期値), 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @SEQ, 0, 0[↵] 受 @SEQ, 0, 0[↵]	全出力チャンネルの出カイコライザを OFF に設定する。 正常終了。
関連項目	4.3.1 出カイコライザ(P.25) 5.6.22 @GEQ (出カイコライザ取得)(P.95)	

5. 6. 22 @GEQ(出カイコライザ取得)

@GEQ	出カイコライザ取得	
コマンド書式	@GEQ [↵]	
返り値書式	@GEQ, <i>output_1, output_2, output_3, output_4</i> [↵]	
パラメータ	<i>output_1-4</i> : 各出力チャンネルの出カイコライザ 0 = OFF (※初期値), 1 = LOW, 2 = MIDDLE, 3 = HIGH	
実行例	送 @GEQ[↵] 受 @GEQ, 0, 2, 0, 0[↵]	出カイコライザを取得。 OUTPUT2:MIDDLE, その他:OFF
関連項目	4.3.1 出カイコライザ(P.25) 5.6.21 @SEQ (出カイコライザ設定)(P.95)	

5. 6. 23 @SIQ(入カイコライザ設定)

@SIQ	入カイコライザ設定	
コマンド書式	@SIQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> …)	
返り値書式	@SIQ, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> …)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8)	
	<i>level</i> : イコライザ 0 = OFF, 1 = AUTO (※初期値 1 = AUTO)	
実行例	送 @SIQ, 0, 0 受 @SIQ, 0, 0	全入力チャンネルの入カイコライザを OFF に設定する。 正常終了。
関連項目	4.2.1 入カイコライザ(P.21) 5.6.22 @GEQ(出カイコライザ取得)(P.95)	

5. 6. 24 @GIQ(入カイコライザ取得)

@GIQ	入カイコライザ取得	
コマンド書式	@GIQ	
返り値書式	@GIQ, <i>input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8</i>	
パラメータ	<i>input_1-4</i> : 各入力チャンネルの入カイコライザ 0 = OFF, 1 = AUTO (※初期値 1 = AUTO)	
実行例	送 @GIQ 受 @GIQ, 1, 1, 1, 0, 0, 1, 1, 1	入カイコライザを取得。 INPUT4:OFF, INPUT5:OFF, その他:AUTO
関連項目	4.2.1 入カイコライザ(P.21) 5.6.21 @SEQ(出カイコライザ設定)(P.95)	

5. 6. 25 @SDM(出力モード設定)

@SDM	出力モード設定	
コマンド書式	@SDM, <i>ch_1, mode1</i> (, <i>ch_2, mode2</i> …)	
返り値書式	@SDM, <i>ch_1, mode1</i> (, <i>ch_2, mode2</i> …)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4)	
	<i>mode1-4</i> : 出力モード 0 = AUTO MODE, 1 = DVI MODE, 2 = HDMI 444 MODE, 3 = HDMI 422 MODE, 4 = HDMI RGB MODE	
実行例	送 @SDM, 1, 3 受 @SDM, 1, 3	OUTPUT1 の出力モードを HDMI 422 MODE に設定する。 正常終了。
関連項目	4.3.2 出力モード(P.26) 5.6.26 @GDM(出力モード取得)(P.97)	

5.6.26 @GDM(出力モード取得)

@GDM	出力モード取得	
コマンド書式	@GDM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDM, mode1, mode2, mode3, mode4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode1-4 : OUTPUT1~OUTPUT4 出力モード 0 = AUTO MODE , 1 = DVI MODE, 2 = HDMI 444 MODE, 3 = HDMI 422 MODE, 4 = HDMI RGB MODE	
実行例	送 @GDM <input type="checkbox"/> 受 @GDM, 0, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	出力モードを取得。 OUTPUT2 の出力モードを DVI MODE、その他の端子は AUTO MODE。
関連項目	4.3.2 出力モード(P.26) 5.6.25 @SDM(出力モード設定)(P.96)	

5.6.27 @SHM(強制 HDMI モード設定)

@SHM	強制 HDMI モード設定	
コマンド書式	@SHM, ch_1, mode1 (, ch_2, mode2 ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SHM, ch_1, mode1 (, ch_2, mode2 ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-4 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) mode1-4 : モード 0 = OFF , 1 = ERROR , 2 = ALWAYS	
実行例	送 @SHM, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SHM, 1, 1 <input type="checkbox"/>	OUTPUT1 の強制 HDMI モードを ERROR に設定する。 正常終了。
関連項目	4.3.3 強制 HDMI モード出力設定(P.27) 5.6.28 @GHM(強制 HDMI モード取得)(P.97)	

5.6.28 @GHM(強制 HDMI モード取得)

@GHM	強制 HDMI モード取得	
コマンド書式	@GHM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GHM, mode1, mode2, mode3, mode4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	mode1-4 : モード 0 = OFF , 1 = ERROR , 2 = ALWAYS	
実行例	送 @GHM <input type="checkbox"/> 受 @GHM, 0, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	出力モードを取得。 OUTPUT2 を強制 HDMI モード、他は OFF。
関連項目	4.3.3.強制 HDMI モード出力設定(P.27) 5.6.27 @SHM(強制 HDMI モード設定)(P.97)	

5. 6. 29 @SMK (ホットプラグ オフ マスク時間設定)

@SMK	ホットプラグ オフ マスク時間	
コマンド書式	@SMK, <i>ch_1, mask1</i> (, <i>ch_2, mask2</i> ...)	
返り値書式	@SMK, <i>ch_1, mask1</i> (, <i>ch_2, mask2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) <i>mask1-4</i> : ホットプラグ監視のマスク時間設定 (2 ~ 15) (※ 初期値 1) 1 = OFF , 2 秒 ~ 15 秒 , 1 秒/ステップ	
実行例	送 @SMK, 1, 1 受 @SMK, 1, 1	OUTPUT1 のマスク時間を OFF に設定する。 正常終了。
関連項目	4.3.4 ホットプラグ オフ マスク設定(P.28) 5.6.30 @GMK (ホットプラグ オフ マスク時間取得)(P.98)	

5. 6. 30 @GMK (ホットプラグ オフ マスク時間取得)

@GMK	ホットプラグ オフ マスク時間取得	
コマンド書式	@GMK	
返り値書式	@GMK, <i>mode1, mode2, mode3, mode4</i>	
パラメータ	<i>mask1-4</i> : ホットプラグ監視のマスク時間設定 (2 ~ 15) (※ 初期値 1) 1 = OFF , 2 秒 ~ 15 秒 , 1 秒/ステップ	
実行例	送 @GMK 受 @GMK, 1, 5, 1, 1	出力モードを取得。 OUTPUT2 のマスク時間が 5 秒、その他の端子は OFF。
関連項目	4.3.4 ホットプラグ オフ マスク設定(P.28) 5.6.29 @SMK (ホットプラグ オフ マスク時間設定)(P.98)	

5. 6. 31 @SDC (Deep Color 出力設定)

@SDC	Deep Color 出力設定	
コマンド書式	@SDC, <i>ch_1, color_1</i> (, <i>ch_2, color_2</i> ...)	
返り値書式	@SDC, <i>ch_1, color_1</i> (, <i>ch_2, color_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) <i>color_1-4</i> : Deep Color 設定 (0 , 1) (※ 初期値 0) 0 = 24-BIT COLOR , 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDC, 1, 0 受 @SDC, 1, 0	OUTPUT1 端子は 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	4. 3. 5 Deep Color 出力 (P. 29) 5. 6. 32 @GDC (Deep Color 出力取得) (P. 99)	

5. 6. 32 @GDC(Deep Color 出力取得)

@GDC	Deep Color 出力取得	
コマンド書式	@GDC [↵]	
返り値書式	@GDC, mode1, mode2, mode3, mode4 [↵]	
パラメータ	mode1-4 : Deep Color 設定 (0 , 1) (※ 初期値 0) 0 = 24-BIT COLOR , 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDC [↵] 受 @GDC, 0, 1, 1, 1 [↵]	設定されている色深度を取得。 OUTPUT1 は 24-BIT COLOR その他の端子は 30-BIT COLOR で設定されている。
関連項目	4. 3. 5 Deep Color 出力 (P. 29) 5. 6. 31 @SDC(Deep Color 出力設定) (P. 98)	

5. 6. 33 @SDI(Deep Color 入力設定)

@SDI	Deep Color 入力設定	
コマンド書式	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2...) [↵]	
返り値書式	@SDI, ch_1, color_1 (, ch_2, color_2...) [↵]	
パラメータ	ch_1-8 : 入力チャンネル 1~8 = 入力チャンネル (INPUT1 ~ INPUT8) color_1-8 : Deep Color 設定 (0 , 1) (※ 初期値 0) 0 = 24-BIT COLOR , 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @SDI, 1, 0 [↵] 受 @SDI, 1, 0 [↵]	INPUT1 端子は 24-BIT COLOR に設定する。 正常終了。
関連項目	4. 5. 4 Deep Color 設定 (P. 43) 5. 6. 34 @GDI(Deep Color 入力取得) (P. 99)	

5. 6. 34 @GDI(Deep Color 入力取得)

@GDI	Deep Color 入力取得	
コマンド書式	@GDI [↵]	
返り値書式	@GDI, mode1, mode2, mode3, mode4, mode5, mode6, mode7, mode8 [↵]	
パラメータ	mode1-8 : Deep Color 設定 (0 , 1) (※ 初期値 0) 0 = 24-BIT COLOR , 1 = 30-BIT COLOR	
実行例	送 @GDI [↵] 受 @GDI, 0, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1 [↵]	設定されている色深度を取得。 INPUT1 は 24-BIT COLOR その他の端子は 30-BIT COLOR で設定されている。
関連項目	4. 5. 4 Deep Color 設定 (P. 43) 5. 6. 33 @SDI(Deep Color 入力設定) (P. 99)	

5. 6. 35 @SSO(アナログ音声入力レベル設定)

@SSO	アナログ音声入力レベル設定	
コマンド書式	@SSO, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SSO, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8 <i>level_1-8</i> : 音声入力レベル -28[dB] ~ ±0[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @SSO, 5, -8 [↵] 受 @SSO, 5, -8 [↵]	入力 INPUT5 の音声入力レベルを-8[dB]に設定する。 正常終了。
関連項目	4.4.4 アナログ音声入力レベル(P.33) 5.6.36 @GSO(アナログ音声入力レベル取得)(P.100)	

5. 6. 36 @GSO(アナログ音声入力レベル取得)

@GSO	アナログ音声入力レベル取得	
コマンド書式	@GSO [↵]	
返り値書式	@GSO, <i>input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8</i> [↵]	
パラメータ	<i>input_1-8</i> : 各入力チャンネルの音声入力レベル -28[dB] ~ ±0[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @GSO [↵] 受 @GSO, 0, 0, 0, -3, -4, 0, 0, 0 [↵]	音声入力レベルを取得。 INPUT4:-3[dB], INPUT5:-4[dB], その他:±0[dB]
関連項目	4.4.4 アナログ音声入力レベル(P.33) 5.6.35 @SSO(アナログ音声入力レベル設定)(P.100)	

5. 6. 37 @SSD(デジタル音声入力レベル設定)

@SSD	デジタル音声入力レベル設定	
コマンド書式	@SSD, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
返り値書式	@SSD, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...) [↵]	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8 <i>level_1-8</i> : 音声入力レベル -28[dB] ~ ±0[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @SSD, 5, -8 [↵] 受 @SSD, 5, -8 [↵]	入力 INPUT5 の音声入力レベルを-8[dB]に設定する。 正常終了。
関連項目	4.4.6 デジタル音声入力レベル(P.36) 5.6.38 @GSD(デジタル音声入力レベル取得)(P.101)	

5. 6. 38 @GSD(デジタル音声入力レベル取得)

@GSD	デジタル音声入力レベル取得	
コマンド書式	@GSD <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSD, input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	input_1-8 : 各入力チャンネルの音声入力レベル -29[dB] ~ ±0[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @GSD <input type="checkbox"/> 受 @GSD, 0, 0, 0, -3, -4, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	音声入力レベルを取得。 INPUT4:-3[dB], INPUT5:-4[dB], その他:±0[dB]
関連項目	4.4.6.デジタル音声入力レベル(P.36) 5.6.37 @SSD(デジタル音声入力レベル設定)(P.100)	

5. 6. 39 @SSL(アナログ音声出力レベル設定)

@SSL	アナログ音声出力レベル設定	
コマンド書式	@SSL, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2 ...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSL, ch_1, level_1 (, ch_2, level_2 ...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-4 : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) level_1-4 : 音声出力レベル -28[dB] ~ +6[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @SSL, 1, -10 <input type="checkbox"/> 受 @SSL, 1, -10 <input type="checkbox"/>	出力 OUTPUT1 の音声出力レベルを -10[dB] に設定する。 正常終了。
	送 @SSL, 0, 5 <input type="checkbox"/> 受 @SSL, 0, 5 <input type="checkbox"/>	全出力チャンネルの音声出力レベルを +5[dB] に設定する。 正常終了。
関連項目	4.4.5 アナログ音声出力レベル(P.34) 5.6.40.@GSL(アナログ音声出力レベル取得)(P.101)	

5. 6. 40 @GSL(アナログ音声出力レベル取得)

@GSL	アナログ音声出力レベル取得	
コマンド書式	@GSL <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GSL, output_1, output_2, output_3, output_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	output_1-4 : 各出力チャンネルの音声出力レベル -28[dB] ~ +6[dB] (※初期値 0[dB])	
実行例	送 @GSL <input type="checkbox"/> 受 @GSL, -10, 0, 5, -2 <input type="checkbox"/>	音声出力レベルを取得。 OUTPUT1:-10[dB], OUTPUT2:±0[dB], OUTPUT3:+5[dB], OUTPUT4:-2[dB]
関連項目	4.4.5 アナログ音声出力レベル(P.34) 5.6.39 @SSL(アナログ音声出力レベル設定)(P.101)	

5. 6. 41 @SLY(リップシンク設定)

@SLY	リップシンク設定	
コマンド書式	@SLY, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...)	
返り値書式	@SLY, <i>ch_1, level_1</i> (, <i>ch_2, level_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 0 = 全入力, 1~8 = 入力チャンネル(INPUT1 ~ INPUT8)	
	<i>level_1-8</i> : リップシンクレベル 0[Frame] ~ 8[Frame] (※初期値 0[Frame])	
実行例	送 @SLY, 4, 8 受 @SLY, 4, 8	出力 INPUT4 のリップシンクレベルを 8[Frame]に設定する。 正常終了。
関連項目	4.4.7.リップシンク設定(P.37) 5. 6. 42 @GLY(リップシンク取得) (P. 102)	

5. 6. 42 @GLY(リップシンク取得)

@GLY	リップシンク取得	
コマンド書式	@GLY	
返り値書式	@GLY, <i>in_1, in_2, in_3, in_4, in_5, in_6, in_7, in_8</i>	
パラメータ	<i>in_1-8</i> : 各入力チャンネルのリップシンクレベル 0[Frame] ~ 8[Frame] (※初期値 0[Frame])	
実行例	送 @GLY 受 @GLY, 3, 4, 0, 0, 0, 0, 0	リップシンクレベルを取得。 INPUT1:3[Frame], INPUT2:4[Frame], その他:0[Frame]
関連項目	4.4.7.リップシンク設定(P.37) 5. 6. 41 @SLY(リップシンク設定) (P. 102)	

5. 6. 43 @SAM(音声出力ミュート設定)

@SAM	音声出力ミュート設定	
コマンド書式	@SAM, <i>ch_1, mute_1</i> (, <i>ch_2, mute_2</i> ...)	
返り値書式	@SAM, <i>ch_1, mute_1</i> (, <i>ch_2, mute_2</i> ...)	
パラメータ	<i>ch_1-4</i> : 出力チャンネル 0 = 全出力, 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4)	
	<i>mute_1-2</i> : 音声出力ミュート 0 = ミュート OFF(OFF ※初期値) 1 = ミュート ON(ON(MUTE))	
実行例	送 @SAM, 3, 1 受 @SAM, 3, 1	出力 OUTPUT3 の音声出力をミュートする。 正常終了。
	送 @SAM, 0, 0 受 @SAM, 0, 0	全出力チャンネルの音声出力のミュートを解除する。 正常終了。
関連項目	4.4.1.音声出力ミュート(P. 30) 5.6.44 @GAM(音声出力ミュート取得)(P.103)	

5. 6. 44 @GAM(音声出力ミュート取得)

@GAM	音声出力ミュート取得	
コマンド書式	@GAM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GAM, output_1, output_2, output_3, output_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	output_1-4 : 各出力チャンネルの音声ミュート状態 0 = ミュート OFF (OFF ※初期値) 1 = ミュート ON (ON(MUTE))	
実行例	送 @GAM <input type="checkbox"/> 受 @GAM, 1, 0, 1, 0 <input type="checkbox"/>	音声ミュート状態を取得。 出力 OUTPUT1 と OUTPUT3 がミュート。
関連項目	4.4.1 音声出力ミュート(P.30) 5.6.43 @SAM(音声出力ミュート設定)(P.102)	

5. 6. 45 @SDO(デジタル音声出力設定)

@SDO	デジタル音声出力設定	
コマンド書式	@SDO, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2...) <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SDO, ch_1, mode_1 (, ch_2, mode_2...) <input type="checkbox"/>	
パラメータ	ch_1-4 : 出力チャンネル 1~4 = 出力チャンネル(OUTPUT1 ~ OUTPUT4) mode_1-4 : デジタル音声出力設定(OFF = 停止, ON = 出力) 0 = OFF = 停止 1 = ON = 出力(※初期値)	
実行例	送 @SDO, 1, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SDO, 1, 1 <input type="checkbox"/>	全ての出力端子にデジタル音声を出力する。 正常終了。
関連項目	4. 4. 2 デジタル音声出力 (P. 31) 5. 6. 46 @GDO(デジタル音声出力取得) (P. 103)	

5. 6. 46 @GDO(デジタル音声出力取得)

@GDO	デジタル音声出力取得	
コマンド書式	@GDO <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GDO, output_1, output_2, output_3, output_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	output_1-4 : デジタル音声出力設定(OFF = 停止, ON = 出力) 0 = OFF = 停止 1 = ON = 出力(※初期値)	
実行例	送 @GDO <input type="checkbox"/> 受 @GDO, 1, 1, 1, 1 <input type="checkbox"/>	デジタル音声を出力する端子を取得。 全ての出力端子にデジタル音声を出力。
関連項目	4. 4. 2 デジタル音声出力 (P. 31) 5. 6. 45 @SDO(デジタル音声出力設定) (P. 103)	

5.6.47 @SAS(音声入力選択設定)

@SAS	音声入力選択設定	
コマンド書式	@SAS, <i>ch_1</i> , <i>select_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>select_2</i> …) 	
返り値書式	@SAS, <i>ch_1</i> , <i>select_1</i> (, <i>ch_2</i> , <i>select_2</i> …) 	
パラメータ	<i>ch_1-8</i> : 入力チャンネル 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8 <i>select_1-8</i> : 音声入力選択 0 = デジタル音声(※初期値), 1 = アナログ音声	
実行例	送 @SAS, 3, 0  受 @SAS, 3, 0 	INPUT3 の音声入力をデジタル音声に設定する。 正常終了。
関連項目	4.4.3 音声入力選択 (P.32) 5.6.48 @GAS(音声入力選択取得)(P.104)	

5.6.48 @GAS(音声入力選択取得)

@GAS	音声入力選択取得	
コマンド書式	@GAS 	
返り値書式	@GAS, <i>input_1</i> , <i>input_2</i> , <i>input_3</i> , <i>input_4</i> , <i>input_5</i> , <i>input_6</i> , <i>input_7</i> , <i>input_8</i> 	
パラメータ	<i>select_1-8</i> : 音声入力選択 0 = デジタル音声(※初期値), 1 = アナログ音声	
実行例	送 @GAS  受 @GAS, 1, 1, 0, 1, 1, 1, 1, 1 	音声入力選択を取得。 INPUT3 が音声入力はデジタル音声、その他はアナログ音声を使用。
関連項目	4.4.3 音声入力選択 (P.32) 5.6.47 @SAS(音声入力選択設定) (P.104)	

5. 6. 49 @SSP(Audio チャンネル数設定)

@SSP	Audio チャンネル数設定																																																						
コマンド書式	@SSP, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2 ...)																																																						
返り値書式	@SSP, ch_1, select_1 (, ch_2, select_2 ...)																																																						
パラメータ	<p>ch_1-8 : 入力チャンネル 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8</p> <p>select_1-8 : Audio チャンネル数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>スピーカ数</th> <th>FR/FL</th> <th>LFE</th> <th>FC</th> <th>RL/RR</th> <th>RLC/RRC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0(※初期値)</td> <td>2ch</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3(2.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6(5.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8(7.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FL</td> <td>Front Left</td> </tr> <tr> <td>FC</td> <td>Front Center</td> </tr> <tr> <td>FR</td> <td>Front Right</td> </tr> <tr> <td>RL</td> <td>Rear Left</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>Rear Right</td> </tr> <tr> <td>RLC</td> <td>Rear Left Center</td> </tr> <tr> <td>RRC</td> <td>Rear Right Center</td> </tr> <tr> <td>LFE</td> <td>Low Frequency Effect</td> </tr> </tbody> </table>		設定値	スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC	0(※初期値)	2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	1	3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF	2	6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF	3	8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON	名称	位置	FL	Front Left	FC	Front Center	FR	Front Right	RL	Rear Left	RR	Rear Right	RLC	Rear Left Center	RRC	Rear Right Center	LFE	Low Frequency Effect
設定値	スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC																																																	
0(※初期値)	2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																	
1	3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF																																																	
2	6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF																																																	
3	8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON																																																	
名称	位置																																																						
FL	Front Left																																																						
FC	Front Center																																																						
FR	Front Right																																																						
RL	Rear Left																																																						
RR	Rear Right																																																						
RLC	Rear Left Center																																																						
RRC	Rear Right Center																																																						
LFE	Low Frequency Effect																																																						
実行例	送 @SSP, 1, 3 受 @SSP, 1, 3	INPUT1 のスピーカ数を 8ch に設定する。 正常終了。																																																					
関連項目	4. 5. 5 Audio チャンネル数設定 (P. 44) 5. 6. 50 @GSP(Audio チャンネル数取得) (P. 106)																																																						

5. 6. 50 @GSP(Audio チャンネル数取得)

@GSP	Audio チャンネル数取得																																																						
コマンド書式	@GSP <input type="checkbox"/>																																																						
返り値書式	@GSP, input_1, input_2, input_3, input_4, input_5, input_6, input_7, input_8 <input type="checkbox"/>																																																						
パラメータ	input_1-8 : Audio チャンネル数																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設定値</th> <th>スピーカ数</th> <th>FR/FL</th> <th>LFE</th> <th>FC</th> <th>RL/RR</th> <th>RLC/RRC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0(※初期値)</td> <td>2ch</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>3(2.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6(5.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8(7.1)ch</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>位置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FL</td> <td>Front Left</td> </tr> <tr> <td>FC</td> <td>Front Center</td> </tr> <tr> <td>FR</td> <td>Front Right</td> </tr> <tr> <td>RL</td> <td>Rear Left</td> </tr> <tr> <td>RR</td> <td>Rear Right</td> </tr> <tr> <td>RLC</td> <td>Rear Left Center</td> </tr> <tr> <td>RRC</td> <td>Rear Right Center</td> </tr> <tr> <td>LFE</td> <td>Low Frequency Effect</td> </tr> </tbody> </table>		設定値	スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC	0(※初期値)	2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	1	3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF	2	6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF	3	8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON	名称	位置	FL	Front Left	FC	Front Center	FR	Front Right	RL	Rear Left	RR	Rear Right	RLC	Rear Left Center	RRC	Rear Right Center	LFE	Low Frequency Effect
設定値	スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/RRC																																																	
0(※初期値)	2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF																																																	
1	3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF																																																	
2	6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF																																																	
3	8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON																																																	
名称	位置																																																						
FL	Front Left																																																						
FC	Front Center																																																						
FR	Front Right																																																						
RL	Rear Left																																																						
RR	Rear Right																																																						
RLC	Rear Left Center																																																						
RRC	Rear Right Center																																																						
LFE	Low Frequency Effect																																																						
実行例	送 @GSP <input type="checkbox"/> 受 @GSP, 3, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0 <input type="checkbox"/>	スピーカ構成を取得。 INPUT1 のスピーカ数は 8ch、その他は 2ch																																																					
関連項目	4. 5. 5 Audio チャンネル数設定 (P. 44) 5. 6. 49 @SSP(Audio チャンネル数設定) (P. 105)																																																						

5. 6. 51 @SAF(音声フォーマット設定)

@SAF	音声フォーマット設定																
コマンド書式	@SAF, <i>input_1-8,format_1,frequency_1</i> (, <i>format_2,frequency_2</i> ···)																
返り値書式	@SAF, <i>input_1-8,format_1,frequency_1</i> (, <i>format_2,frequency_2</i> ···)																
パラメータ	<i>input_1-8</i> : 入力チャンネル 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8																
	<i>format_1-n</i> : 音声フォーマット 0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD																
	<i>frequency_1-n</i> : サンプル周波数 0 = OFF (出力を許可しない), 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 88.2kHz, 5 = 96kHz, 6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz ※初期値 下表()内の数値 指定可能な最大サンプル周波数は、音声フォーマットにより異なります																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>サンプル周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニア PCM</td> <td>32/44.1/48/88.2/96/192 (48)</td> </tr> <tr> <td>AC-3/Dolby Digital</td> <td>OFF /32/44.1/48 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>OFF /32/44.1/48 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>OFF /32/44.1/48/96 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>OFF/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)</td> </tr> </tbody> </table>		音声フォーマット	サンプル周波数 (kHz)	リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)	AC-3/Dolby Digital	OFF /32/44.1/48 (OFF)	AAC	OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)	Dolby Digital+	OFF /32/44.1/48 (OFF)	DTS	OFF /32/44.1/48/96 (OFF)	DTS-HD	OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)	Dolby TrueHD
音声フォーマット	サンプル周波数 (kHz)																
リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)																
AC-3/Dolby Digital	OFF /32/44.1/48 (OFF)																
AAC	OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)																
Dolby Digital+	OFF /32/44.1/48 (OFF)																
DTS	OFF /32/44.1/48/96 (OFF)																
DTS-HD	OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)																
Dolby TrueHD	OFF/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)																
	出力を許可する音声フォーマットと、最大サンプル周波数を指定します。 リニア PCM は必ず許可されるので、サンプル周波数を変更する必要がなければ省略可能です。																
実行例	送 @SAF, 1, 0, 7	INPUT1 のリニア PCM の 192kHz の音声出力を許可する。															
	受 @SAF, 1, 0, 7	正常終了。															
	送 @SAF, 1, 4, 3	INPUT1 の DTS の 48kHz までの音声出力を許可する。															
	受 @SAF, 1, 4, 3	正常終了。															
関連項目	4. 5. 6 PCM Audio 設定 (P. 45) 4. 5. 7 AC-3/Dolby Digital Audio 設定 (P. 46) 4. 5. 8 AAC Audio 設定 (P. 47) 4. 5. 9 Dolby Digital + Audio 設定 (P. 48) 4. 5. 10 DTS Audio 設定 (P. 49) 4. 5. 11 DTS-HD Audio 設定 (P. 50) 4. 5. 12 Dolby TrueHD Audio 設定 (P. 51) 5. 6. 52 @GAF (音声フォーマット取得) (P. 108)																

5. 6. 52 @GAF (音声フォーマット取得)

@GAF	音声フォーマット取得																	
コマンド書式	@GAF <i>format</i> <input type="checkbox"/>																	
返り値書式	@GAF, <i>format</i> , <i>frequency_1</i> , <i>frequency_2</i> , <i>frequency_3</i> , <i>frequency_4</i> , <i>frequency_5</i> , <i>frequency_6</i> , <i>frequency_7</i> , <i>frequency_8</i> <input type="checkbox"/>																	
パラメータ	<i>format_1-8</i> : 音声フォーマット ※初期値 リニア PCM のみ、出力許可 0 = リニア PCM, 1 = AC-3/Dolby Digital, 2 = AAC, 3 = Dolby Digital+, 4 = DTS, 5 = DTS-HD, 6 = Dolby TrueHD																	
	<i>frequency_1-8</i> : サンプル周波数 0 = OFF (出力を許可しない), 1 = 32kHz, 2 = 44.1kHz, 3 = 48kHz, 4 = 88.2kHz, 5 = 96kHz, 6 = 176.2kHz, 7 = 192kHz ※初期値 下表 () 内の数値 最大サンプル周波数は、音声フォーマットにより異なります																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>音声フォーマット</th> <th>サンプル周波数 (kHz)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リニア PCM</td> <td>32/44.1/48/88.2/96/192 (48)</td> </tr> <tr> <td>AC-3/Dolby Digital</td> <td>OFF /32/44.1/48 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>AAC</td> <td>OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>Dolby Digital+</td> <td>OFF /32/44.1/48 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>DTS</td> <td>OFF /32/44.1/48/96 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>DTS-HD</td> <td>OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)</td> </tr> <tr> <td>Dolby TrueHD</td> <td>OFF/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)</td> </tr> </tbody> </table>		音声フォーマット	サンプル周波数 (kHz)	リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)	AC-3/Dolby Digital	OFF /32/44.1/48 (OFF)	AAC	OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)	Dolby Digital+	OFF /32/44.1/48 (OFF)	DTS	OFF /32/44.1/48/96 (OFF)	DTS-HD	OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)	Dolby TrueHD	OFF/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)
音声フォーマット	サンプル周波数 (kHz)																	
リニア PCM	32/44.1/48/88.2/96/192 (48)																	
AC-3/Dolby Digital	OFF /32/44.1/48 (OFF)																	
AAC	OFF /32/44.1/48/88.2/96 (OFF)																	
Dolby Digital+	OFF /32/44.1/48 (OFF)																	
DTS	OFF /32/44.1/48/96 (OFF)																	
DTS-HD	OFF /44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)																	
Dolby TrueHD	OFF/44.1/48/88.2/96/176.4/192 (OFF)																	
	出力が許可されている音声フォーマットと最大サンプル周波数を送信します。																	
実行例	送 @GAF, 0 <input type="checkbox"/> 受 @GAF, 0, 7, 7, 0, 7, 7, 7, 7, 7 <input type="checkbox"/>	リニア PCM の出力許可されている音声フォーマットを取得。 INPUT3 は OFF、その他はリニア PCM の 192kHz までの音声出力が許可されている。																
関連項目	4. 5. 6 PCM Audio 設定 (P. 45) 4. 5. 7 AC-3/Dolby Digital Audio 設定 (P. 46) 4. 5. 8 AAC Audio 設定 (P. 47) 4. 5. 9 Dolby Digital + Audio 設定 (P. 48) 4. 5. 10 DTS Audio 設定 (P. 49) 4. 5. 11 DTS-HD Audio 設定 (P. 50) 4. 5. 12 Dolby TrueHD Audio 設定 (P. 51) 5. 6. 51 @SAF (音声フォーマット設定) (P. 107)																	

5.6.53 @SIP(IP アドレス設定)

@SIP	IP アドレス設定	
コマンド書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) (※初期値 192.168.001.199)	
実行例	送 @SIP, 192, 168, 3, 2 <input type="checkbox"/> 受 @SIP, 192, 168, 3, 2 <input type="checkbox"/>	本機の IP アドレスを 192.168.3.2 に設定する。 正常終了。
関連項目	4.7.1 IP アドレス(P.55) 5.6.54 @GIP(IP アドレス取得)(P.109)	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

5.6.54 @GIP(IP アドレス取得)

@GIP	IP アドレス取得	
コマンド書式	@GIP <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GIP, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	unit_1 : IP アドレス上位 ~ unit_4 : IP アドレス下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) (※初期値 192.168.001.199)	
実行例	送 @GIP <input type="checkbox"/> 受 @GIP, 192, 168, 3, 2 <input type="checkbox"/>	本機の IP アドレスを取得する。 192.168.3.2
関連項目	4.7.1 IP アドレス(P.55) 5.6.53 @SIP(IP アドレス設定)(P.109)	

5.6.55 @SSB(サブネットマスク設定)

@SSB	サブネットマスク設定	
コマンド書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) (※初期値 255.255.255.000)	
実行例	送 @SSB, 255, 255, 192, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SSB, 255, 255, 192, 0 <input type="checkbox"/>	サブネットマスクを 255.255.192.0 (= 18bit) に設定する。 正常終了。
	送 @SSB, 255, 0, 0, 128 <input type="checkbox"/> 受 @ERR, 1 <input type="checkbox"/>	サブネットマスクとして不正な値を指定するとエラーが返されます。
関連項目	4.7.2 サブネットマスク(P.56) 5.6.56 @GSB(サブネットマスク取得)(P.110)	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

5. 6. 56 @GSB(サブネットマスク取得)

@GSB	サブネットマスク取得	
コマンド書式	@GSB [↵]	
返り値書式	@GSB, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4 [↵]	
パラメータ	unit_1 : サブネットマスク上位 ~ unit_4 : サブネットマスク下位 0 ~ 255 = 8ビット(10進数表記) (※初期値 255.255.255.000)	
実行例	送 @GSB [↵] 受 @GSB, 255, 255, 192, 0 [↵]	サブネットマスクを取得。 255.255.192.0 = 18bit
関連項目	4.7.2 サブネットマスク(P.56) 5.6.55 @SSB(サブネットマスク設定)(P.109)	

5. 6. 57 @SLP(TCPポート番号設定)

@SLP	TCPポート番号設定	
コマンド書式	@SLP, port_1, add [↵]	
返り値書式	@SLP, port_1, add [↵]	
パラメータ	port_1 : ポート番号 (※初期値 1100 : 通信コマンド制御ポート) 1100, 6000 ~ 6999 add : コネクション変更 HTTP 制御ポートをコマンド制御ポートに変更(※初期値 OFF: HTTP 制御ポート) 0 = OFF(HTTP 制御ポート) (※初期値) 1 = ON(コマンド制御ポート)	
実行例	送 @SLP, 1100, 0 [↵] 受 @SLP, 1100, 0 [↵]	コマンド制御ポート 1100 HTTP 制御ポートのコマンド制御ポートへの割り当てなし。 正常終了。
関連項目	4.7.3 TCPポート番号(P.57) 5.6.58 @GLP(TCPポート番号取得)(P.111)	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

5. 6. 58 @GLP(TCP ポート番号取得)

@GLP	TCP ポート番号取得	
コマンド書式	@GLP []	
返り値書式	@GLP, port_1, add []	
パラメータ	<i>port_1</i> : ポート番号 (※初期値 1100 : 通信コマンド制御ポート) 1100, 6000 ~ 6999 <i>add</i> : コネクション変更 HTTP 制御ポートをコマンド制御ポートに変更(※初期値 OFF: HTTP 制御ポート) 0 = OFF(HTTP 制御ポート) (※初期値) 1 = ON(コマンド制御ポート)	
実行例	送 @GLP [] 受 @GLP, 1100, 0 []	ポート番号を取得する。 コマンド制御ポート 1100 HTTP 制御ポートのコマンド制御ポートへの割り当てなし。
関連項目	4.7.3 TCP ポート番号(P.57) 5.6.57 @SLP(TCP ポート番号設定)(P.110)	

5. 6. 59 @GMC(MAC アドレス取得)

@GMC	MAC アドレス取得	
コマンド書式	@GMC []	
返り値書式	@GMC, unit_1, unit_2, unit_3, unit_4, unit_5, unit_6 []	
パラメータ	<i>unit_1</i> : MAC アドレス上位 ~ <i>unit_6</i> : MAC アドレス下位 00 ~ FF = 8 ビット(16 進数表記)	
関連項目	4.7.4 MAC アドレス表示(P.58)	

5. 6. 60 @SCT(シリアル端子 通信速度設定)

@SCT	シリアル端子 通信速度設定	
コマンド書式	@SCT, bps, length, parity, stop []	
返り値書式	@SCT, bps, length, parity, stop []	
パラメータ	<i>bps</i> : 通信速度設定 0 = 4800[bps], 1 = 9600[bps] (※初期値), 2 = 14400[bps], 3 = 19200[bps], 4 = 38400[bps] <i>length</i> : データ長設定 0 = 7 ビット (※初期値), 1 = 8 ビット <i>parity</i> : パリティ設定 0 = なし (※初期値), 1 = 奇数, 2 = 偶数 <i>stop</i> : ストップビット設定 0 = 1 ビット (※初期値), 1 = 2 ビット	
実行例	送 @SCT, 3, 0, 0, 0 [] 受 @SCT, 3, 0, 0, 0 []	RS-232C コネクタの通信速度を 19200[bps] に設定する。 正常終了。
関連項目	4.6 シリアル端子設定(P.53) 5.6.61 @GCT(シリアル端子 通信速度設定 取得) (P.112)	
注意事項	IP アドレスやシリアル通信設定が変更された場合、以後、通信不可となる可能性があります。本機に合わせ、環境の設定変更を行ってください。	

5.6.61 @GCT(シリアル端子 通信速度設定 取得)

@GCT	シリアル端子 通信速度設定 取得	
コマンド書式	@GCT [↵]	
返り値書式	@GCT, <i>bps</i> , <i>length</i> , <i>parity</i> , <i>stop</i> [↵]	
パラメータ	<i>bps</i> :通信速度設定 0 = 4800[bps], 1 = 9600[bps] (※初期値), 2 = 14400[bps], 3 = 19200[bps], 4 = 38400[bps] <i>length</i> :データ長設定 0 = 7ビット, 1 = 8ビット(※初期値) <i>parity</i> :パリティ設定 0 = なし (※初期値), 1 = 奇数, 2 = 偶数 <i>stop</i> :ストップビット設定 0 = 1ビット (※初期値), 1 = 2ビット	
実行例	送 @GCT[↵] 受 @GCT, 3, 0, 0, 0[↵]	シリアル端子の通信速度設定を取得する。 ・RS-232C コネクタ:19200[bps]
関連項目	4.6 シリアル端子設定(P.53) 5.6.60 @SCT(シリアル端子 通信速度設定)(P.111)	

5.6.62 @RPM(プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し))

@RPM	プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し)	
コマンド書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
返り値書式	@RPM, <i>preset</i> [↵]	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20)	
実行例	送 @RPM, 3[↵] 受 @RPM, 3[↵]	プリセットメモリ 3 を呼び出す。 正常終了。
関連項目	4.8.1 プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し)(P.59) @SPM プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存)(P.113) @SEM プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存)(P.113)	

5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))

@SPM	プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存)	
コマンド書式	@SPM, preset (, name) 	
返り値書式	@SPM, preset (, name) 	
パラメータ	preset : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20)	
	name : メモリ名(10文字固定) ASCIIコード(P.81)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字までメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入出力チャンネルの設定のみ保存します	
実行例	送 @SPM, 2 	[メモリ名を省略した場合]
	受 @SPM, 2 	
	送 @SPM, 2, MEMORY2 	[メモリ名を指定した場合]
	受 @SPM, 2, MEMORY2 	
	現在の入出力チャンネル設定を プリセットメモリ 2 に保存する。	
関連項目	4.8.1 プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し)(P.59) 5.6.62 @RPM(プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し))(P.112) 5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113)	

5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))

@SEM	プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存)	
コマンド書式	@SEM, preset (, name) 	
返り値書式	@SEM, preset (, name) 	
パラメータ	preset : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20)	
	name : メモリ名 ASCIIコード(P.81)の、20 ~ 7Dの中から最大10文字までメモリ名は省略可能で、省略した場合は、現在保存されている名前を変更せずに入出力チャンネルの設定のみ保存します	
実行例	送 @SEM, 2 	[メモリ名を省略した場合]
	受 @SEM, 2 	
	送 @SEM, 2, MEMORY2 	[メモリ名を指定した場合]
	受 @SEM, 2, MEMORY2 	
	現在の入出力チャンネル設定を プリセットメモリ 2 に保存する。ただし、チャンネル制御しない設定が保存されている出力チャンネルの設定は保存しない。	
関連項目	4.8.1 プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し)(P.59) 5.6.62 @RPM(プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し))(P.112) 5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113)	

5. 6. 65 @ECM(プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集))

@ECM	プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集)	
コマンド書式	@ECM, <i>preset, v_1, a_1, v_2, a_2, v_3, a_3, v_4, a_4</i>	
返り値書式	@ECM, <i>preset, v_1, a_1, v_2, a_2, v_3, a_3, v_4, a_4</i>	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20) <i>v_1-4</i> : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) <i>a_1-4</i> : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
実行例	送 @ECM, 2, 1, 1, 2, 2, 3, 3, -1, -1 受 @ECM, 2, 1, 1, 2, 2, 3, 3, -1, -1	プリセットメモリ 2 を読み出すと、OUTPUT1~3 は INPUT1~3 と 1:1 に設定し、OUTPUT4 は制御しない。
関連項目	4.8.3 プリセットメモリの編集(P. 61) 5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113) 5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113) 5.6.66 @GCM(プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得))(P.114)	

5. 6. 66 @GCM(プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得))

@GCM	プリセットメモリの設定取得 (入出力チャンネル設定の取得)	
コマンド書式	@GCM, <i>preset</i>	
返り値書式	@GCM, <i>preset, v_1, a_1, v_2, a_2, v_3, a_3, v_4, a_4</i>	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20) <i>v_1-4</i> : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) <i>a_1-4</i> : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) -1 = 制御しない, 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8	
実行例	送 @GCM, 2 受 @GCM, 2, 1, 1, 2, 2, 3, 3, -1, -1	プリセットメモリ 2 を読み出すと、OUTPUT1~3 は INPUT1~3 と 1:1 に設定し、OUTPUT4 は制御しない。
関連項目	4.8.3 プリセットメモリの編集(P. 61) 5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113) 5.6.64 @SEM(プリセットメモリの引継ぎ保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113) 5.6.65 @ECM(プリセットメモリの設定編集 (入出力チャンネル設定の編集))(P.114)	

5. 6. 67 @SMU(電源投入時の状態設定)

@SMU	電源投入時の状態設定	
コマンド書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 20 = プリセットメモリ (PRESET 1 ~ PRESET 20) 21 = デフォルトチャンネル (LAST CH NO SAVE) 22 = ラストメモリ (LAST CH SAVE ※初期値)	
実行例	送 @SMU, 3 <input type="checkbox"/> 受 @SMU, 3 <input type="checkbox"/>	電源投入時の状態をプリセットメモリ 3 に設定する。 正常終了。
関連項目	4.8.4 電源投入時の入出力チャンネル設定(P.62) 5.6.67 @GMU 電源投入時の状態取得(P.115)	

5. 6. 68 @GMU(電源投入時の状態取得)

@GMU	電源投入時の状態取得	
コマンド書式	@GMU <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GMU, state <input type="checkbox"/>	
パラメータ	state : 電源投入時の設定 1 ~ 20 = プリセットメモリ (PRESET 1 ~ PRESET 20) 21 = デフォルトチャンネル (LAST CH NO SAVE) 22 = ラストメモリ (LAST CH SAVE ※初期値)	
実行例	送 @GMU <input type="checkbox"/> 受 @GMU, 3 <input type="checkbox"/>	電源投入時の状態を取得する。 プリセットメモリ 3
関連項目	4.8.4 電源投入時の入出力チャンネル設定(P.62) 5.6.68 @SMU 電源投入時の状態設定(P.115)	

5. 6. 69 @SLM(キーロックモードの設定)

@SLM	キーロックモードの設定	
コマンド書式	@SLM, in/out, menu, mode <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SLM, in/out, menu, mode <input type="checkbox"/>	
パラメータ	in/out : 出力映像・音声選択キー menu : メニュー・音声制御キー mode : スイッチングモードキー 0 = キーロック OFF (※初期値), 1 = キーロック ON	
実行例	送 @SLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/> 受 @SLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	出力映像・音声選択キーをキーロック状態にする。 正常終了。
関連項目	4.9.4 キーロック設定(P.67) 5.6.70 @GLM キーロックモードの取得(P.116)	

5. 6. 70 @GLM(キーロックモードの取得)

@GLM	キーロックモードの取得	
コマンド書式	@GLM <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GLM, <i>in/out, menu, mode</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>in/out</i> : 出力映像・音声選択キー <i>menu</i> : メニュー・音声制御キー <i>mode</i> : スイッチングモードキー 0 = キーロック OFF (※初期値), 1 = キーロック ON	
実行例	送 @GLM <input type="checkbox"/> 受 @GLM, 1, 0, 0 <input type="checkbox"/>	キーロック設定の状態を取得する。 出力映像・音声選択キーがキーロック状態。
関連項目	4.9.4 キーロック設定(P.67) 5.6.69 @SLM キーロックモードの設定(P.115)	

5. 6. 71 @SBZ(ブザー音設定)

@SBZ	ブザー音設定	
コマンド書式	@SBZ, <i>bz</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@SBZ, <i>bz</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>bz</i> : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON (※初期値)	
実行例	送 @SBZ, 1 <input type="checkbox"/> 受 @SBZ, 1 <input type="checkbox"/>	ブザー音を ON に設定する。 正常終了。
関連項目	4.9.5 ブザー音設定(P.68) 5.6.72 @GBZ ブザー音設定取得(P.116)	

5. 6. 72 @GBZ(ブザー音設定取得)

@GBZ	ブザー音設定取得	
コマンド書式	@GBZ <input type="checkbox"/>	
返り値書式	@GBZ, <i>bz</i> <input type="checkbox"/>	
パラメータ	<i>bz</i> : ブザー音設定 0 = OFF, 1 = ON (※初期値)	
実行例	送 @GBZ <input type="checkbox"/> 受 @GBZ, 1 <input type="checkbox"/>	ブザー音設定状態を取得する。 ブザー音 ON。
関連項目	4.9.5 ブザー音設定(P.68) 5.6.71 @SBZ ブザー音設定(P.116)	

5.6.73 @SBR(Web ブラウザ自動更新時間設定)

@SBR	Web ブラウザ自動更新時間設定	
コマンド書式	@SBR, <i>time</i> [↵]	
返り値書式	@SBR, <i>time</i> [↵]	
パラメータ	<i>time</i> : Web ブラウザ自動更新時間 (※初期値 0[sec]) 0, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100 (sec)	
実行例	送 @SBR, 30[↵] 受 @SBR, 30[↵]	Web ブラウザ自動更新時間を 30[sec]に設定する。 正常終了。
関連項目	4.9.8 WEB ブラウザ自動更新時間設定(P.71) 5.6.74 @GBR(Web ブラウザ自動更新時間取得)(P.117)	

5.6.74 @GBR(Web ブラウザ自動更新時間取得)

@GBR	Web ブラウザ自動更新時間取得	
コマンド書式	@GBR [↵]	
返り値書式	@GBR, <i>time</i> [↵]	
パラメータ	<i>time</i> : Web ブラウザ自動更新時間 (※初期値 0[sec]) 0, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100 (sec)	
実行例	送 @GBR[↵] 受 @GBR, 30[↵]	Web ブラウザ自動更新時間を取得する。 30[sec]
関連項目	4.9.8 WEB ブラウザ自動更新時間設定(P.71) 5.6.73 @SBR(Web ブラウザ自動更新時間設定)(P.117)	

5.6.75 @SBP (WEB ブラウザパスワードロック機能設定)

@SBP	WEB ブラウザパスワードロック機能設定		
コマンド書式	@SBP, mode, pass, new_pass ☐		
返り値書式	@SBP, mode, pass, new_pass ☐		
パラメータ	mode : Web ブラウザロック機能設定、解除、変更 0 = OFF, 1 = ON, 2 = パスワードの変更		
	pass : 現在設定されているパスワード ASCII コードの、20、30~39、41~5A、61~7A の中から最大 10 文字まで可能。		
	new_pass : 新しく設定するパスワード ASCII コードの、20、30~39、41~5A、61~7A の中から最大 10 文字まで可能。 パスワードの変更以外は省略可能。 ※全てスペース(0x20)での設定はできません。		
実行例	送	@SBP, 2, IDK, IDK1234 ☐	パスワードの変更
	受	@SBP, 2, IDK, IDK1234 ☐	現在設定されているパスワード "IDK" 新しいパスワード "IDK1234"
	送	@SBP, 1, IDK ☐	ブラウザロック機能を OFF→ON に設定
	受	@SBP, 1, IDK ☐	現在設定されているパスワード "IDK"
	送	@SBP, 0, IDK ☐	ブラウザロック機能を ON→OFF に設定
受	@SBP, 0, IDK ☐	現在設定されているパスワード "IDK"	
送	@SBP, 0, IDK ☐	パスワードの認証に失敗	
受	@ERR, 6 ☐		
関連項目	4.9.9 WEB ブラウザパスワードロック機能設定 (P. 72) 5.6.76 @GBP (WEB ブラウザパスワードロック機能取得) (P. 118)		

5.6.76 @GBP (WEB ブラウザパスワードロック機能取得)

@GBP	WEB ブラウザパスワードロック機能取得		
コマンド書式	@GBP ☐		
返り値書式	@GBP, pass ☐		
パラメータ	pass : パスワード設定状態 0 = OFF (※初期値), 1 = ON		
実行例	送	@GBP ☐	Web ブラウザパスワード設定状態を取得する。
	受	@GBP, 1 ☐	Web ブラウザパスワード機能 ON。
関連項目	4.9.9 WEB ブラウザパスワードロック機能設定 (P. 72) 5.6.75 @SBP (WEB ブラウザパスワードロック機能設定) (P.118)		

5. 6. 77 @GIS(入カステータス取得)

@GIS	入カステータス取得																													
コマンド書式	@GIS, channel, mode 																													
返り値書式	@GIS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3···) 																													
パラメータ	<p>channel : 入力端子 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8</p> <hr/> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~3 の全て, 1 = 入力信号の種類 ※¹, 2 = 映像入力信号のフォーマット ※², 3 = 音声入力信号のフォーマット ※³</p> <p>※¹ 入力信号の種類は以下のいずれかを返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信</th> <th>入力信号の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Hxx</td> <td>HDMI 信号が HDCP の付加された信号で入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります</td> </tr> <tr> <td>hxx</td> <td>HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>DVI 信号が HDCP の付加された信号で入力されています</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>DVI 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>N</td> <td>信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※² 映像入力信号のフォーマットは以下のように返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>映像入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1920 x 1080p 60.00Hz</td> <td>RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※³ 音声入力信号のフォーマットは以下のように返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>音声入力信号のフォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L-PCM 48kHz</td> <td>リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します</td> </tr> <tr> <td>L-PCM 48kHz M</td> <td>マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています</td> </tr> <tr> <td>COMPRESSED AUDIO</td> <td>圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)</td> </tr> <tr> <td>NO SIGNAL</td> <td>映像信号が入力されていません</td> </tr> </tbody> </table>		返信	入力信号の種類	Hxx	HDMI 信号が HDCP の付加された信号で入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります	hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります	D	DVI 信号が HDCP の付加された信号で入力されています	d	DVI 信号が入力されています	N	信号が入力されていません	返信例	映像入力信号のフォーマット	1920 x 1080p 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません	返信例	音声入力信号のフォーマット	L-PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します	L-PCM 48kHz M	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません
返信	入力信号の種類																													
Hxx	HDMI 信号が HDCP の付加された信号で入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります																													
hxx	HDMI 信号が入力されており、xx は色深度で 24 または 30 のいずれかになります																													
D	DVI 信号が HDCP の付加された信号で入力されています																													
d	DVI 信号が入力されています																													
N	信号が入力されていません																													
返信例	映像入力信号のフォーマット																													
1920 x 1080p 60.00Hz	RGB 信号が入力されており、水平解像度 × 垂直解像度と垂直同期周波数を返信します																													
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません																													
返信例	音声入力信号のフォーマット																													
L-PCM 48kHz	リニア PCM 信号が入力されており、サンプリング周波数を返信します																													
L-PCM 48kHz M	マルチチャンネルのリニア PCM 信号が入力されています																													
COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS 等) が入力されています (本機では詳細なフォーマット判別を行っていませんので、圧縮音声が入力されている場合は全て同じ表示になります)																													
NO SIGNAL	映像信号が入力されていません																													
実行例	送受	@GIS, 6, 2  @GIS, 6, 2, 1024x 768 60.00Hz 	INPUT6 の映像入力信号のフォーマットを取得。 ・映像入力信号 : 1024x 768 60.00Hz																											
	送受	@GIS, 3, 3  @GIS, 3, 3, NO SIGNAL 	INPUT3 の音声入力信号のフォーマットを取得。 ・音声入力信号 : 入力信号なし																											
関連項目	4. 9. 1 入力信号状態表示 (P. 64)																													

5.6.78 @GOS(出力ステータス取得)

@GOS	出力ステータス取得																			
コマンド書式	@GOS, channel, mode ☐																			
返り値書式	@GOS, channel, mode, status_1 (, status_2, status_3...) ☐																			
パラメータ	<p>channel : 出力端子 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUTPUT4</p> <p>mode : 取得するステータス 0 = 1~2 の全て, 1 = 表示機器の HDCP 対応状態 ※¹, 2 = HDCP の認証状態 ※²</p> <p>※¹ HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>表示機器の HDCP 対応状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP SUPPORT</td> <td>HDCP に対応した表示機器が接続されています</td> </tr> <tr> <td>HDCP NOT SUPPORT</td> <td>HDCP に対応していない表示機器が接続されています</td> </tr> <tr> <td>UNCONNECTED</td> <td>表示機器が接続されていません</td> </tr> </tbody> </table> <p>※² HDCP の認証状態は以下のいずれかを返信します</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>返信例</th> <th>HDCP の認証状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HDCP OFF</td> <td>HDCP の付加された信号が入力されていません</td> </tr> <tr> <td>HDCP OK</td> <td>認証に成功しました</td> </tr> <tr> <td>HDCP ERROR</td> <td>認証に失敗しました</td> </tr> <tr> <td>HDCP CHECK NOW</td> <td>認証中です</td> </tr> </tbody> </table>		返信例	表示機器の HDCP 対応状態	HDCP SUPPORT	HDCP に対応した表示機器が接続されています	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していない表示機器が接続されています	UNCONNECTED	表示機器が接続されていません	返信例	HDCP の認証状態	HDCP OFF	HDCP の付加された信号が入力されていません	HDCP OK	認証に成功しました	HDCP ERROR	認証に失敗しました	HDCP CHECK NOW	認証中です
返信例	表示機器の HDCP 対応状態																			
HDCP SUPPORT	HDCP に対応した表示機器が接続されています																			
HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していない表示機器が接続されています																			
UNCONNECTED	表示機器が接続されていません																			
返信例	HDCP の認証状態																			
HDCP OFF	HDCP の付加された信号が入力されていません																			
HDCP OK	認証に成功しました																			
HDCP ERROR	認証に失敗しました																			
HDCP CHECK NOW	認証中です																			
実行例	送 受	@GOS, 1, 0 ☐ @GOS, 1, 0, HDCP SUPPORT, H30, 00 ☐	OUTPUT 1 の全ステータスを取得。 ・ HDCP の認証状態 : 正常終了 ・ 出力信号の種類 : 30-BIT COLOR の HDMI 信号 ・ エラーコード : 映像、音声ともに正常																	
	送 受	@GOS, 2, 1 ☐ @GOS, 2, 1, UNCONNECTED ☐	OUTPUT 2 の HDCP の認証状態を取得。 ・ HDCP の認証状態 : 未接続																	
関連項目	4.9.2 表示機器状態表示 (P. 65)																			

5. 6. 79 @GIV(バージョン情報取得)

@GIV	バージョン情報取得	
コマンド書式	@GIV []	
返り値書式	@GIV, <i>id</i> , <i>ver</i> []	
パラメータ	<i>id</i> : 製品型番	
	<i>ver</i> : ファームウェアバージョン	
実行例	送	@GIV []
	受	@GIV, MRX-804HD , 1.00R0 []
関連項目	4.9.10 バージョン情報表示(P.74)	

5.7 互換モード通信コマンド概要

互換モード通信コマンドにて本機を制御する場合、4.9.7.通信コマンド設定(P. 70)にて[OPTION]を選択します。

コマンドはコマンドを意味する半角英字(大文字あるいは小文字)ないしはパラメータ(半角数字)からなります。(コマンドによっては複数のパラメータを指定可能なものや、パラメータの必要ないものがあります。)

コマンドの最後にデリミタを送信することにより処理を実行します。

例 : s, 3☐

「,」は、コマンドとパラメータおよびパラメータ間の区切り文字でカンマ(16進表記の2C)を表します。

☐は、デリミタ(CR で 16 進表記の 0D)を表します。

無効なコマンドおよびパラメータを入力した場合、コマンドは破棄されます。

5.7.1 コマンドの例

- ① 本機の映像・音声モードの設定を変更するコマンド
コマンドを送信します
例 : V☐ ←映像切り換えモードに設定します
- ② 本機の現在設定されている映像・音声モードの設定を取得するコマンド
コマンドを送信します。コマンドが正常に処理されると、現在の設定を送り返します。(コマンドによっては複数のパラメータを返すものがあります)
例 : mode☐ ←送信コマンド
V☐ ←本機からの返り値
- ③ 単一のクロスポイントを切り換えるコマンド
パラメータをカンマで区切って送信します。
例 : 1, 3☐ ←INPUT1 を OUTPUT3 にセットします。
例 : q, 3☐ ←OUTPUT3 を OFF にセットします。
- ④ 複数のクロスポイントを切り換えるコマンド
パラメータをカンマとセミコロンで区切って送信します。
例 : 1, 3; 2, 4☐ ←INPUT1 を OUTPUT3 に、INPUT2 を OUTPUT4 にセットします。
例 : 1, r☐ ←INPUT1 を OUTPUT1 から 8 にセットします。

5.8 互換モード通信コマンド コマンド一覧

コマンド	機能	詳細ページ
AV	映像&音声チャンネル連動モード	123
V	映像チャンネルモード	124
A	音声チャンネルモード	124
mode	切換モード取得	125
なし	クロスポイント設定(チャンネル切換)	125
z	指定した出力のクロスポイント取得	126
wva	映像&音声クロスポイント取得	126
w	映像クロスポイント取得	127
wa	音声クロスポイント取得	127
s	クロスポイントの保存	127
t	クロスポイントの呼出	128
y	プリセットメモリのクロスポイント取得	128
kl	フロントパネル キーロック	128
ku	フロントパネル キーロック解除	128
ky	フロントパネル キーロック状態取得	129
mem	現在のクロスポイント状態と同一内容のプリセットメモリ番号取得	129

5.9 互換モード通信コマンド コマンド詳細

5.9.1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)

AV	映像&音声チャンネル連動モード
コマンド書式	AV 
戻り値書式	なし
パラメータ	なし
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ このコマンドが実行されると、電源の再起動、または V  AV  のいずれかのコマンドを受信するまでモードは保持されます。本体の「チャンネル切換モード」と独立しています。 ・ 電源投入後の初期状態は、電源OFF直前の状態を復元しません。電源投入後の初期状態は常に映像&映像チャンネルモードです。(本体が VIDEO MODEL の場合、映像チャンネルモードです。) ・ 本機が VIDEO&AUDIO MODEL 以外の場合、このコマンドは無効です。
関連項目	5.9.2 V(映像チャンネルモード)(P.124) 5.9.3 A(音声チャンネルモード)(P.124)

5.9.2 V(映像チャンネルモード)

V	映像チャンネルモード
コマンド書式	V 
戻り値書式	なし
パラメータ	なし
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ このコマンドが実行されると、電源の再起動、または A  AV  のいずれかのコマンドを受信するまでモードは保持されます。本体の「チャンネル切換モード」と独立しています。 ・ 電源投入後の初期状態は、電源OFF直前の状態を復元しません。電源投入後の初期状態は常に映像 & 映像チャンネルモードです。(本体が VIDEO MODEL の場合、映像チャンネルモードです。) ・ 本機が VIDEO&AUDIO MODEL 以外の場合、このコマンドは無効です。
関連項目	5.9.1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)(P.123) 5.9.3 A(音声チャンネルモード)(P.124)

5.9.3 A(音声チャンネルモード)

A	音声チャンネルモード
コマンド書式	A 
戻り値書式	なし
パラメータ	なし
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ このコマンドが実行されると、電源の再起動、または V  AV  のいずれかのコマンドを受信するまでモードは保持されます。本体の「チャンネル切換モード」と独立しています。 ・ 電源投入後の初期状態は、電源OFF直前の状態を復元しません。電源投入後の初期状態は常に映像 & 映像チャンネルモードです。(本体が VIDEO MODEL の場合、映像チャンネルモードです。) ・ 本機が VIDEO&AUDIO MODEL 以外の場合、このコマンドは無効です。
関連項目	5.9.1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)(P.123) 5.9.2 V(映像チャンネルモード)(P.124)

5.9.4 mode(切換モード取得)

mode	切換モード取得		
コマンド書式	mode []		
返り値書式	mode []		
パラメータ	mode : 切換モード AV = 映像&音声連動モード, V = 映像モード, A = 音声モード		
実行例	送	mode []	コマンド送信。
	受	AV []	状態取得 (映像&音声連動モード)。
	送	mode []	コマンド送信。
	受	A []	状態取得 (音声モード)。
実行例	送	mode []	コマンド送信。
	受	V []	状態取得 (映像モード)。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本体の「チャンネル切換モード」と独立しています。 ・ 電源投入後の初期状態は、電源OFF直前の状態を復元しません。 電源投入後の初期状態は常に映像&映像チャンネルモードです。 (本体が VIDEO MODEL の場合、映像チャンネルモードです。) 		
関連項目	5.9.1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)(P.123) 5.9.2 V(映像チャンネルモード)(P.124) 5.9.3 A(音声チャンネルモード)(P.124)		

5.9.5 なし(クロスポイント設定(チャンネル切換))

なし	クロスポイント設定(チャンネル切換)		
コマンド書式	input_1, output_1 (; input_2, output_2...) []		
返り値書式	なし		
パラメータ	input_1-8 : 映像/音声入力端子 q = OFF, 0 = OFF, 1 = INPUT1, 2 = INPUT2, 3 = INPUT3, 4 = INPUT4, 5 = INPUT5, 6 = INPUT6, 7 = INPUT7, 8 = INPUT8		
	output_1-4 : 映像/音声出力端子 r = 全出力, 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUTPUT4		
実行例	送	1, 3 []	出力 OUT3 に入力 IN1 を選択する。
	受		
	送	q, 003 []	出力 OUT3 を OFF にする。003 や 03 でも動作可能。
	受		
実行例	送	5, r []	全出力に入力 IN5 を選択する。
	受		
実行例	送	4, 1; 3, 2; 2, 3 []	セミコロン";"又はカンマ","で連結し、複数のチャンネルを一括で変更します。
	受		
注意事項	映像・音声の対象は、本体の「チャンネル切換モード」には依存しません。 下記のコマンドによる「切換モード」に依存します。 5.9.1 AV(映像&音声チャンネル連動モード)(P.123) 5.9.2 V(映像チャンネルモード)(P.124) 5.9.3 A(音声チャンネルモード)(P.124)		

5.9.6 z(指定した出力のクロスポイント取得)

z	指定した出力のクロスポイント取得	
コマンド書式	z output <input type="checkbox"/>	
返り値書式	input_v / input_a <input type="checkbox"/>	
返り値書式	なし	
パラメータ	output : 出力端子 1 = OUTPUT1, 2 = OUTPUT2, 3 = OUTPUT3, 4 = OUPUT4	
	input_v : 映像入力 000 = OFF, 001 = INPUT1, 002 = INPUT2, 003 = INPUT3, 004 = INPUT4, 005 = INPUT5, 006 = INPUT6, 007 = INPUT7, 008 = INPUT8	
	input_a : 音声入力 000 = OFF, 001 = IN1, 002 = IN2, 003 = IN3, 004 = IN4, 005 = IN5, 006 = IN6, 007 = IN7, 008 = IN8	
実行例	送 z1 <input type="checkbox"/>	コマンド送信。
	受 006/006 <input type="checkbox"/>	状態取得(OUT1 に IN6 が選択されている)。
実行例	送 z002 <input type="checkbox"/>	コマンド送信。z002 や z02 でも動作可能。
	受 006/004 <input type="checkbox"/>	状態取得(OUT2 に映像 IN6 音声 IN4 が選択されている)。
注意事項	映像&音声/映像/音声のモードに拘わらず、映像&音声の状態を戻します。	
関連項目	5.9.8 w(映像クロスポイント取得)(P.127) 5.9.9 wa(音声クロスポイント取得)(P.127) 5.9.7 wva(映像&音声クロスポイント取得)(P.126)	

5.9.7 wva(映像&音声クロスポイント取得)

wva	映像&音声クロスポイント取得	
コマンド書式	wva <input type="checkbox"/>	
返り値書式	v_1;v_2;v_3;v_4/a_1;a_2;a_3;a_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	v_1-4 : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4)	
	a_1-4 : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 000 = OFF, 001 = INPUT1, 002 = INPUT2, 003 = INPUT3, 004 = INPUT4 005 = INPUT5, 006 = INPUT6, 007 = INPUT7, 008 = INPUT8	
実行例	送 wva <input type="checkbox"/>	コマンド送信。
	受 000:001:008:007/000:001:008:007 <input type="checkbox"/>	状態取得。
注意事項	映像&音声/映像/音声のモードに拘わらず、映像&音声の状態を戻します。	
関連項目	5.9.5 なし(クロスポイント設定(チャンネル切換))(P.125)	

5.9.8 w(映像クロスポイント取得)

w	映像クロスポイント取得	
コマンド書式	w <input type="checkbox"/>	
返り値書式	v_1 ; v_2 ; v_3 ; v_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	v_1-4 : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 000 = OFF, 001 = INPUT1, 002 = INPUT2, 003 = INPUT3, 004 = INPUT4 005 = INPUT5, 006 = INPUT6, 007 = INPUT7, 008 = INPUT8	
実行例	送 w <input type="checkbox"/> 受 000;001;008;007 <input type="checkbox"/>	コマンド送信。 状態取得。
注意事項	映像&音声/映像/音声のモードに拘わらず、映像の状態を戻します。	
関連項目	5.9.5 なし(クロスポイント設定(チャンネル切換))(P.125)	

5.9.9 wa(音声クロスポイント取得)

wa	音声クロスポイント取得	
コマンド書式	wa <input type="checkbox"/>	
返り値書式	a_1 ; a_2 ; a_3 ; a_4 <input type="checkbox"/>	
パラメータ	a_1-4 : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 000 = OFF, 001 = INPUT1, 002 = INPUT2, 003 = INPUT3, 004 = INPUT4, 005 = INPUT5, 006 = INPUT6, 007 = INPUT7, 008 = INPUT8	
実行例	送 wa <input type="checkbox"/> 受 000;001;008;007 <input type="checkbox"/>	コマンド送信。 状態取得。
注意事項	映像&音声/映像/音声のモードに拘わらず、音声の状態を戻します。	
関連項目	5.9.5 なし(クロスポイント設定(チャンネル切換))(P.125)	

5.9.10 s(クロスポイントの保存)

s	クロスポイントの保存	
コマンド書式	s, <i>preset</i> <input type="checkbox"/>	
返り値書式	なし	
パラメータ	<i>preset</i> : プリセットメモリ (1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20)	
注意事項	現在のクロスポイントがプリセットメモリに保存されます。 5.6.63 @SPM(プリセットメモリの上書き保存 (入出力チャンネル設定保存))(P.113)と同等の動作をします。	
関連項目	5.9.11 t(クロスポイントの呼出)(P.128)	

5.9.11 t(クロスポイントの呼出)

t	クロスポイントの呼出
コマンド書式	t, preset <input type="checkbox"/>
返り値書式	なし
パラメータ	preset : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20)
注意事項	プリセットメモリに保存されているクロスポイントを設定します。 5.6.62 @RPM(プリセットメモリの読み出し (入出力チャンネル設定読み出し))(P.112)と同等の動作をします。
関連項目	5.9.10 s(クロスポイントの保存)(P.127)

5.9.12 y(プリセットメモリのクロスポイント取得)

y	プリセットメモリのクロスポイント取得
コマンド書式	y, preset <input type="checkbox"/>
返り値書式	v_1;v_2;v_3;v_4 / a_1;a_2;a_3;a_4 <input type="checkbox"/>
パラメータ	preset : プリセットメモリ(1 ~ 20 = PRESET 1 ~ 20) v_1-4 : 映像出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) a_1-4 : 音声出力 (OUTPUT1~OUTPUT4) 000 = OFF, 001 = INPUT1, 002 = INPUT2, 003 = INPUT3, 004 = INPUT4, 005 = INPUT5, 006 = INPUT6, 007 = INPUT7, 008 = INPUT8, -01 = 制御しない
実行例	送 y, 1 <input type="checkbox"/> コマンド送信。 受 000:001:008:007/000:001:008:007 <input type="checkbox"/> 状態取得。
注意事項	映像&音声/映像/音声のモードに拘わらず、映像&音声の状態を戻します。

5.9.13 kl(フロントパネル キーロック)

kl	フロントパネル キーロック
コマンド書式	kl <input type="checkbox"/> ※ l = 小文字のL
返り値書式	なし
パラメータ	なし

5.9.14 ku(フロントパネル キーロック解除)

ku	フロントパネル キーロック解除
コマンド書式	ku <input type="checkbox"/>
返り値書式	なし
パラメータ	なし

5.9.15 ky(フロントパネル キーロック状態取得)

ky	フロントパネル キーロック状態取得		
コマンド書式	ky [↵]		
返り値書式	lock [↵]		
パラメータ	lock : キーロック状態 FREE = キーロックなし LOCK = キーロック中		
実行例	送	ky [↵]	コマンド送信。
	受	FREE [↵]	状態取得 (キーロックなし)。
	送	ky [↵]	コマンド送信。
	受	LOCK [↵]	状態取得 (キーロック中)。

5.9.16 mem(現在のクロスポイント状態と同一内容のプリセットメモリ番号取得)

mem	現在のクロスポイント状態と同一内容のプリセットメモリ番号取得		
コマンド書式	mem [↵]		
返り値書式	video /audio [↵]		
パラメータ	video : 映像チャンネル audio : 音声チャンネル 000 = なし 001~020 = クロスポイントと一致するプリセットメモリ番号		
実行例	送	mem [↵]	コマンド送信。
	受	000/000 [↵]	クロスポイントと一致するプリセットメモリ番号がありません。
	送	mem [↵]	コマンド送信。
	受	001/002 [↵]	現在の映像チャンネルのクロスポイントとプリセットメモリ1の映像チャンネルのクロスポイントが一致。 現在の音声チャンネルのクロスポイントとプリセットメモリ2の音声チャンネルのクロスポイントが一致。
注意事項	複数のメモリ番号が一致する場合、小さい方の番号を戻します。		

6 WEB ブラウザでの制御

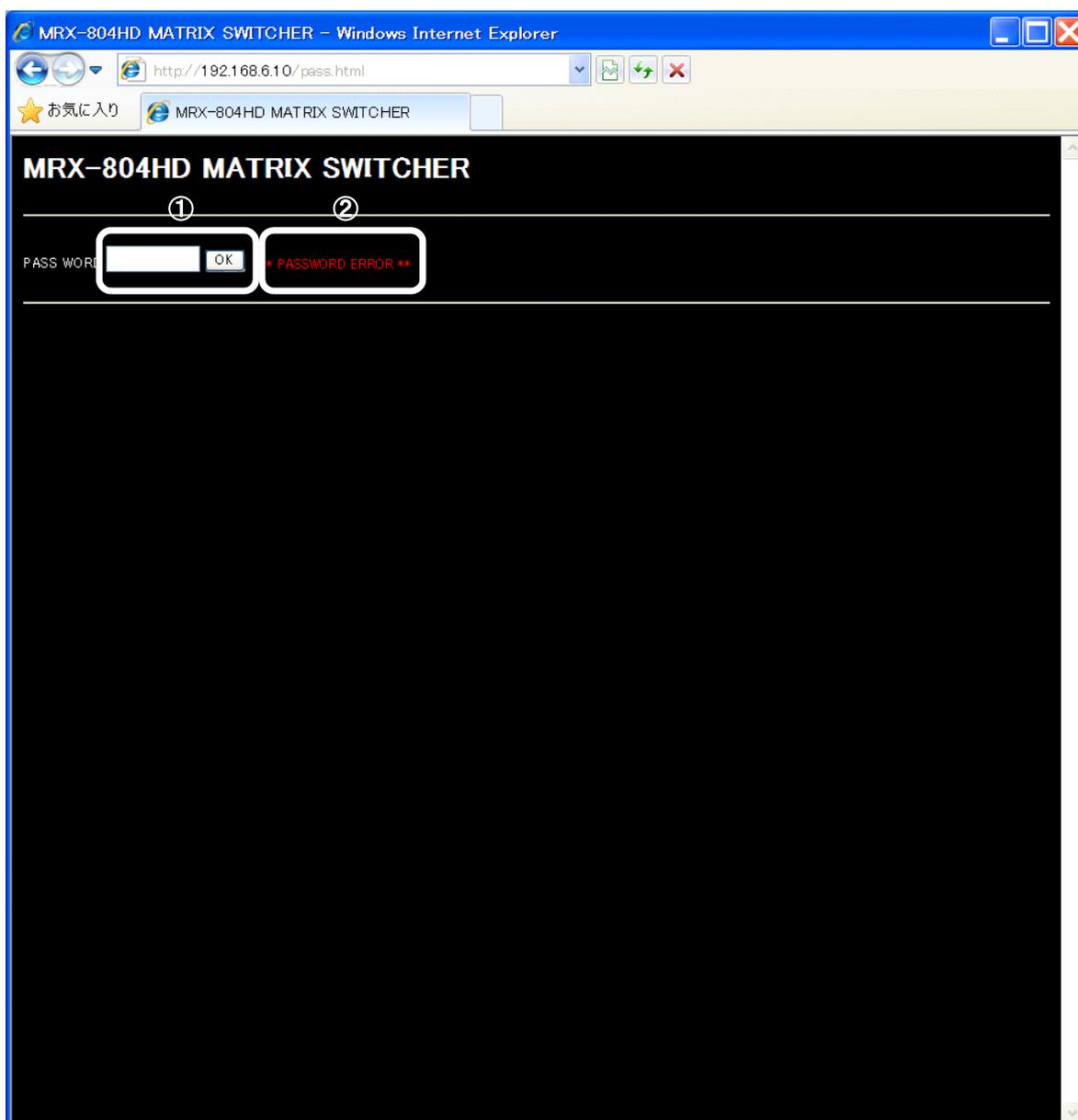
LAN 接続されている本機を Microsoft Internet Explorer 等の WEB ブラウザから制御が可能です。同一 LAN 内のパソコンで WEB ブラウザを開き、アドレスバーに本機の IP アドレスを入力するとパスワードロック機能が ON に設定されている場合は、パスワード認証画面(図 6.1)が表示され、OFF に設定されている場合は、操作画面が表示されます(図 6.2)。LAN の設定は「4.7 LAN (P.55)」を参照ください。

※Windows 版の Microsoft Internet Explorer 6.0 および 7.0 で動作確認を行っております。その他のバージョン、ブラウザでは動作確認を行っておりませんので、正常に動作しない場合があります。

※パスワード認証は、JavaScript、Cookie を使用しております。ご使用になる際にはブラウザ設定で JavaScript、Cookie を有効に設定してください。

HTTP 制御の URL

<http://192.168.1.199>

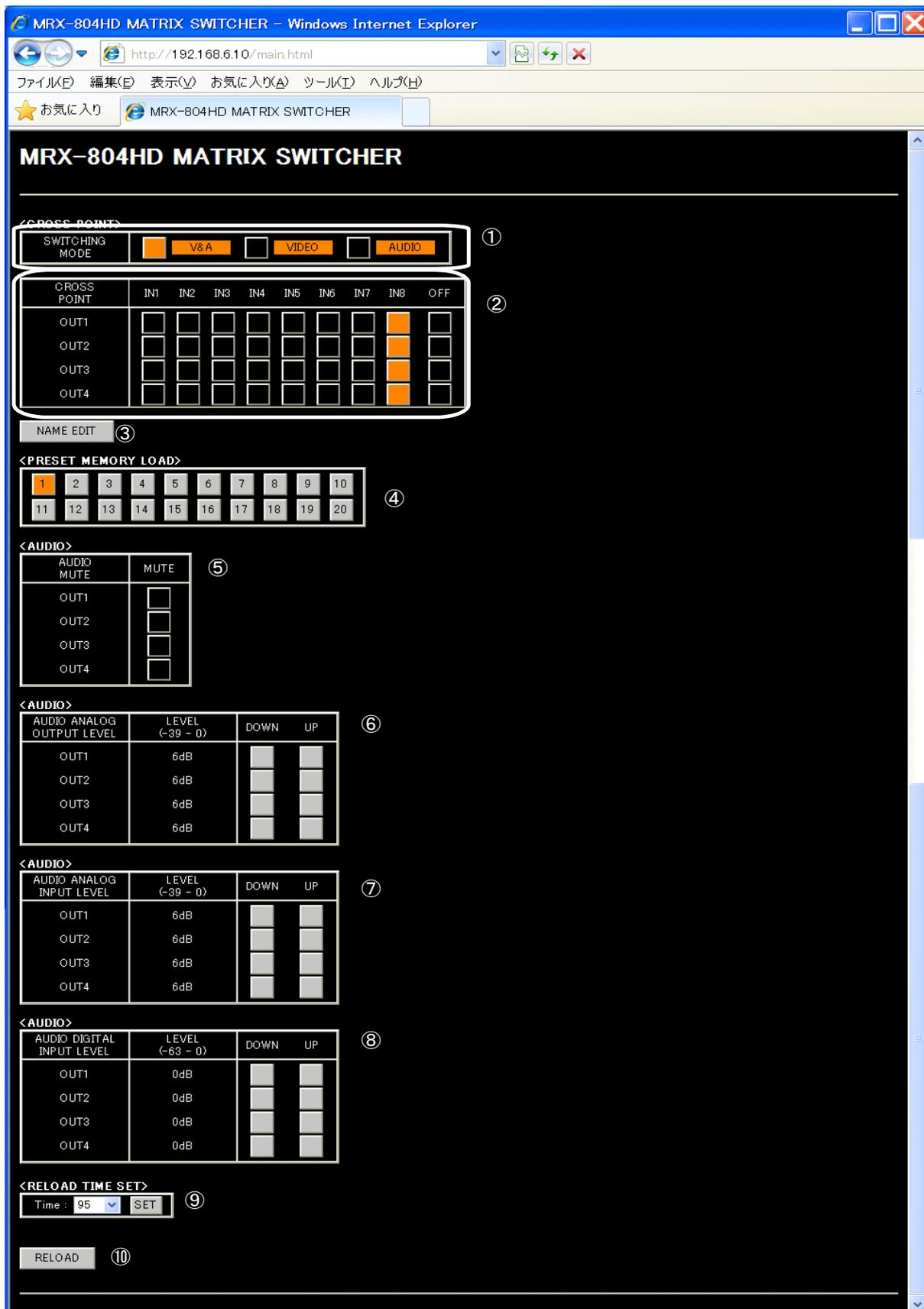


[図 6. 1]WEB ブラウザパスワード認証画面

- ① パスワード
パスワードを入力し、OK ボタンで決定します。
- ② エラーメッセージ
パスワードの認証に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

※エラーメッセージ拡大





[図 6. 2] WEB ブラウザ制御画面

① 切換モード選択 (SWITCHING MODE)

チャンネル切換モードの設定・表示を行います。本体が VIDEO MODEL の場合、チャンネル切換モードは表示されません。

V&A : 映像&音声 同時切換 VIDEO : 映像のみ切換 AUDIO : 音声のみ切換

② 入出力チャンネル選択 (OUT1~OUT4, ALL)

出力チャンネルにどの入力チャンネルを選択するか設定します。

ボタン表示色 (オレンジ : 映像&音声選択 緑 : 映像選択 赤 : 音声選択)

※ OFF キーの表示色は常に黒です。

③ 入出力チャンネル名編集 (NAME EDIT)

“CROSS POINT”および“AUDIO LEVEL”に表示される入出力チャンネルの名前を編集することができます。このボタンを押すと [図 6.3]入出力チャンネル名編集画面 を表示します。

④ プリセットメモリ読み出し (PRESET MEMORY LOAD)

登録されているプリセットメモリを読み出し、入出力チャンネルの状態を設定します。現在読み出されているメモリはオレンジで表示されます。プリセットメモリに名前が付けられている場合は、ボタンの上に名前を表示します。

⑤ 音声出力レベル表示

現在の音声出力レベルが表示されます。本体が VIDEO MODEL の場合、音声出力レベルは表示されません。

⑥ 音声ミュート (MUTE)

音声出力のミュートを設定します。ミュート中、ボタンが赤色表示になります。本体が VIDEO MODEL の場合、音声ミュートは表示されません。

⑦ 音声アップ・ダウン (UP, DOWN)

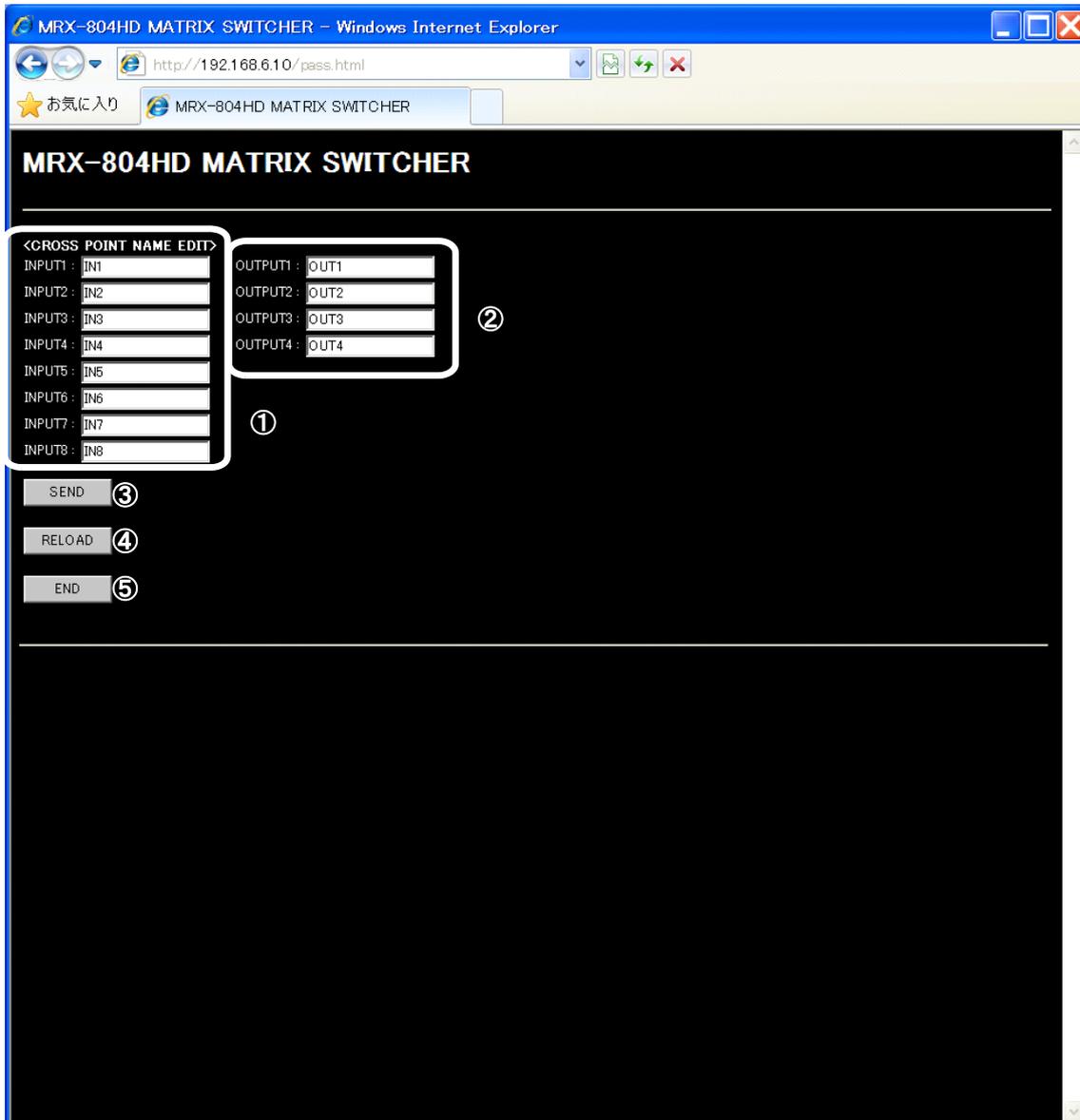
音声出力レベルを現在の設定から 1[dB] ずつ上下させます。本体が VIDEO MODEL の場合、音声アップ・ダウンは表示されません。

⑧ 自動更新時間設定 (RELOAD TIME SET)

WEB ブラウザの自動更新の時間を設定します。

⑨ ページ更新 (RELOAD)

本機の最新情報を取得する際に使用します。



[図 6.3]入出力チャンネル名編集画面

① 入力チャンネル名（INPUT1～INPUT8）

[図 6.2]WEB ブラウザ制御画面 の“CROSS POINT”に表示される入力チャンネルの名前を入力します。工場出荷時は、IN1～IN8 に設定されています。半角文字で 10 文字まで入力することができ、10 文字以上入力した場合は、10 文字目までが有効になります。（全角文字も入力可能ですが、全角文字は 2 文字としてカウントされます）

② 出力チャンネル名（OUTPUT1～OUTPUT4）

[図 6.2]WEB ブラウザ制御画面 の“CROSS POINT” および“AUDIO LEVEL”に表示される出力チャンネルの名前を入力します。工場出荷時は、OUT1～OUT4 に設定されています。半角文字で 10 文字まで入力することができ、10 文字以上入力した場合は、10 文字目までが有効になります。（全角文字も入力可能ですが、全角文字は 2 文字としてカウントされます）

③ 入出力チャンネル名決定（SEND）

①および②で入力した入出力チャンネル名を決定し、本機に保存します。

④ ページ更新（RELOAD）

最初から入力し直す場合に使用します。このボタンを押すと画面の表示が、全て現在の設定に更新されます。

⑤ 操作終了（END）

入出力チャンネル名の編集を終了します。このボタンを押すと **[図 6.2] WEB ブラウザ制御画面** を表示します。

7 製品仕様

仕様は予告なく変更することがあります

MRX-804HD		
入力信号		
映像	HDMI/DVI	8 系統 TMDS シングルリンク、HDCP 対応 HDMI Deep Color 対応 (注 1) / DVI 1.0 ケーブル補償機能搭載、EDID エミュレート機能搭載 コネクタ : DVI-I(29 ピン)・メス(注 2) 対応フォーマット : SDTV/HDTV 480i~1080p、VESA VGA~WUXGA(RB) ドットクロック : 25 MHz ~ 165 MHz TMDS クロック : 25 MHz ~ 225 MHz
音声	デジタルオーディオ	8 系統 マルチチャンネルリニア PCM 最大 8 チャンネル 基準レベル : -20 dBFS 最大入力レベル : 0 dBFS コネクタ : DVI-I(29 ピン)・メス(注 2) ※アナログオーディオ L/R と切り換え使用
	アナログオーディオ	8 系統 L/R アンバランス信号 入力インピーダンス : 24 k Ω 基準レベル : -10 dBu 最大入力レベル : +10 dBu コネクタ : RCA ピンジャック ※デジタルオーディオと切り換え使用
出力信号		
映像	HDMI/DVI	4 系統 TMDS シングルリンク、HDCP 対応 HDMI Deep Color 対応 (注 1) / DVI 1.0 ケーブル補償機能搭載 コネクタ : DVI-I(29 ピン)・メス(注 2)
音声	デジタルオーディオ	4 系統 マルチチャンネルリニア PCM 最大 8 チャンネル 基準レベル : -20 dBFS 最大出力レベル : 0 dBFS コネクタ : DVI-I(29 ピン)・メス(注 2) ※アナログオーディオ L/R と同じ音声信号
	アナログオーディオ	4 系統 L/R アンバランス信号 出力インピーダンス : 75 Ω 基準レベル : -10 dBu 最大出力レベル : +10 dBu 音声周波数特性 : 20 Hz ~ 20 KHz \pm 1 dB (注 3) 音声 S/N 比 : 85 dB 以上 (注 3) 音声クロストーク : 85 dB 以上 (注 3) 音声歪率 : 0.008 % 以下 (注 3) コネクタ : RCA ピンジャック ※デジタルオーディオと同じ音声信号

8 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときなどは、以下の点をご確認のうえ、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。

- ・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- ・機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

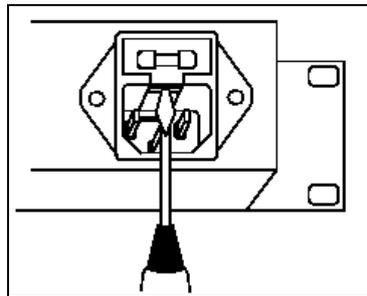
故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
-はい- -いいえ-

9 ヒューズについて

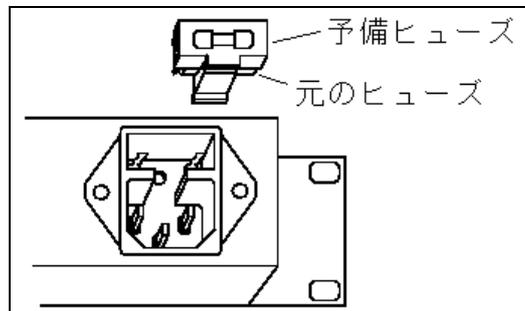
本機には「5×20mmガラス管ヒューズ」が搭載されています。何らかの原因により、機器の回路ショートや回路部品の故障が発生したときはヒューズが切れて本機に過大電流が流れることを防ぎます本機の電源が入らない時、ACインレット内のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は次の方法でヒューズを交換してください。

1. 本体の電源スイッチをOFFにして、コンセントから電源プラグを外します。
2. ACインレットから電源コネクタを取り外します。
3. ACインレットの電源コネクタ接続部分にある凹部をドライバー等で引き出して、ヒューズホルダ部分を取り出します。



【図 9.1】ヒューズホルダ

4. 予備のヒューズと交換します。



【図 9.2】ヒューズの交換

5. ヒューズホルダ部分を元通りにセットします。

※交換してもヒューズが切れる場合は故障の可能性がありますので、弊社までご連絡ください。

MRX-804HD 取扱説明書

Ver.2.0.1

発行日 2015年10月13日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第2ビル 5階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

Eメールアドレス info@idk.co.jp **ホームページ** <http://www.idk.co.jp/>